

1 男女共同参画社会について

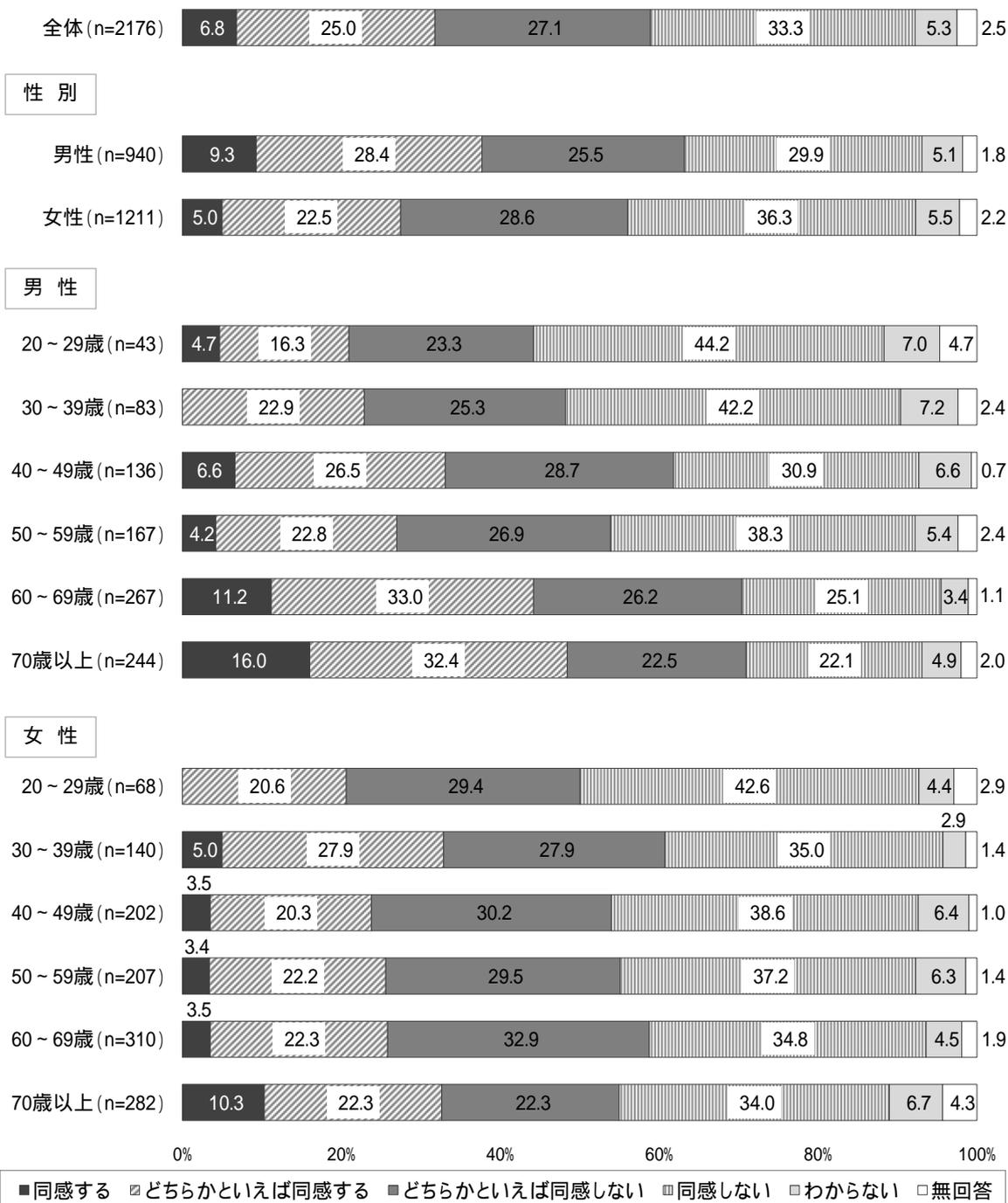
問1.「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(は1つまで)

全体では『同感しない』の割合が60.4%と最も高く、『同感する』の割合よりも31.8ポイント高くなっています。

性別で見ると、女性では『同感しない』の割合が64.9%と、男性よりも9.5ポイント高くなっています。

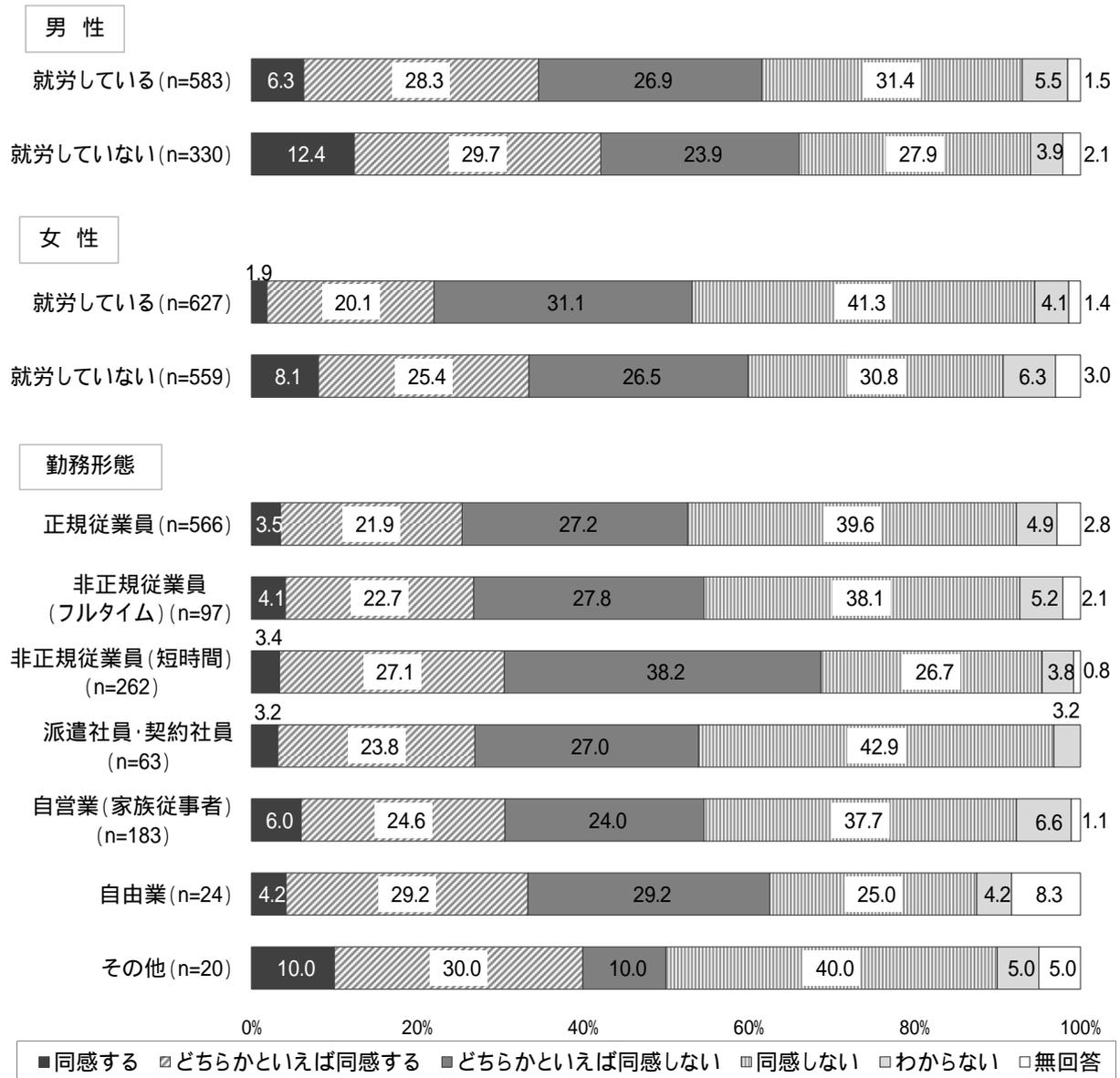
性別年代別で見ると、男性では年代が下がるほど『同感する』の割合が低く、『同感しない』の割合が高くなる傾向にあります。また、70歳以上の男性でのみ『同感する』の割合が、『同感しない』の割合よりも高くなっています。さらに、女性では30歳代を除く全ての年代で『同感しない』の割合が同年代の男性よりも高くなっています。

問1.「男は仕事、女は家庭」という考え方について



性別就労状況別でみると、就労している男性では『同感する』の割合が34.6%と、就労している女性よりも12.6ポイント高くなっています。就労している女性では『同感しない』の割合が72.4%と、就労していない女性よりも15.1ポイント高くなっています。

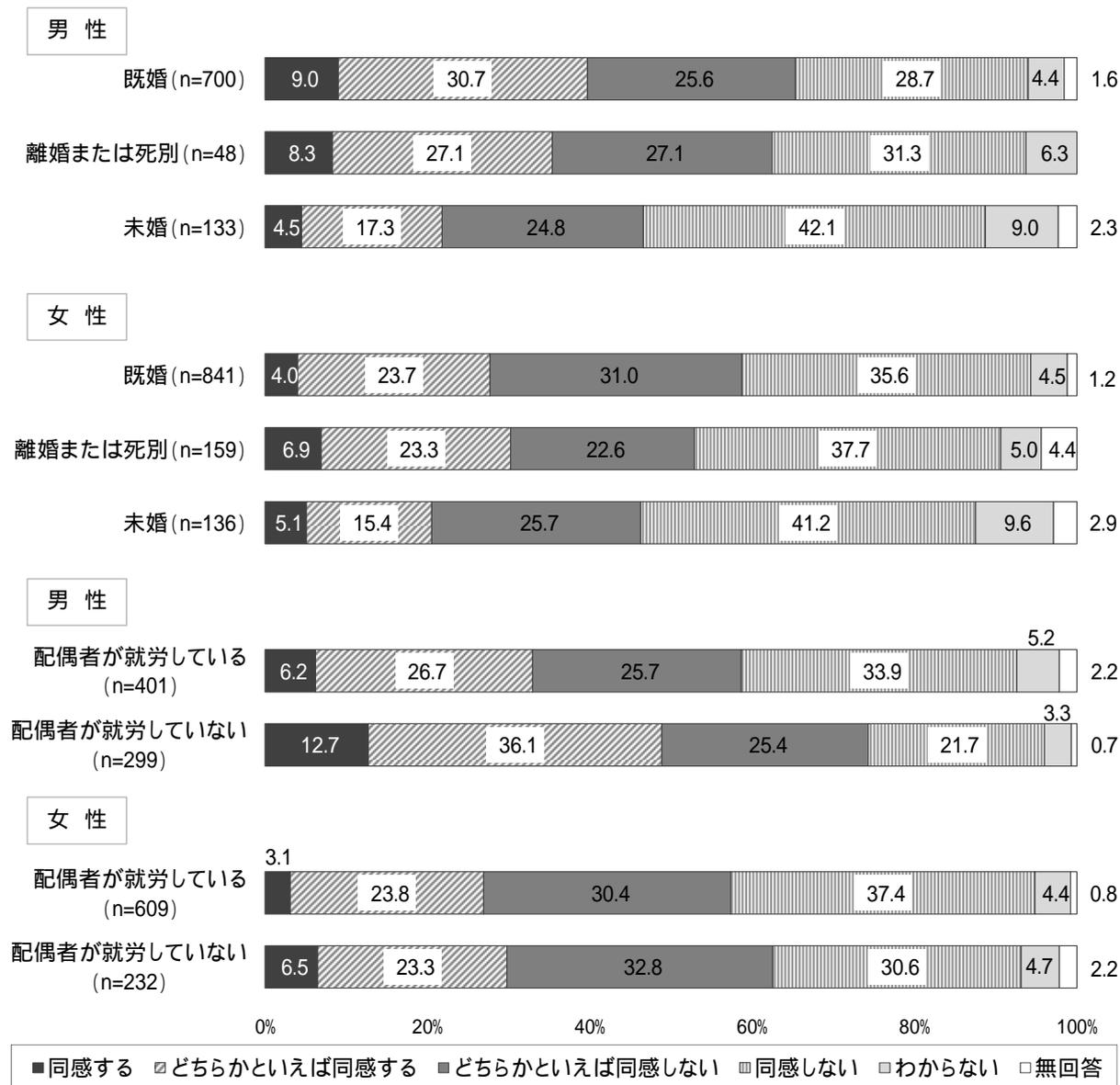
問1.「男は仕事、女は家庭」という考え方について



性別婚姻状況別で見ると、既婚の男性では『同感する』の割合が39.7%と、未婚の男性よりも17.9ポイント高く、既婚の女性と比べても12.0ポイント高くなっています。

性別配偶者の就労状況別で見ると、男女ともに、配偶者が就労していない場合では、配偶者が就労している場合よりも『同感する』の割合が高く、『同感しない』の割合が低くなっています。

問1. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

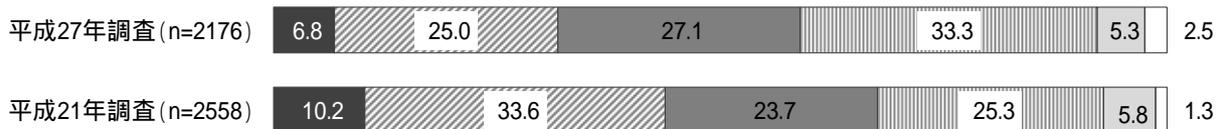


前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、『同感する』の割合が31.8%と、前回調査よりも12.0ポイント低くなっています。また、『同感しない』の割合が60.4%と、前回調査よりも11.4ポイント高くなっています。

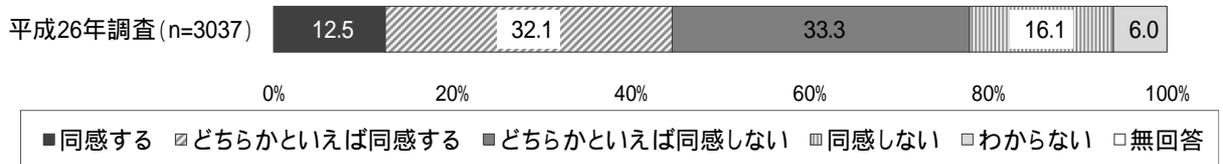
国（平成26年実施 世論調査）と比較すると、『同感する』の割合が国よりも低く、『同感しない』の割合が高い傾向にあります。また、国では『同感する』と『同感しない』の差が4.8ポイントですが、県では28.6ポイントの差があります。特に、国と県では「同感しない」の差が大きくなっています。

問1.「男は仕事、女は家庭」という考え方について

三重県



国(世論調査)



国（世論調査）では、無回答を含まない

問2 . あなたは、次にあげるA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。
(は1つまで)

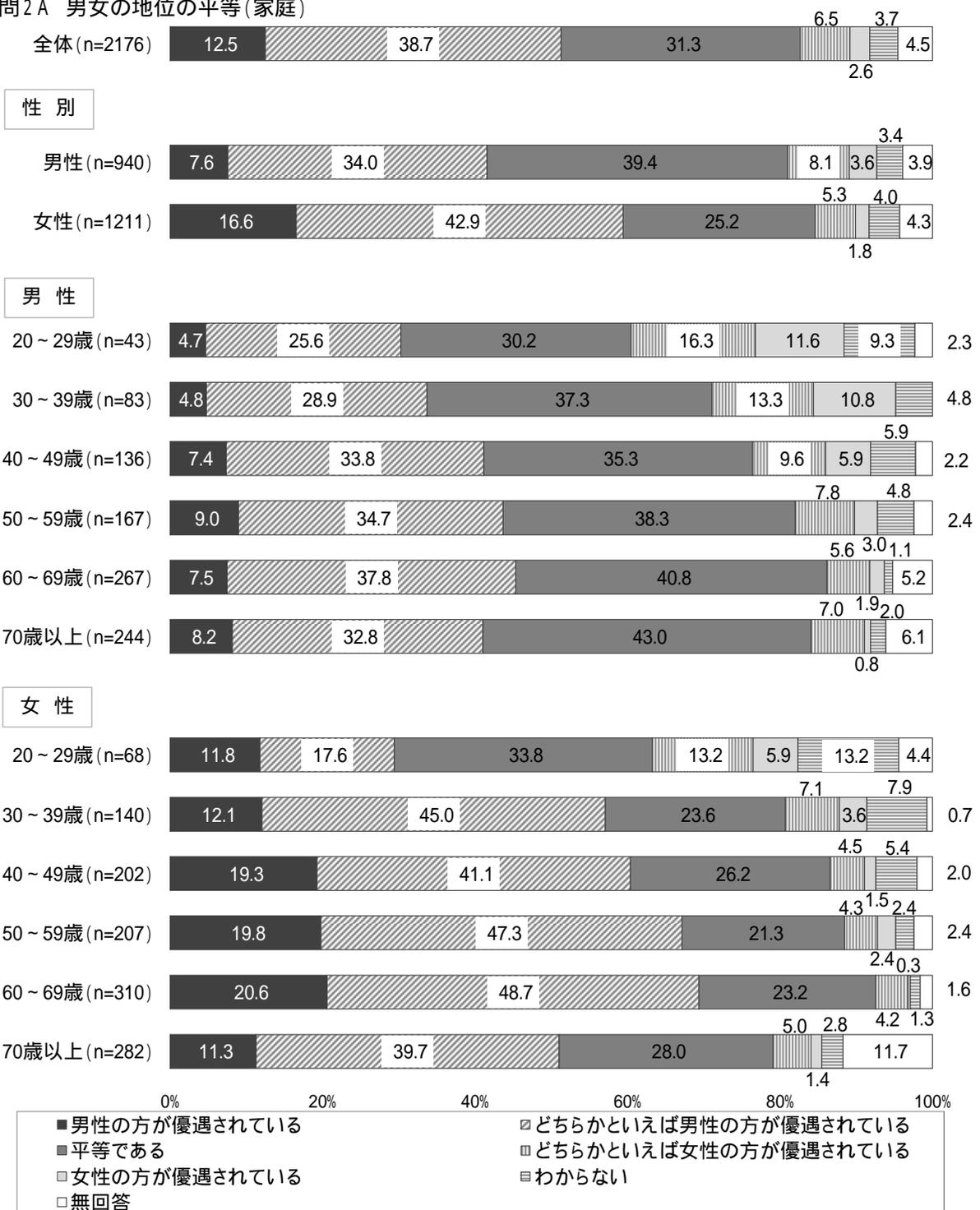
A 家庭

全体では『男性の方が優遇されている』の割合が51.2%と最も高く、次いで「平等である」の割合が31.3%となっています。

性別で見ると、男性では「平等である」の割合が39.4%と、女性よりも14.2ポイント高くなっています。一方、女性では『男性の方が優遇されている』の割合が59.5%と、男性よりも17.9ポイント高くなっています。

性別年代別で見ると、20歳代～60歳代までの男女では、年代が上がるほど『男性の方が優遇されている』の割合が高くなっています。

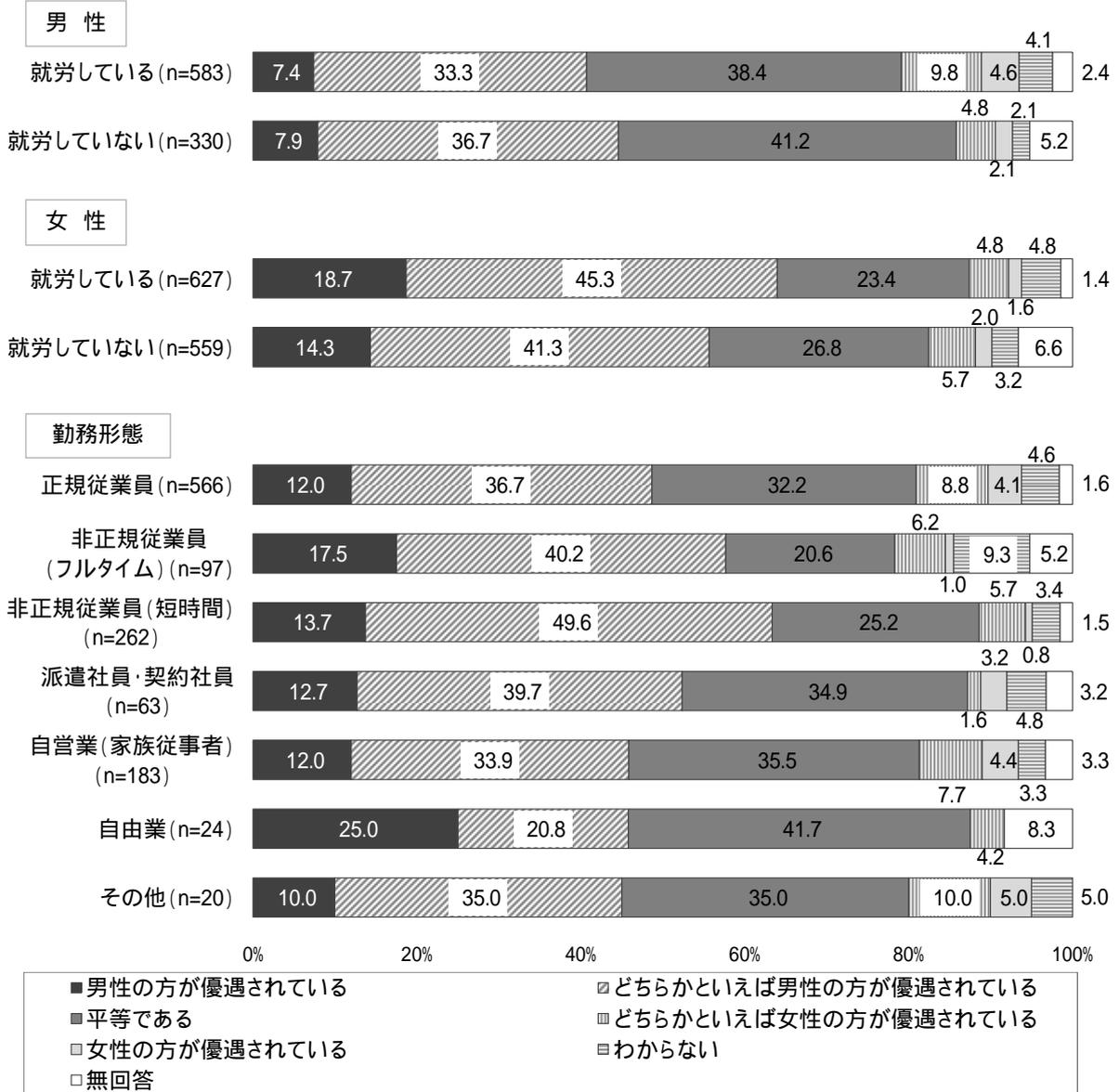
問2A 男女の地位の平等(家庭)



性別就労状況別でみると、就労している女性では『男性の方が優遇されている』の割合が64.0%と、就労していない女性よりも8.4ポイント高くなっています。

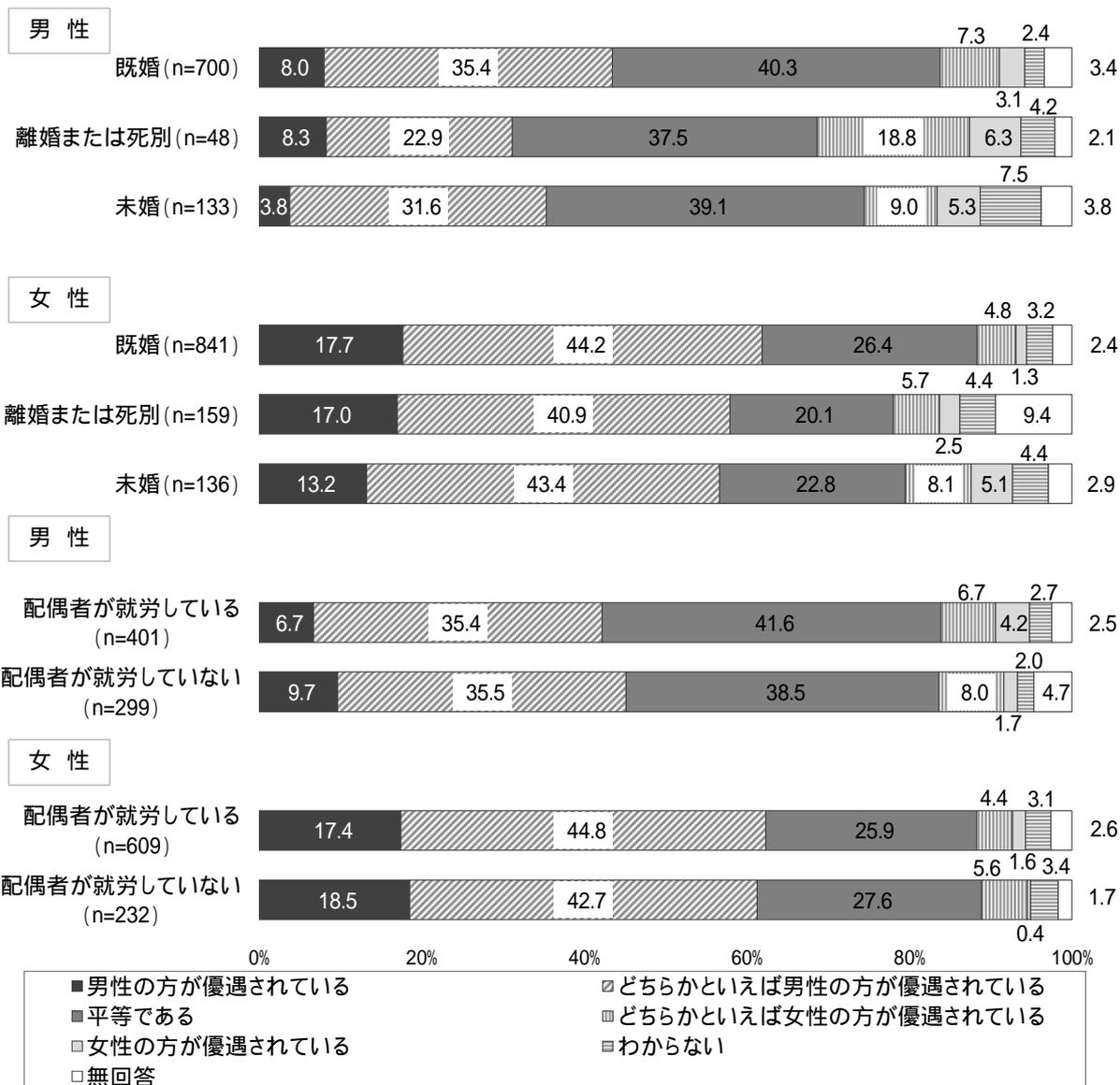
勤務形態別でみると、非正規従業員（フルタイム）と非正規従業員（短時間）では『男性の方が優遇されている』の割合が5割を超え、「平等である」の割合が3割未満となっています。

問2A 男女の地位の平等(家庭)



性別婚姻状況別で見ると、離婚または死別の男性では『女性の方が優遇されている』の割合が25.1%と、他の婚姻状況よりも10ポイント以上高くなっています。

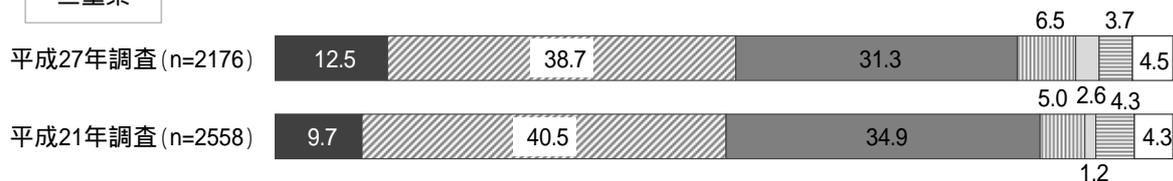
問2A 男女の地位の平等(家庭)



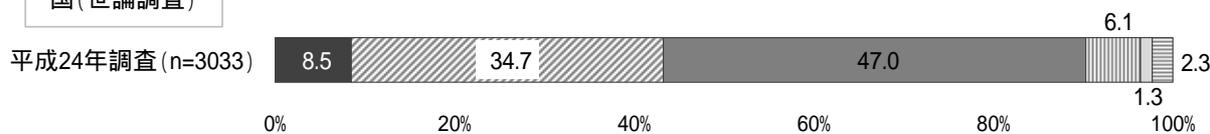
前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、特に大きな差は見られません。
 国（平成24年実施 世論調査）と比較すると、「平等である」の割合が、国よりも低くなっています。

問2 A 男女の地位の平等(家庭)

三重県



国(世論調査)



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

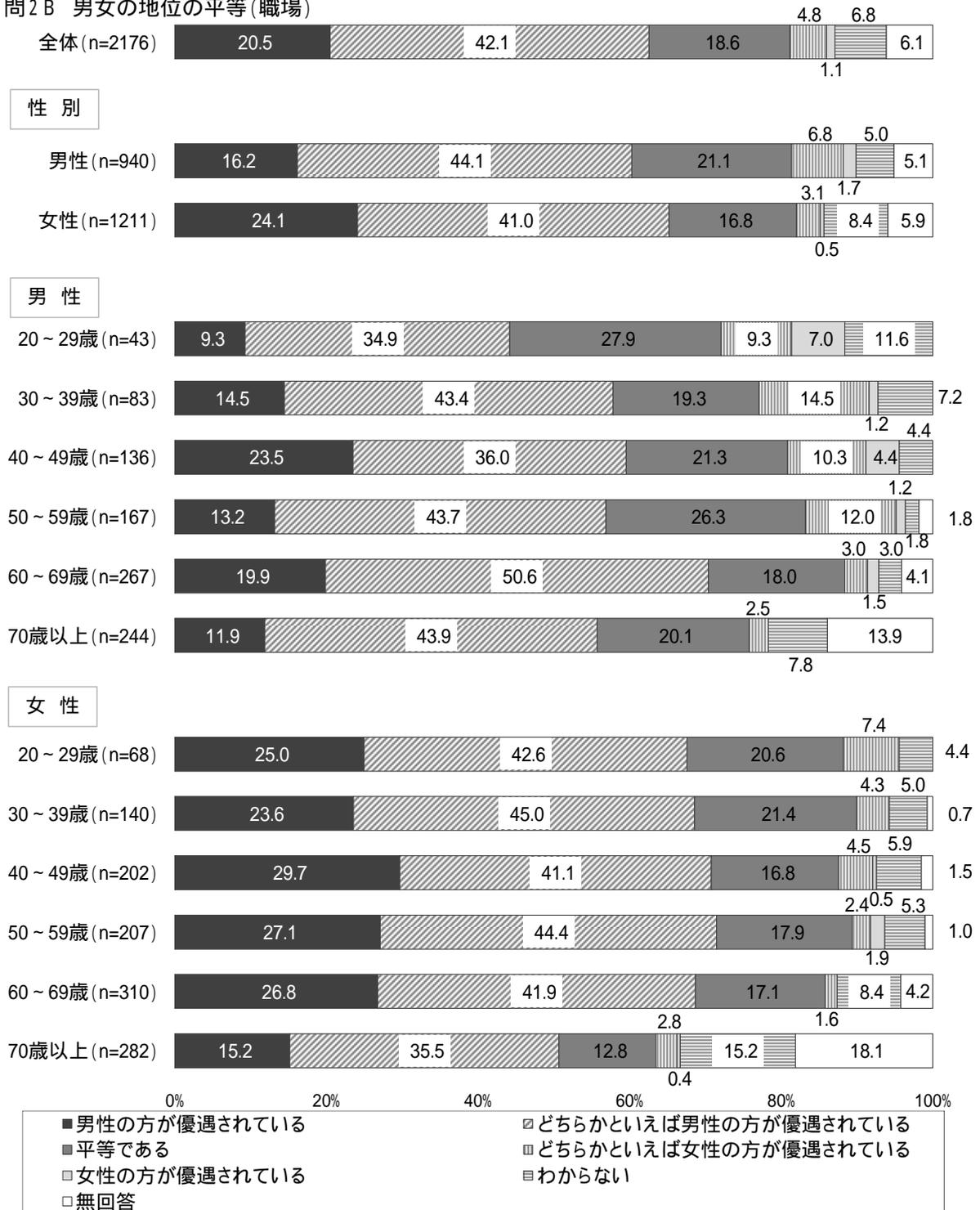
国（世論調査）では、無回答を含まない

B 職場

全体では『男性の方が優遇されている』の割合が62.6%と最も高く、次いで「平等である」の割合が18.6%となっています。

性別年代別でみると、『男性の方が優遇されている』の割合は20歳代～50歳代では男性よりも女性の方が高くなっている一方、60歳代以上では女性よりも男性の方が高くなっています。

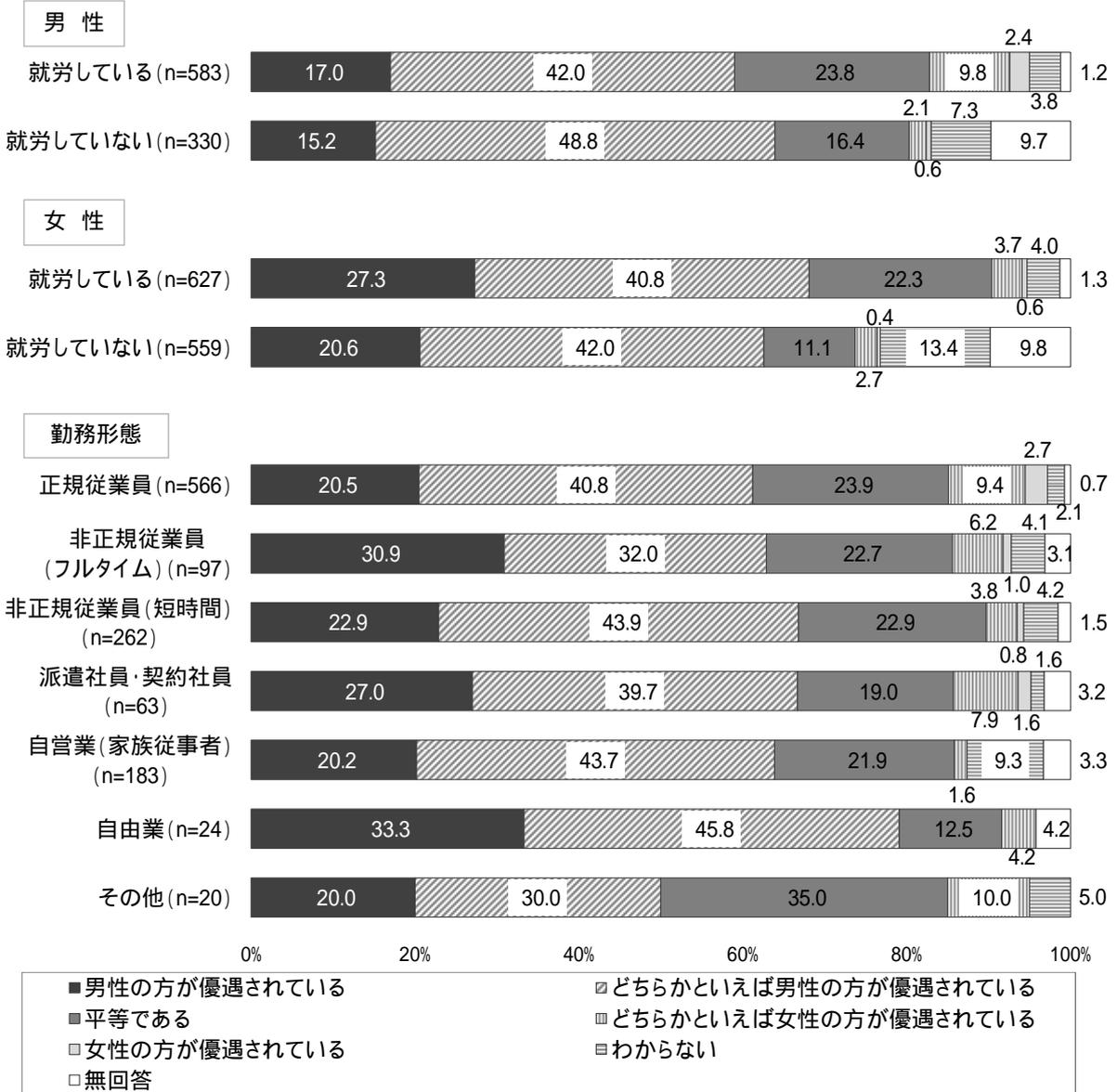
問2 B 男女の地位の平等(職場)



性別就労状況別でみると、就労していない女性では「平等である」の割合が11.1%と、就労している女性よりも11.2ポイント低くなっています。

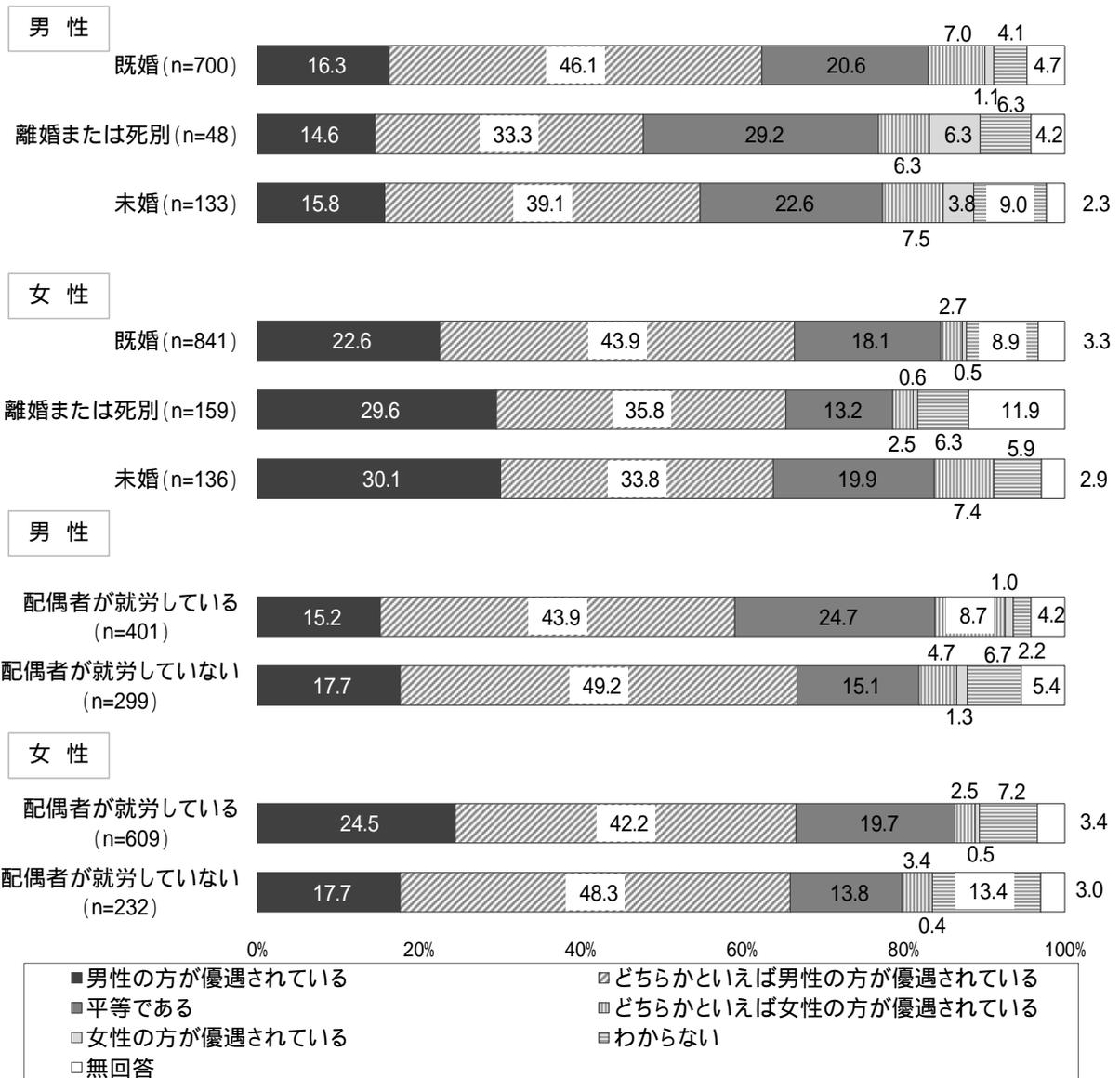
勤務形態別でみると、自由業では『男性の方が優遇されている』の割合が79.1%と、他の勤務形態よりも10ポイント以上高くなっています。また、非正規従業員（フルタイム）と自由業では「男性の方が優遇されている」の割合が3割を超えています。

問2B 男女の地位の平等(職場)



性別配偶者の就労状況別で見ると、配偶者が就労していない男性では「平等である」の割合が15.1%と、就労している男性よりも9.6ポイント低くなっています。

問2B 男女の地位の平等(職場)

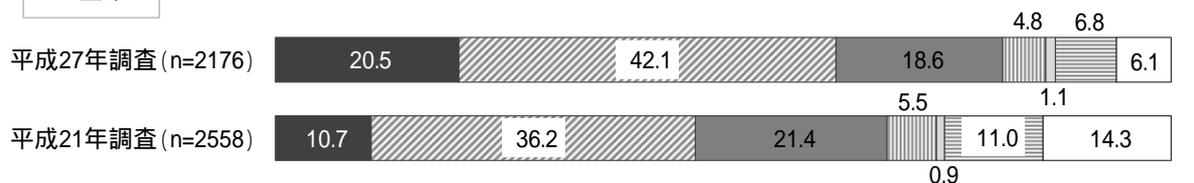


前回の県調査(平成21年実施)と比較すると、『男性の方が優遇されている』の割合が62.6%と、前回調査よりも15.7ポイント高くなっています。

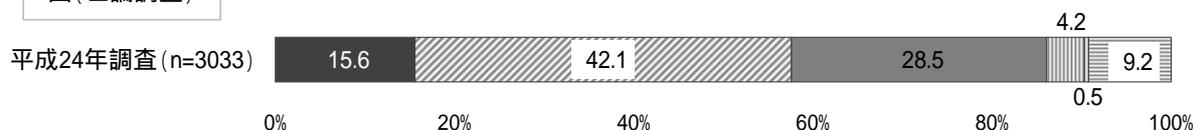
国(平成24年実施 世論調査)と比較すると、「平等である」の割合が、国よりも低くなっています。

問2B 男女の地位の平等(職場)

三重県



国(世論調査)



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

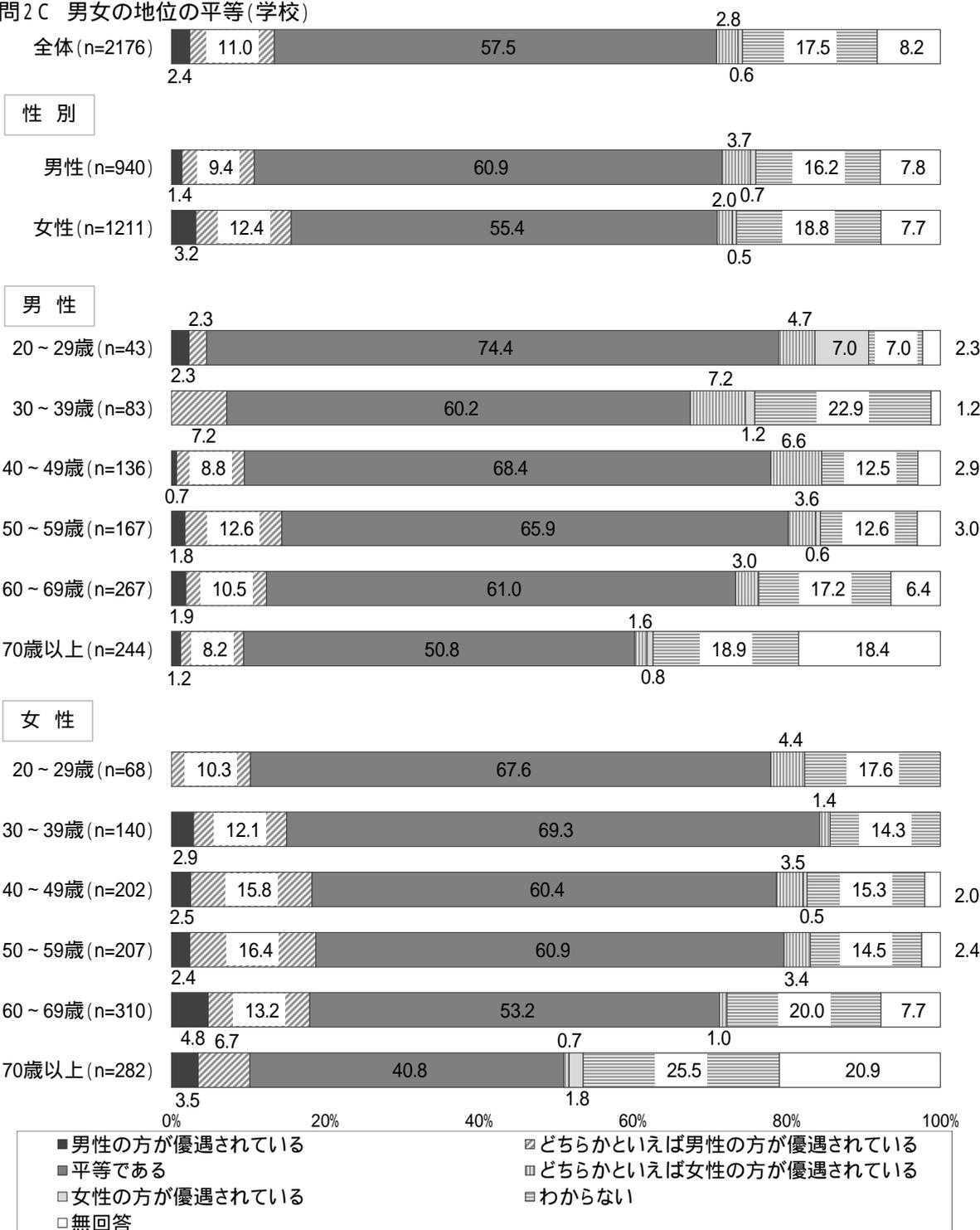
国(世論調査)では、無回答を含まない

C 学校

全体では「平等である」の割合が57.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.5%となっています。

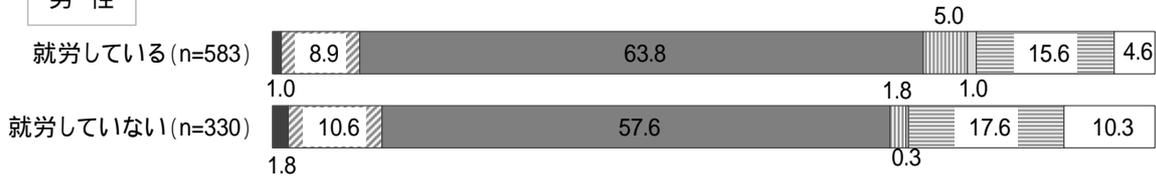
性別年代別でみると、男性では年代が下がるほど『女性の方が優遇されている』の割合が高くなっています。また、70歳以上の女性を除く全ての年代で「平等である」の割合が半数以上を占めています。さらに、男女ともに、『男性の方が優遇されている』の割合が50歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。

問2C 男女の地位の平等(学校)

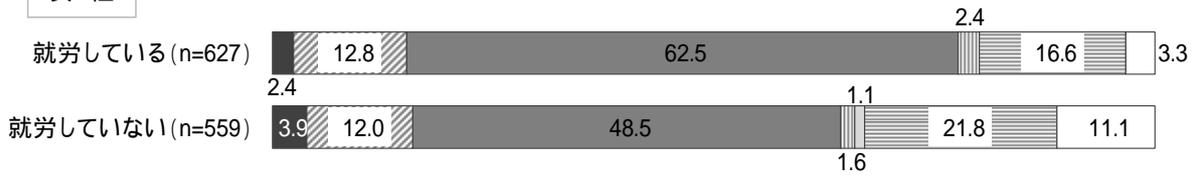


問2C 男女の地位の平等(学校)

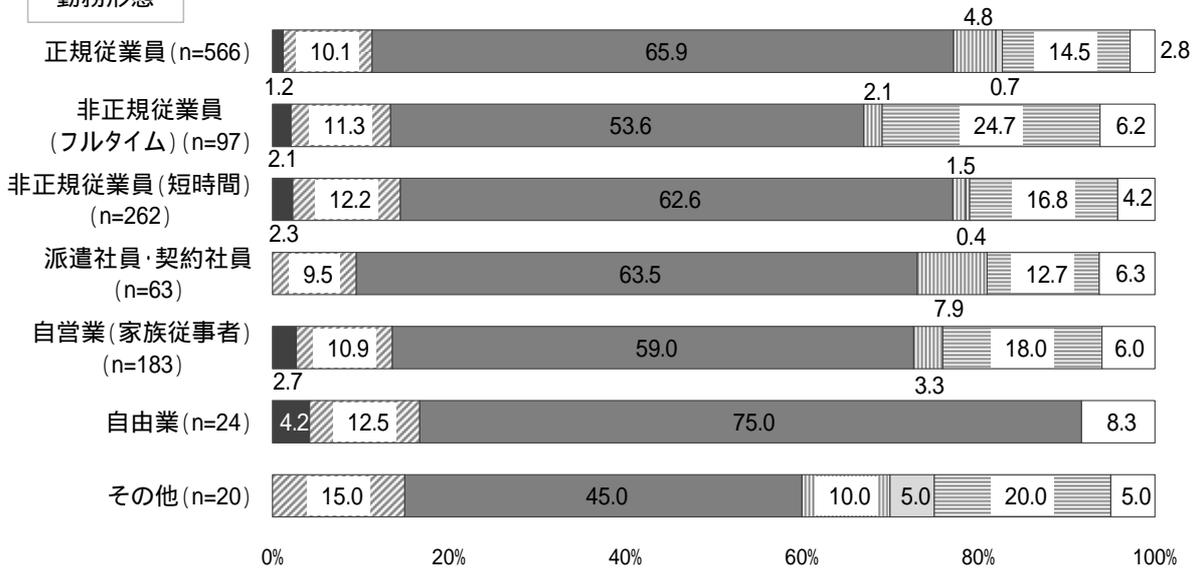
男性



女性

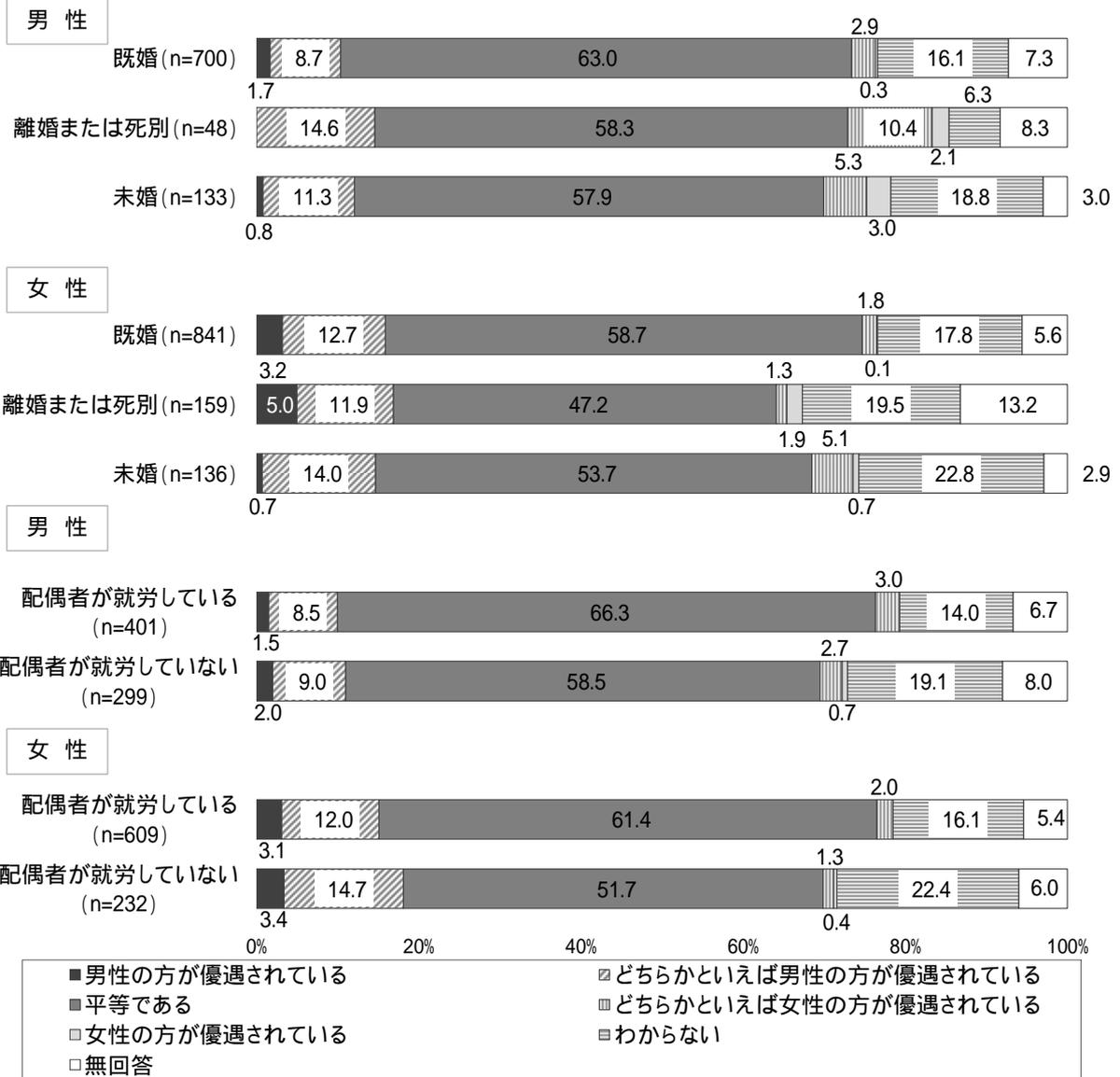


勤務形態



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

問2C 男女の地位の平等(学校)

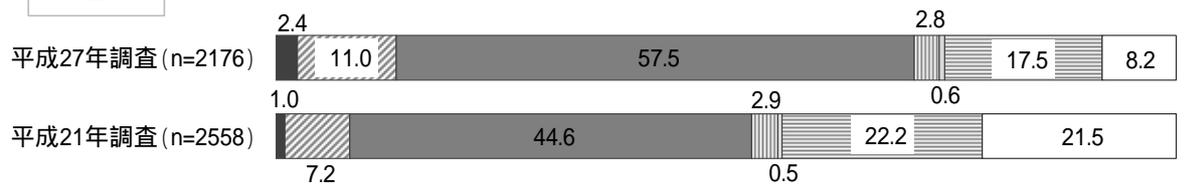


前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、「平等である」の割合が57.5%と、前回調査よりも12.9ポイント高くなっています。

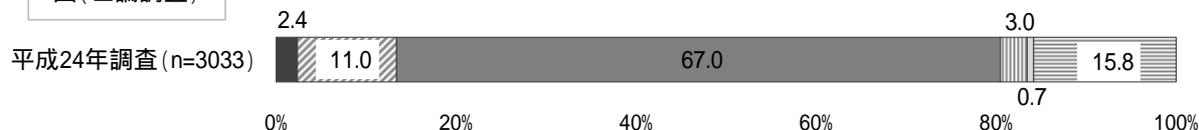
国（平成24年実施 世論調査）と比較すると、「平等である」の割合が、国よりも低くなっています。

問2C 男女の地位の平等(学校)

三重県



国(世論調査)



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

国（世論調査）では、無回答を含まない

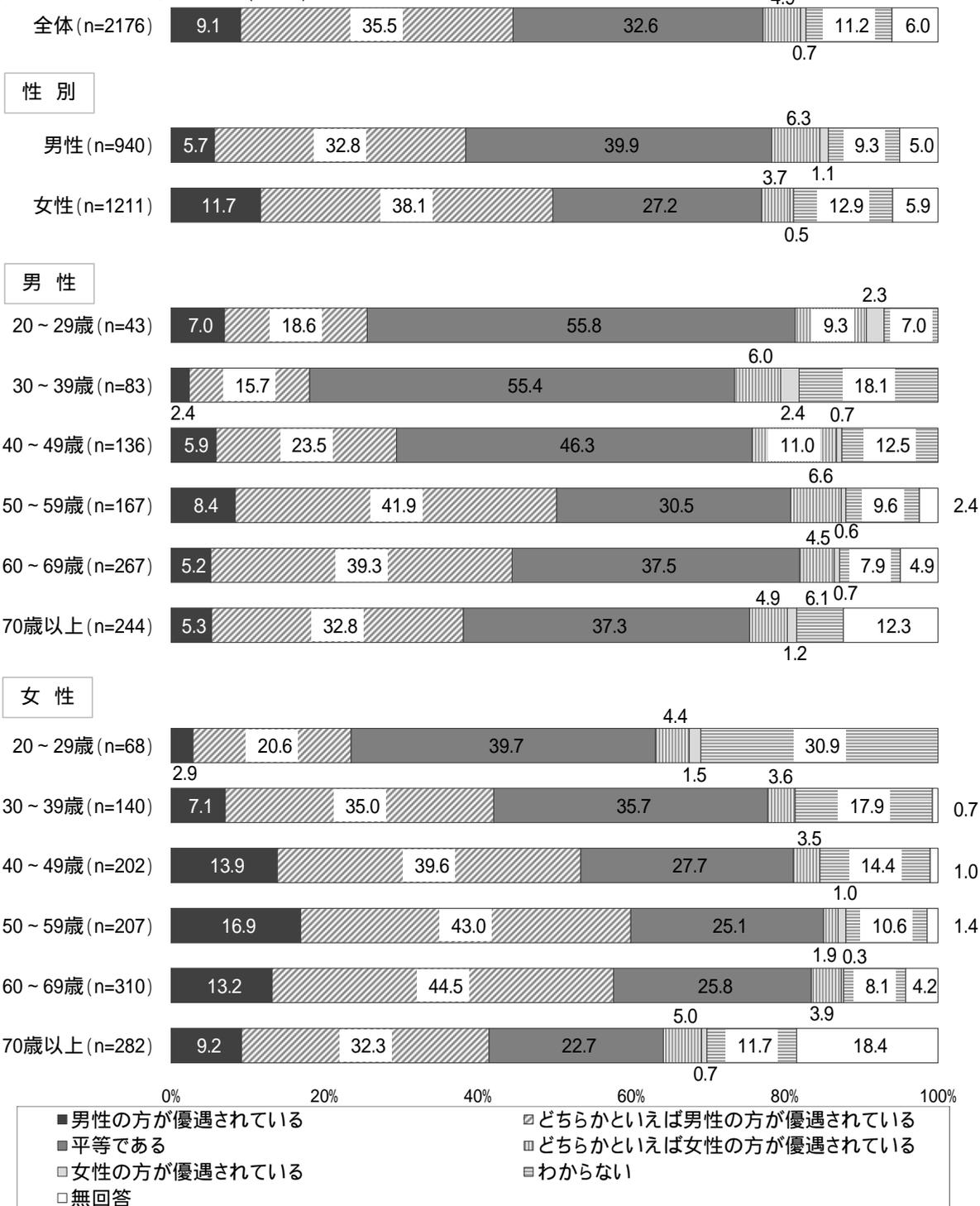
D 地域

全体では『男性の方が優遇されている』の割合が44.6%と最も高く、次いで「平等である」の割合が32.6%となっています。

性別で見ると、男性では「平等である」の割合が39.9%と女性よりも12.7ポイント高くなっています。一方、女性では『男性の方が優遇されている』の割合が49.8%と、男性よりも11.3ポイント高くなっています。

性別年代別で見ると、女性では『男性の方が優遇されている』の割合が50歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。また、30歳代～40歳代の女性では『男性の方が優遇されている』の割合が、同年代の男性よりも20ポイント以上高くなっています。

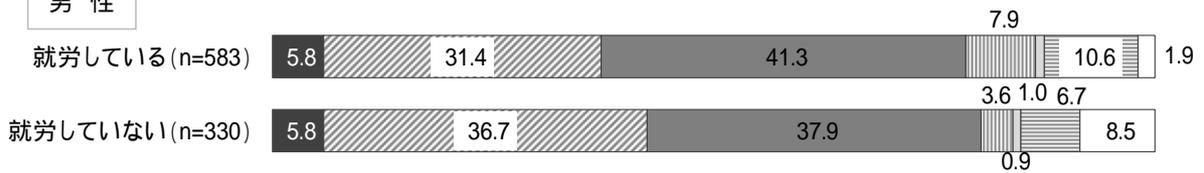
問2D 男女の地位の平等(地域)



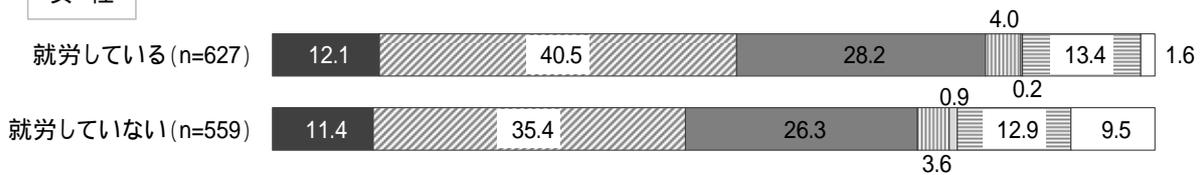
勤務形態別でみると、自由業では「男性の方が優遇されている」の割合が29.2%と、他の勤務形態よりも10ポイント以上高くなっています。

問2D 男女の地位の平等(地域)

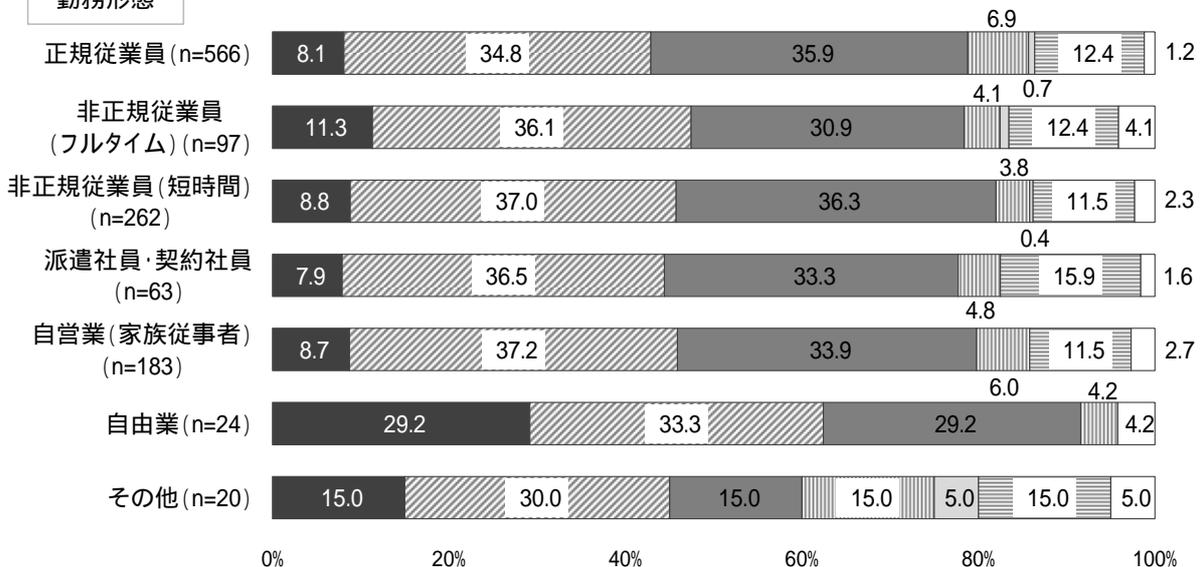
男性



女性



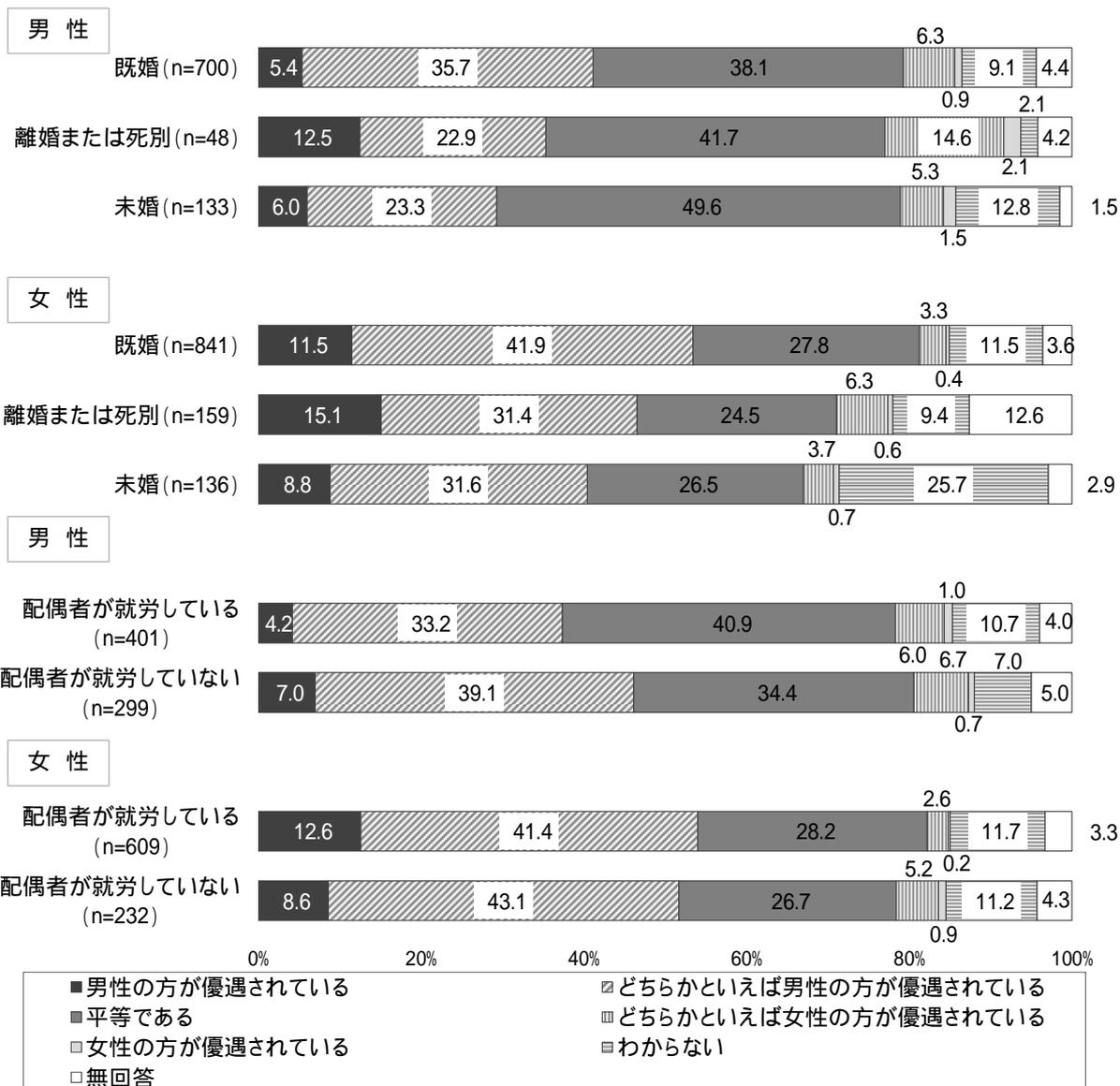
勤務形態



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

性別婚姻状況別で見ると、既婚の女性では『男性の方が優遇されている』の割合が53.4%と、半数以上を占めています。

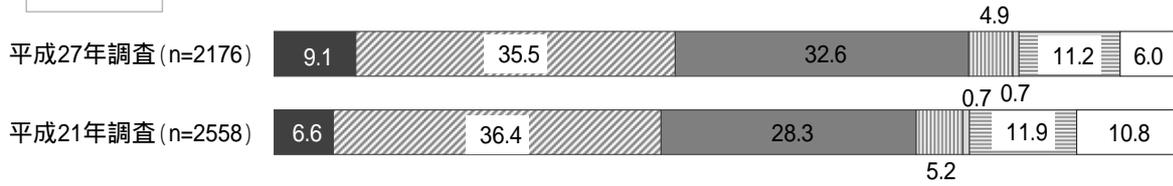
問2D 男女の地位の平等(地域)



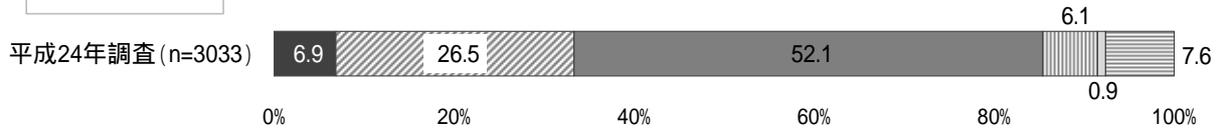
前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、特に大きな差は見られません。
 国（平成24年実施 世論調査）と比較すると、『男性の方が優遇されている』の割合が国よりも高くなっています。

問2D 男女の地位の平等(地域)

三重県



国(世論調査)



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

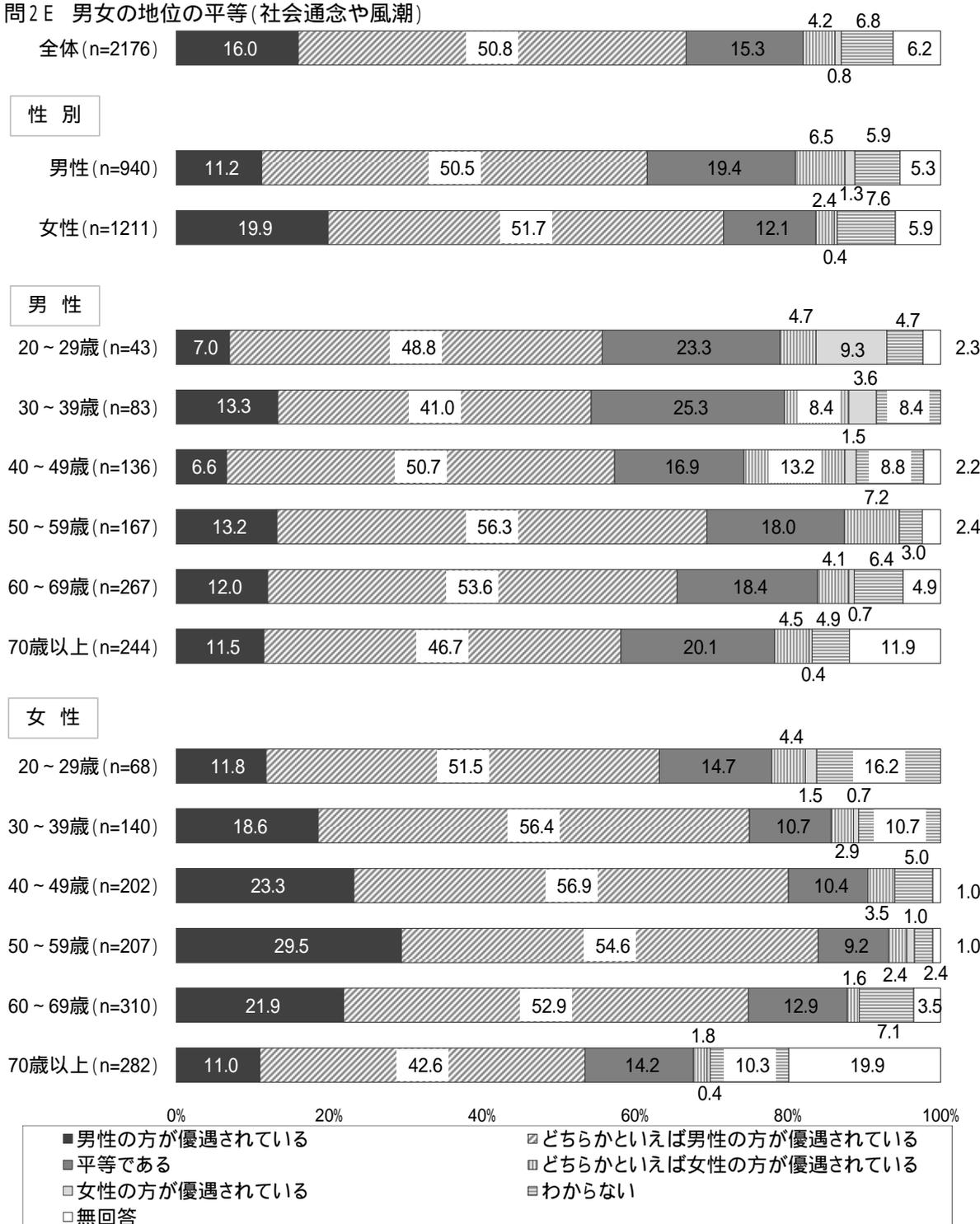
国（世論調査）では、無回答を含まない

E 社会通念や風潮

全体では『男性の方が優遇されている』の割合が66.8%と最も高く、次いで「平等である」の割合が15.3%となっています。

性別年代別でみると、女性では『男性の方が優遇されている』の割合が50歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。特に、40歳代～50歳代の女性ではその割合が8割を超えています。

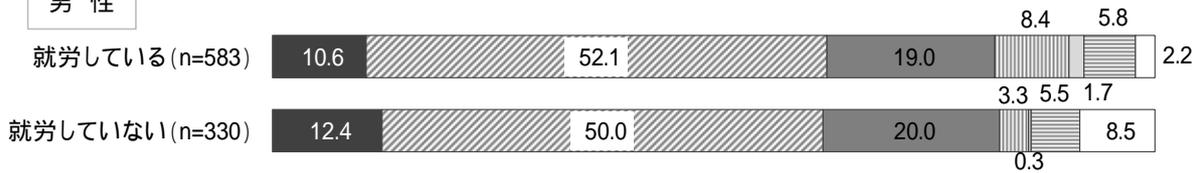
問2E 男女の地位の平等(社会通念や風潮)



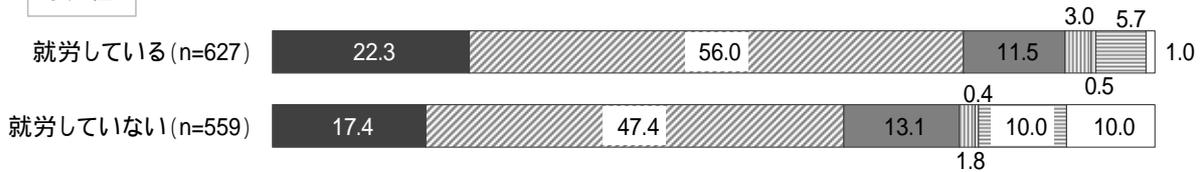
性別就労状況別で見ると、就労している女性では『男性の方が優遇されている』の割合が78.3%と、就労していない女性よりも13.5ポイント高くなっています。

問2E 男女の地位の平等(社会通念や風潮)

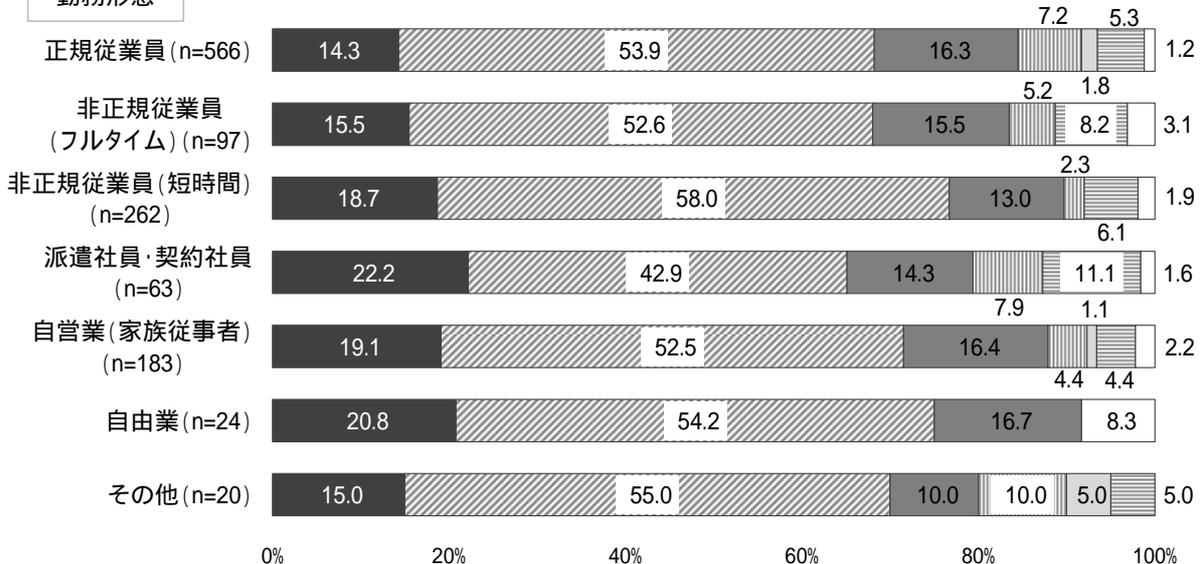
男性



女性



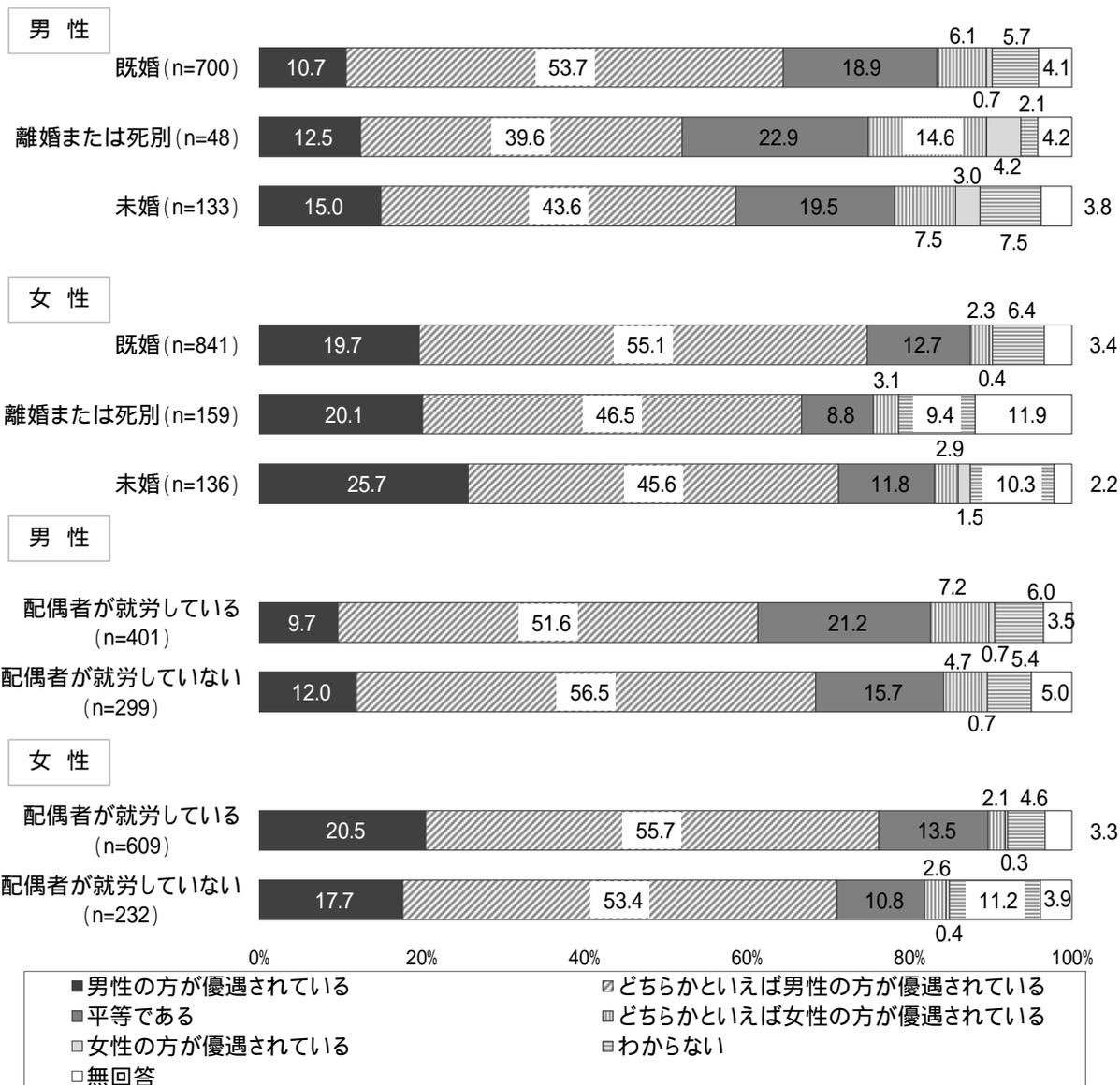
勤務形態



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

性別婚姻状況別で見ると、離婚または死別の男性では『女性の方が優遇されている』の割合が18.8%と、他の婚姻状況よりも8ポイント以上高くなっています。

問2E 男女の地位の平等(社会通念や風潮)

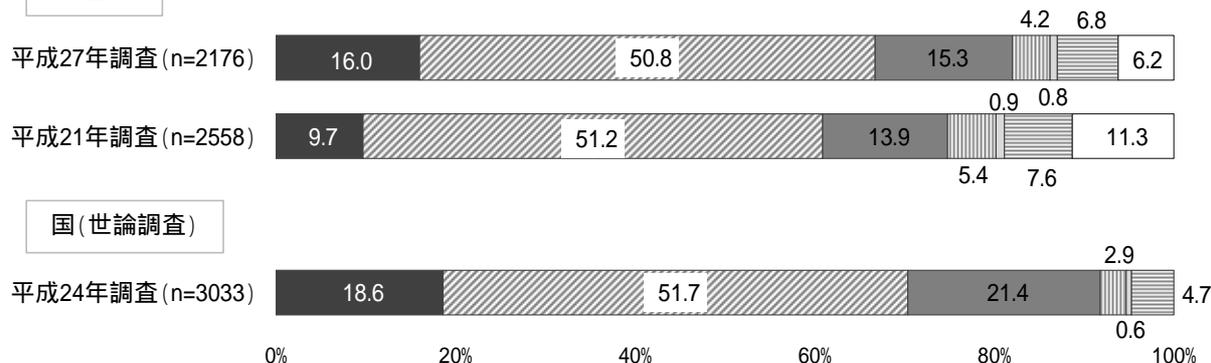


前回の県調査(平成21年実施)と比較すると、『男性の方が優遇されている』の割合が66.8%と、前回調査よりも5.9ポイント高くなっています。

国(平成24年実施 世論調査)と比較すると、「平等である」の割合が、国よりも低くなっています。

問2E 男女の地位の平等(社会通念や風潮)

三重県



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

国(世論調査)では、無回答を含まない

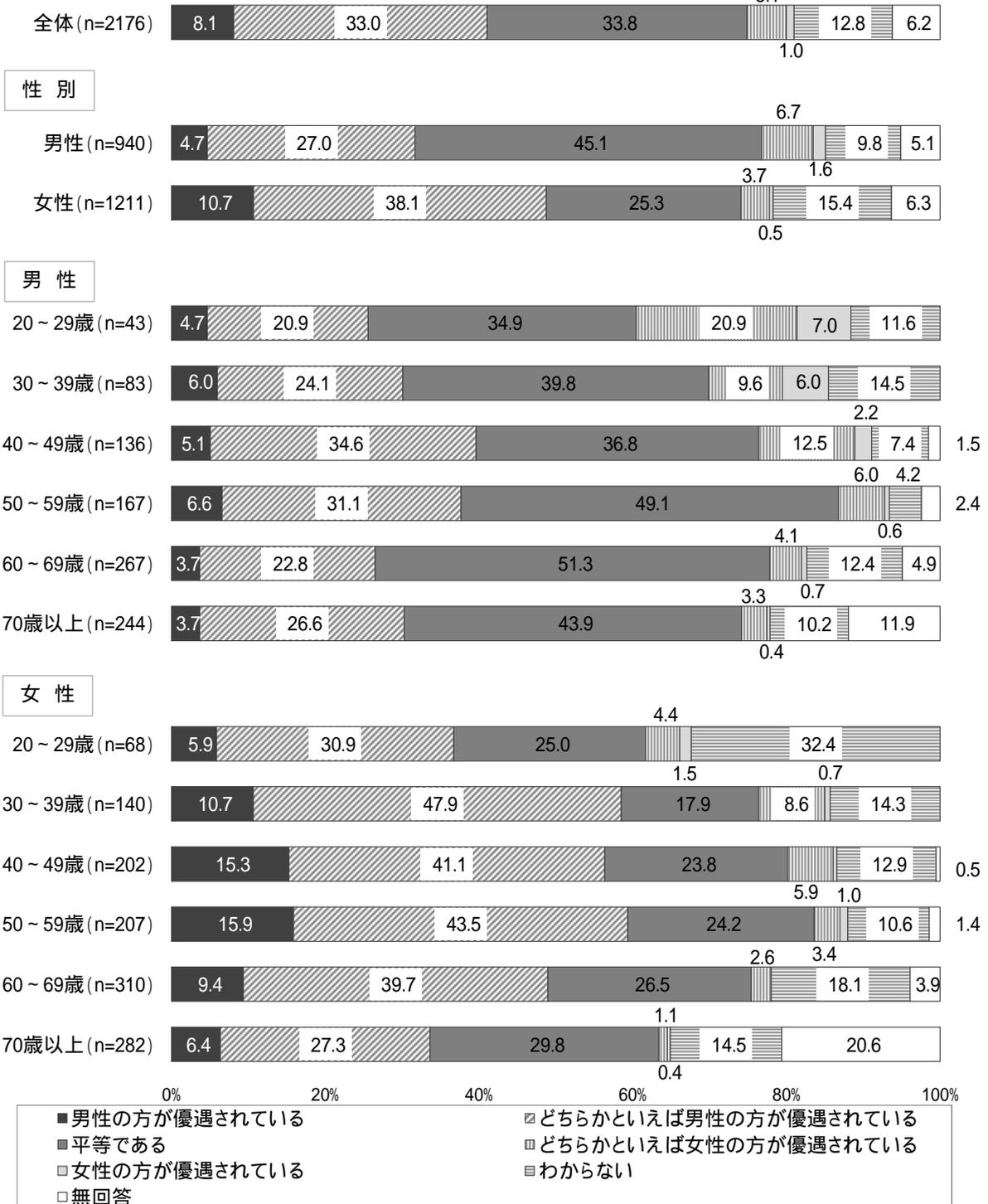
F 法律や制度

全体では『男性の方が優遇されている』の割合が41.1%と最も高く、次いで「平等である」の割合が33.8%となっています。

性別で見ると、男性では「平等である」の割合が45.1%と、女性よりも19.8ポイント高くなっています。一方、女性では『男性の方が優遇されている』の割合が48.8%と、男性よりも17.1ポイント高くなっています。

性別年代別で見ると、また、男性では年代が下がるほど『女性の方が優遇されている』の割合が高い傾向にあり、特に20歳代の男性ではその割合が27.9%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。

問2F 男女の地位の平等(法律や制度)

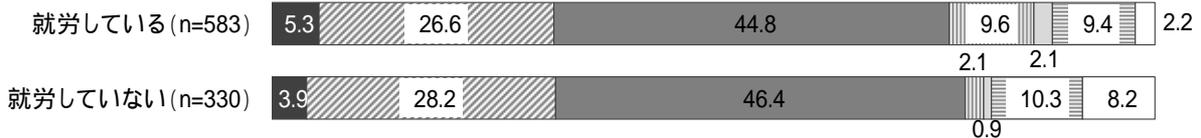


性別就労状況別でみると、就労している女性では『男性の方が優遇されている』の割合が54.3%と、就労していない女性よりも11.0ポイント高くなっています。

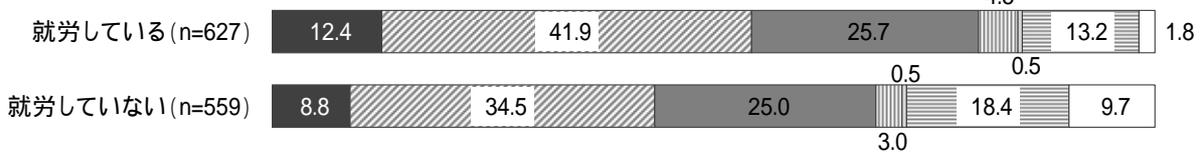
勤務形態別でみると、正規従業員と自由業では『女性の方が優遇されている』の割合が1割を超えています。また、非正規従業員（フルタイム）では、『男性の方が優遇されている』の割合が半数以上を占めています

問2F 男女の地位の平等(法律や制度)

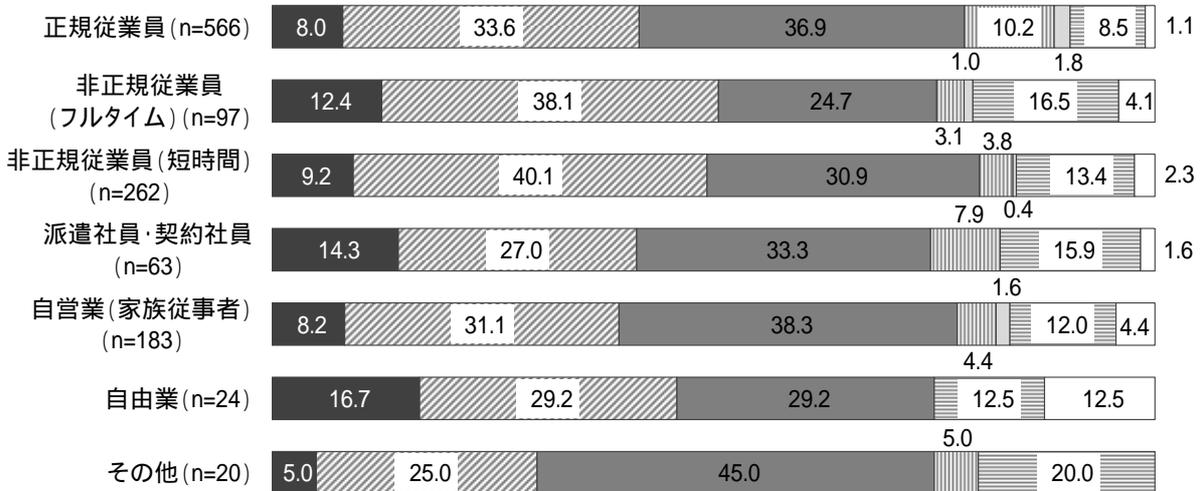
男性



女性



勤務形態

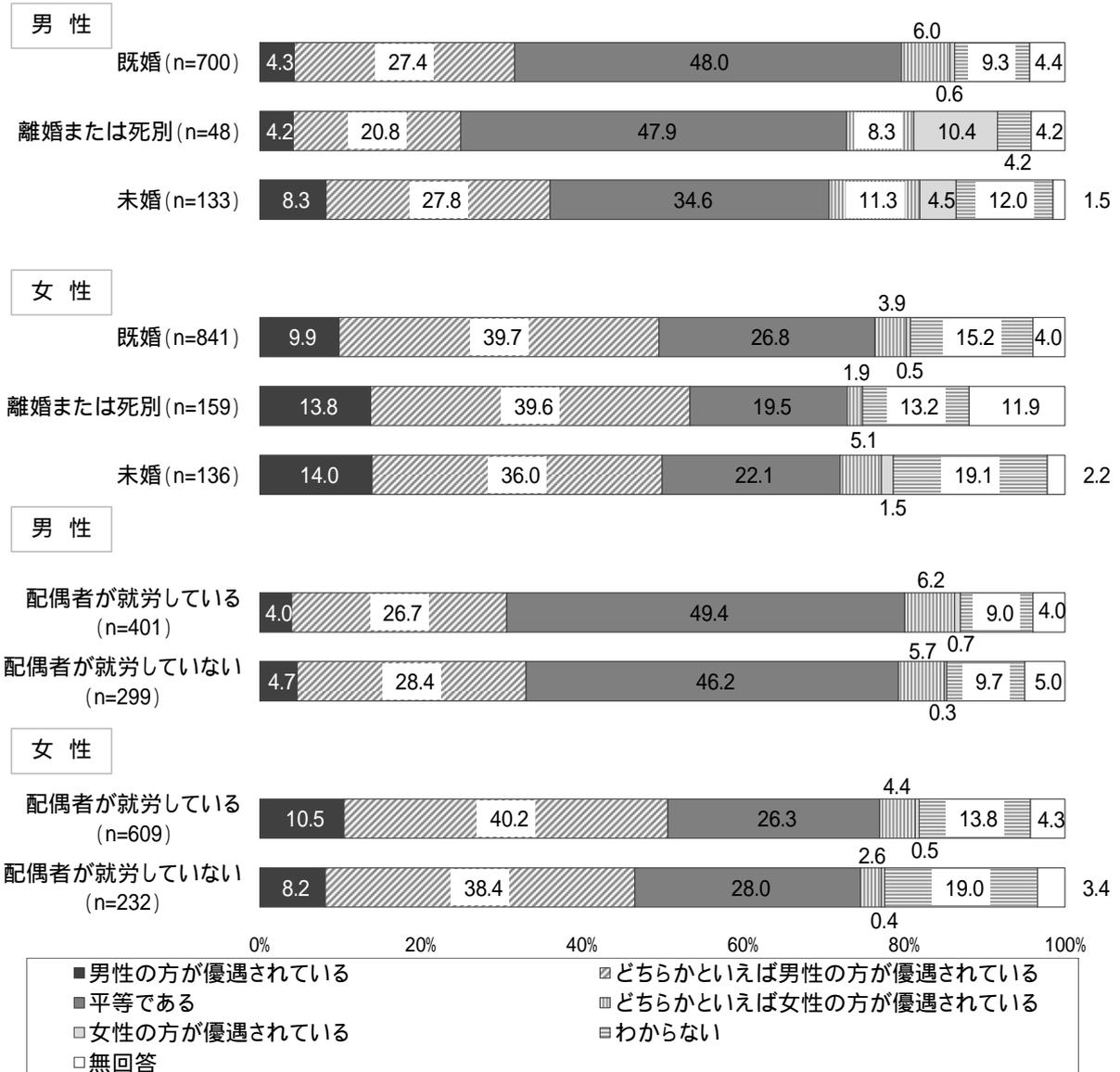


0% 20% 40% 60% 80% 100%

- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

性別婚姻状況別で見ると、未婚の男性では「平等である」の割合が34.6%と、他の婚姻状況よりも10ポイント以上低くなっています。また、離婚または死別の男性では『女性の方が優遇されている』の割合が18.7%と、離婚または死別の女性よりも16.8ポイント高くなっています。

問2F 男女の地位の平等(法律や制度)

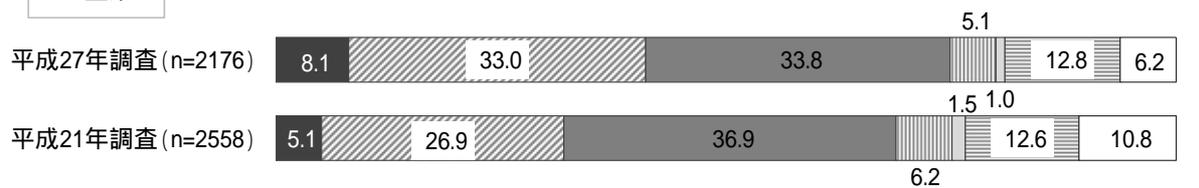


前回の県調査(平成21年実施)と比較すると、『男性の方が優遇されている』の割合が41.1%と、前回調査よりも9.1ポイント高くなっています。

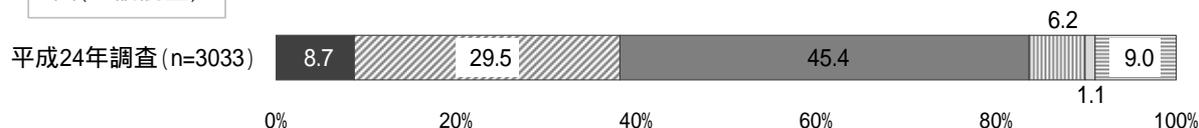
国(平成24年実施 世論調査)と比較すると、「平等である」の割合が、国よりも低くなっています。

問2F 男女の地位の平等(法律や制度)

三重県



国(世論調査)



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

国(世論調査)では、無回答を含まない

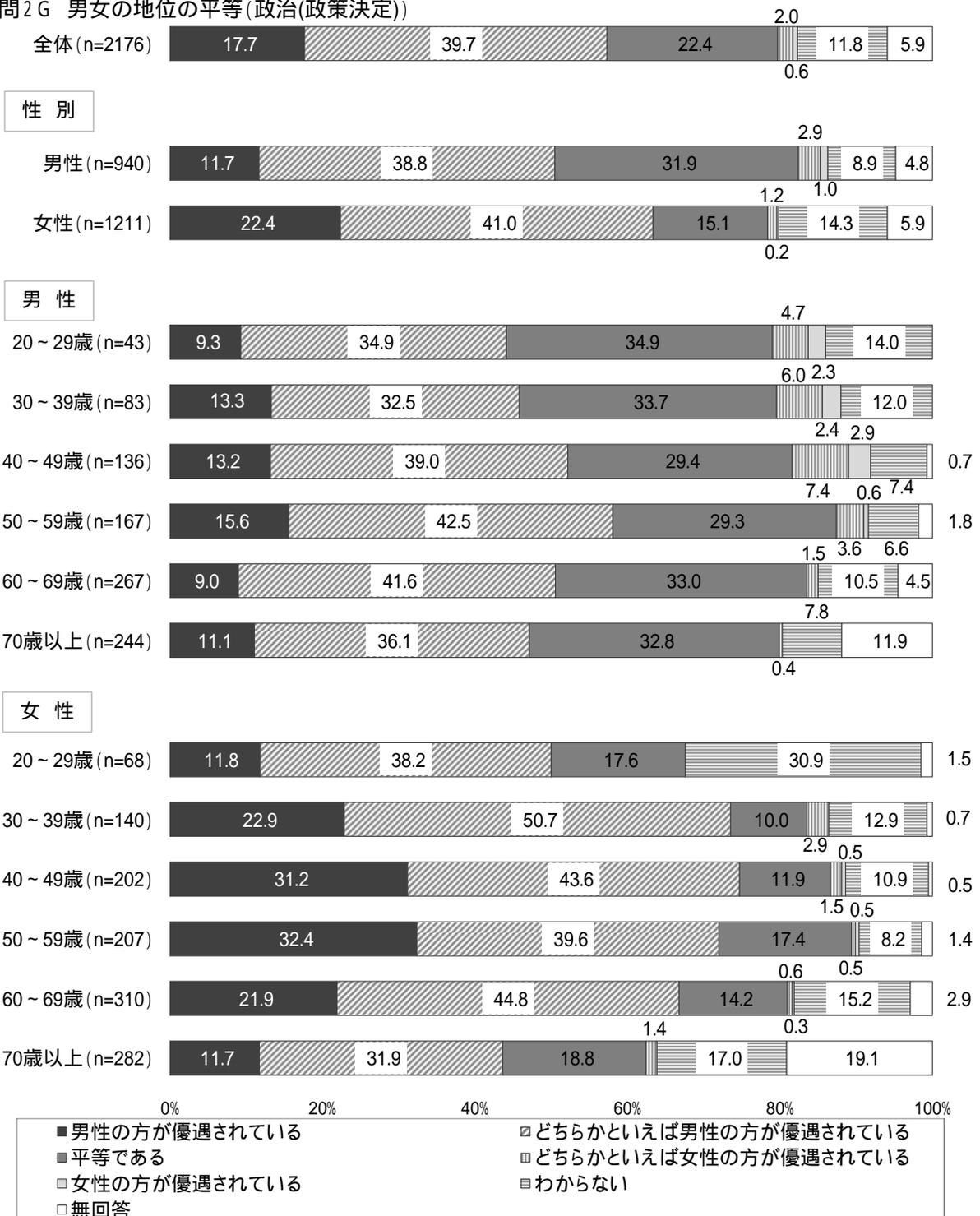
G 政治（政策決定）

全体では『男性の方が優遇されている』の割合が57.4%と最も高く、次いで「平等である」の割合が22.4%となっています。

性別でみると、男性では「平等である」の割合が31.9%と、女性よりも16.8ポイント高くなっています。一方、女性では『男性の方が優遇されている』の割合が63.4%と、男性よりも12.9ポイント高くなっています。特に、女性では「男性の方が優遇されている」の割合が22.4%と、男性よりも10.7ポイント高くなっています。

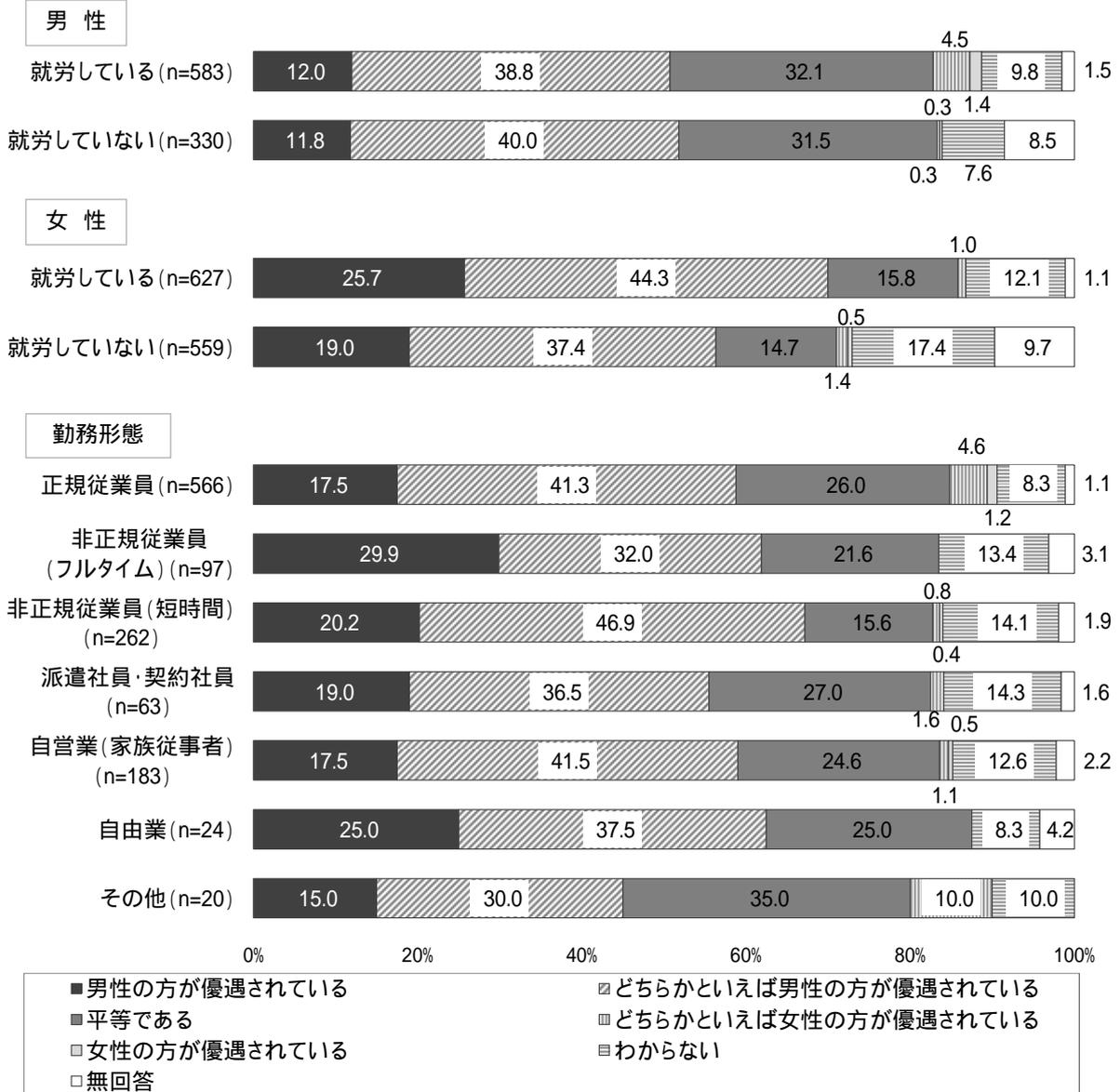
性別年代別でみると、『男性の方が優遇されている』の割合は男性では50歳代を境に、女性では40歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなる傾向にあります。また、40歳代～50歳代の女性では「男性の方が優遇されている」の割合が3割を超えています。

問2 G 男女の地位の平等(政治(政策決定))

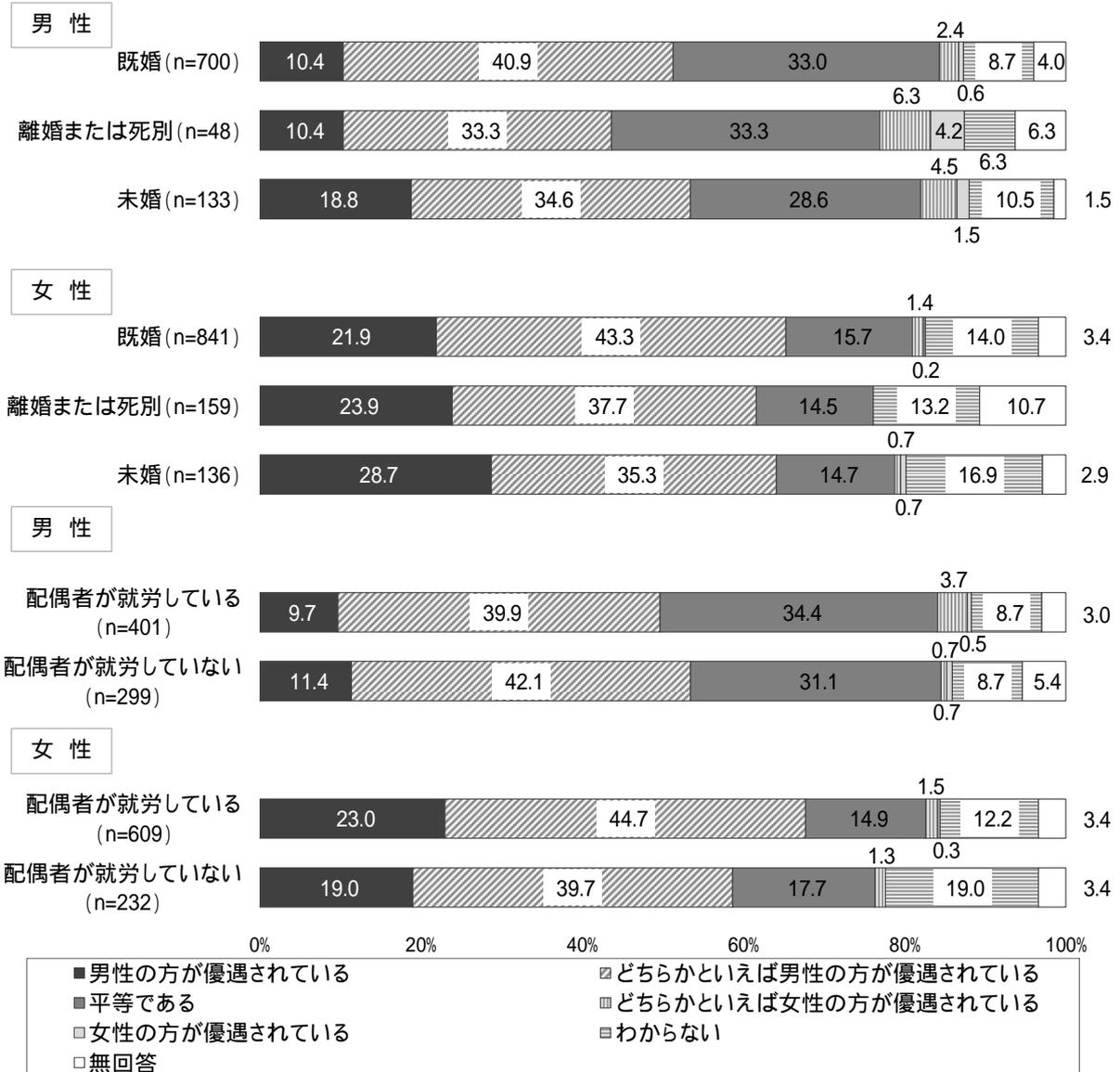


性別就労状況別でみると、就労している女性では『男性の方が優遇されている』の割合が70.0%と、就労していない女性よりも13.6ポイント高くなっています。

問2 G 男女の地位の平等(政治(政策決定))



問2 G 男女の地位の平等(政治(政策決定))

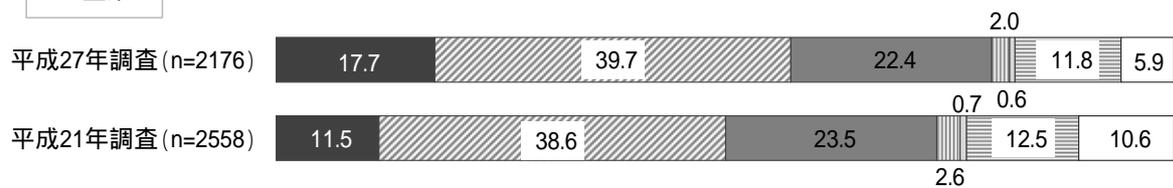


前回の県調査(平成21年実施)と比較すると、『男性の方が優遇されている』の割合が57.4%と、前回調査よりも7.3ポイント高くなっています。

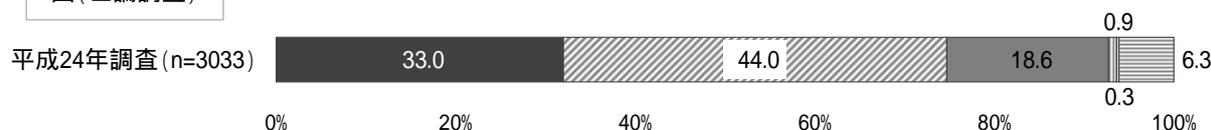
国(平成24年実施 世論調査)と比較すると、「男性の方が優遇されている」の割合が国よりも低くなっています。

問2G 男女の地位の平等(政治(政策決定))

三重県



国(世論調査)



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

国(世論調査)では、無回答を含まない

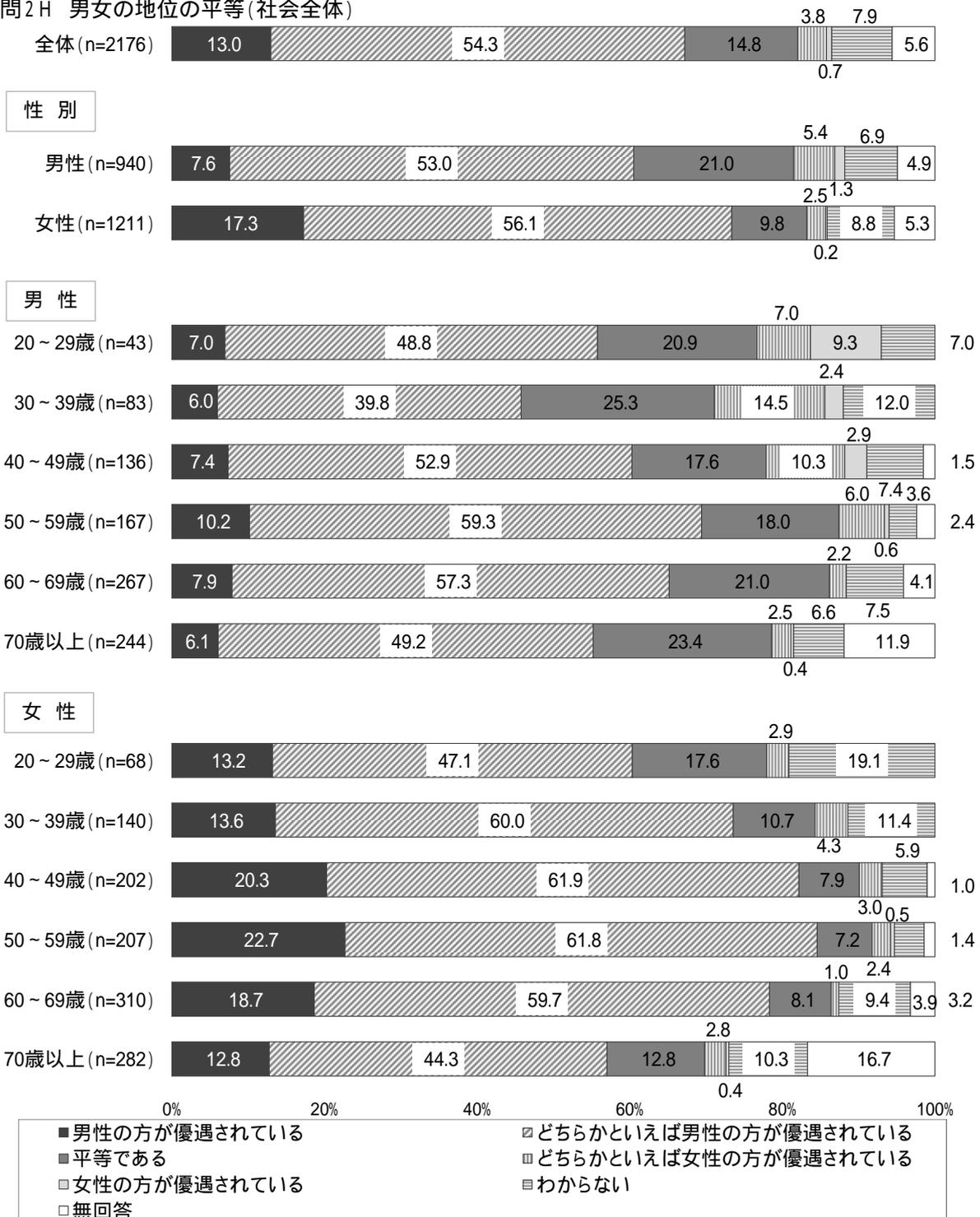
H 社会全体

全体では『男性の方が優遇されている』の割合が67.3%と最も高く、次いで「平等である」の割合が14.8%となっています。

性別で見ると、男性では「平等である」の割合が21.0%と、女性よりも11.2ポイント高くなっています。一方、女性では『男性の方が優遇されている』の割合が73.4%と、男性よりも12.8ポイント高くなっています。

性別年代別で見ると、20歳代～40歳代の男性では『女性の方が優遇されている』の割合が1割を超え、同年代の女性よりも10ポイント以上高くなっています。一方、30歳代～40歳代の女性では『男性の方が優遇されている』の割合が、同年代の男性よりも20ポイント以上高くなっています。また、女性では『男性の方が優遇されている』の割合が50歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなる傾向にあります。

問2H 男女の地位の平等(社会全体)

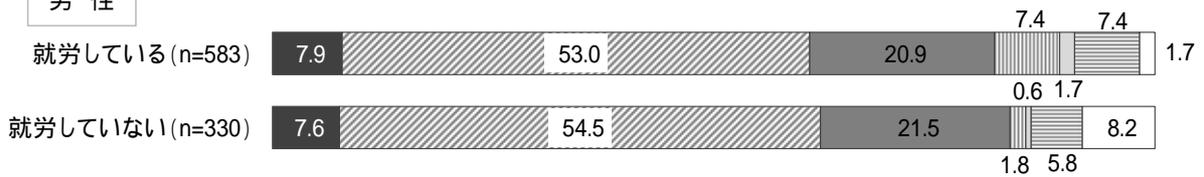


性別就労状況別でみると、就労している女性では『男性の方が優遇されている』の割合が80.0%と、就労していない女性よりも13.2ポイント高くなっています。

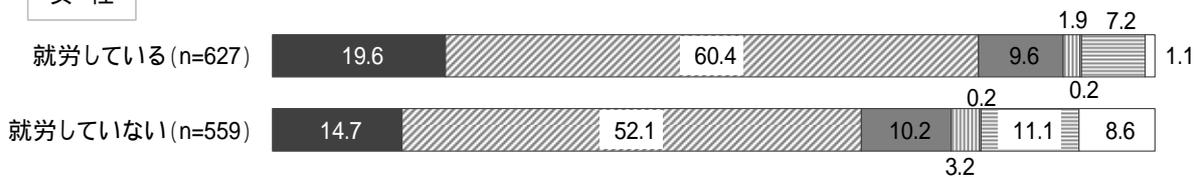
勤務形態別でみると、非正規従業員（フルタイム）と自由業では「男性の方が優遇されている」の割合が2割を超えています。

問2H 男女の地位の平等(社会全体)

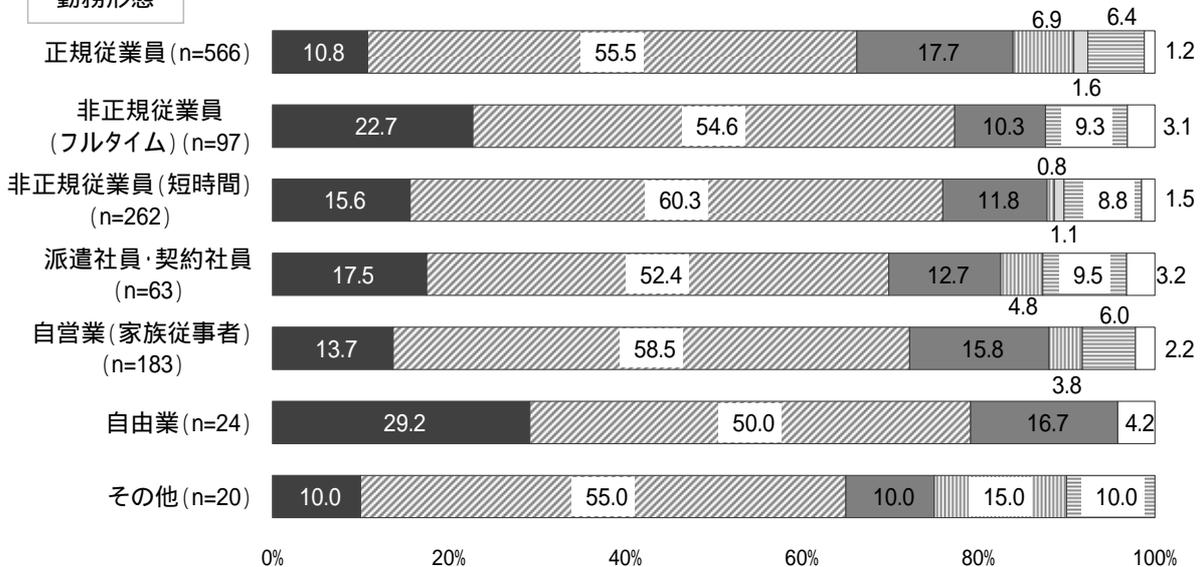
男性



女性



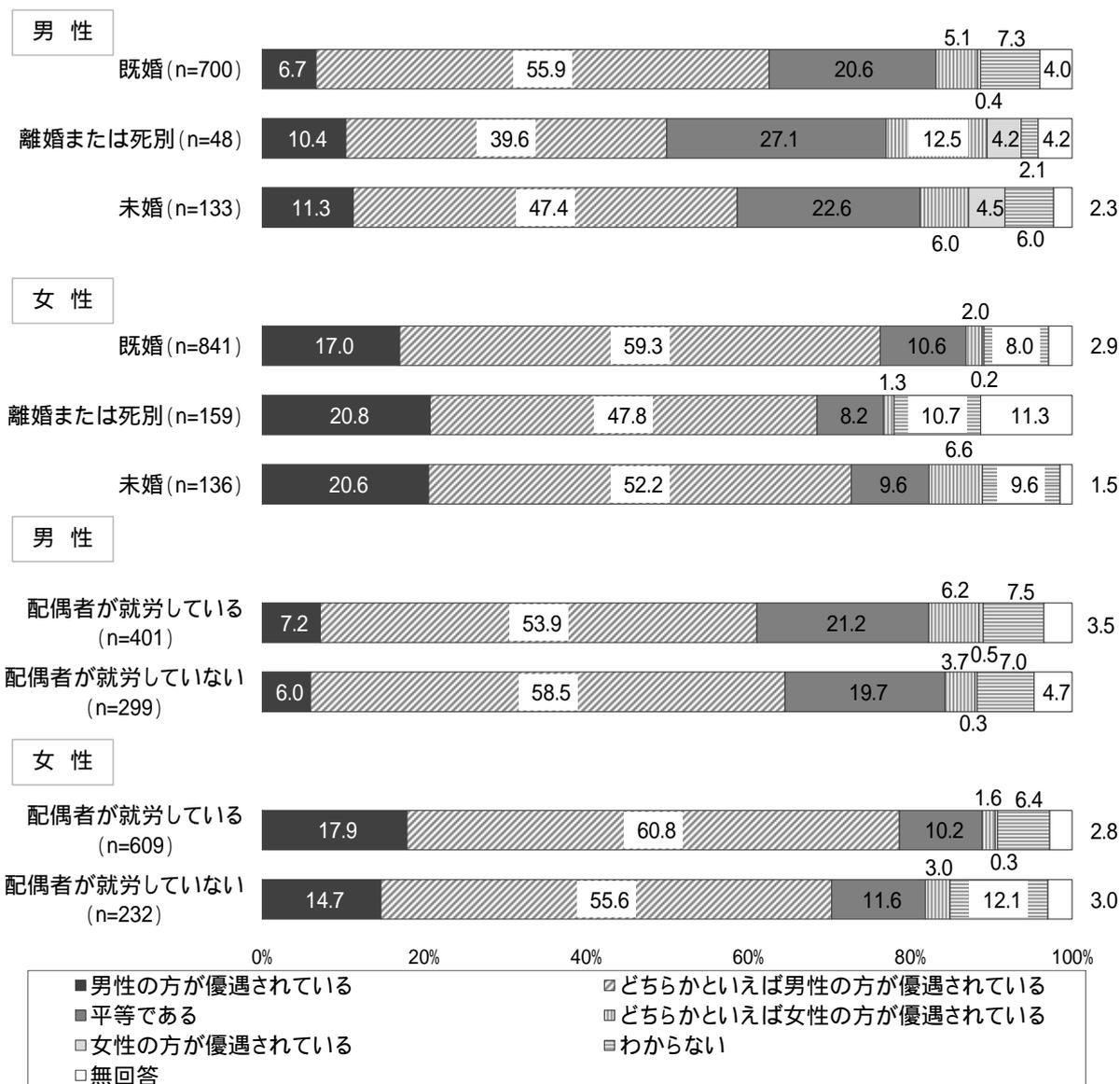
勤務形態



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない

性別配偶者就労状況別でみると、配偶者が就労している女性では『男性の方が優遇されている』の割合が78.7%と、配偶者が就労していない女性よりも8.4ポイント高くなっています。

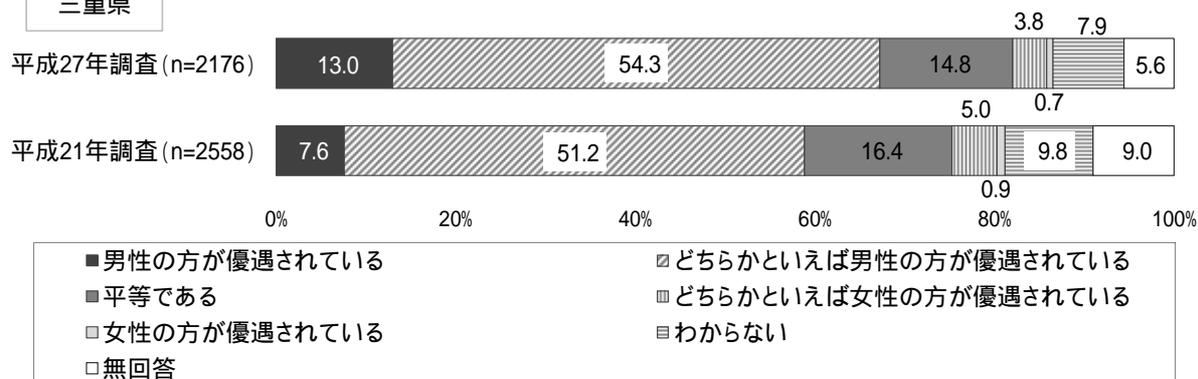
問2 H 男女の地位の平等(社会全体)



前回の県調査(平成21年実施)と比較すると、『男性の方が優遇されている』の割合が67.3%と、前回調査よりも8.5ポイント高くなっています。

問2H 男女の地位の平等(社会全体)

三重県



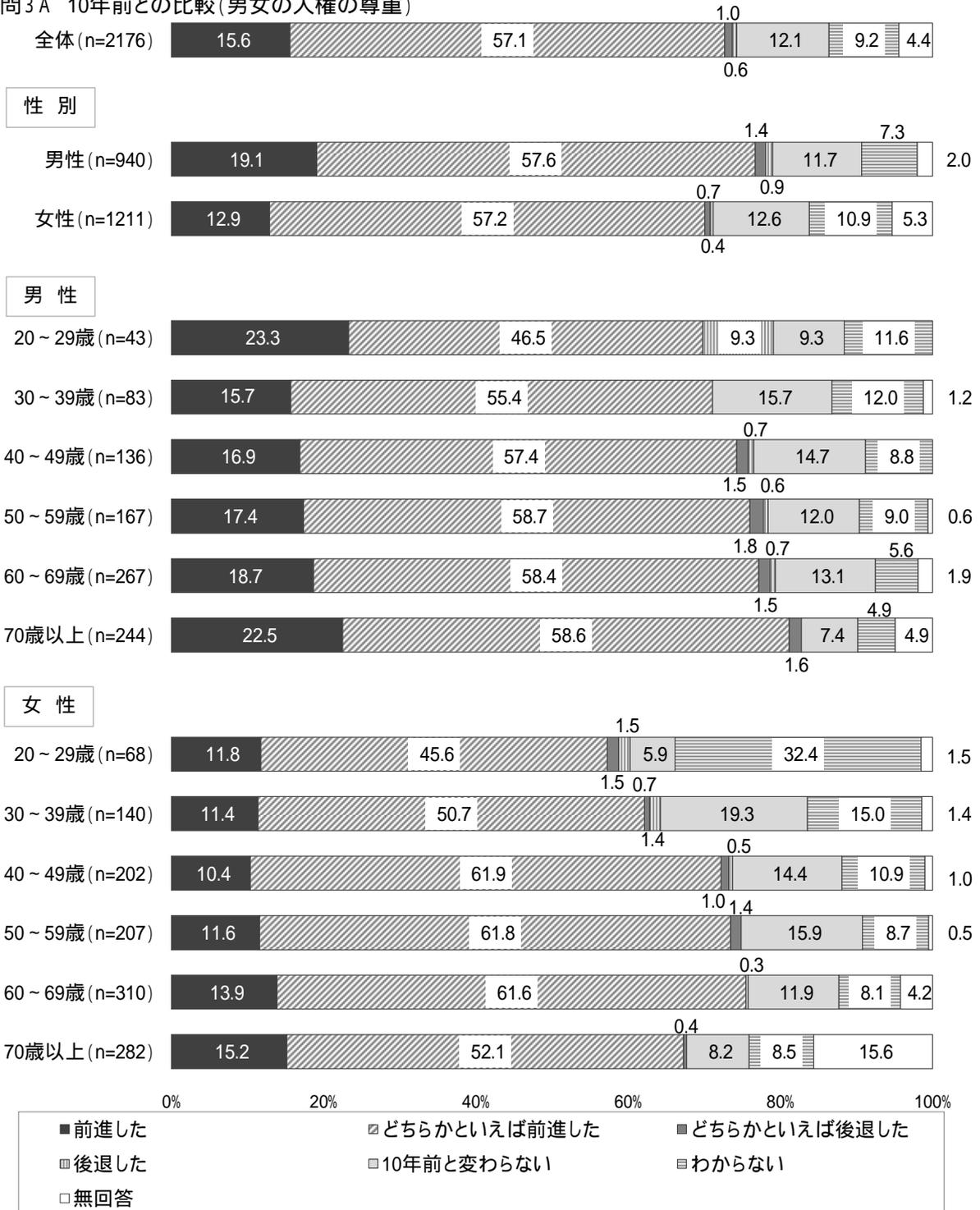
問3 .男女共同参画社会を実現するための基本的な理念について、10年前(平成17年)と比較して、社会全体としての現状をどのように感じていますか。(A～Dのそれぞれについて、は1つまで)

A 男女の人権がともに尊重されている

全体では『前進した』の割合が72.7%と最も高く、次いで「10年前と変わらない」の割合よりも12.1%となっています。

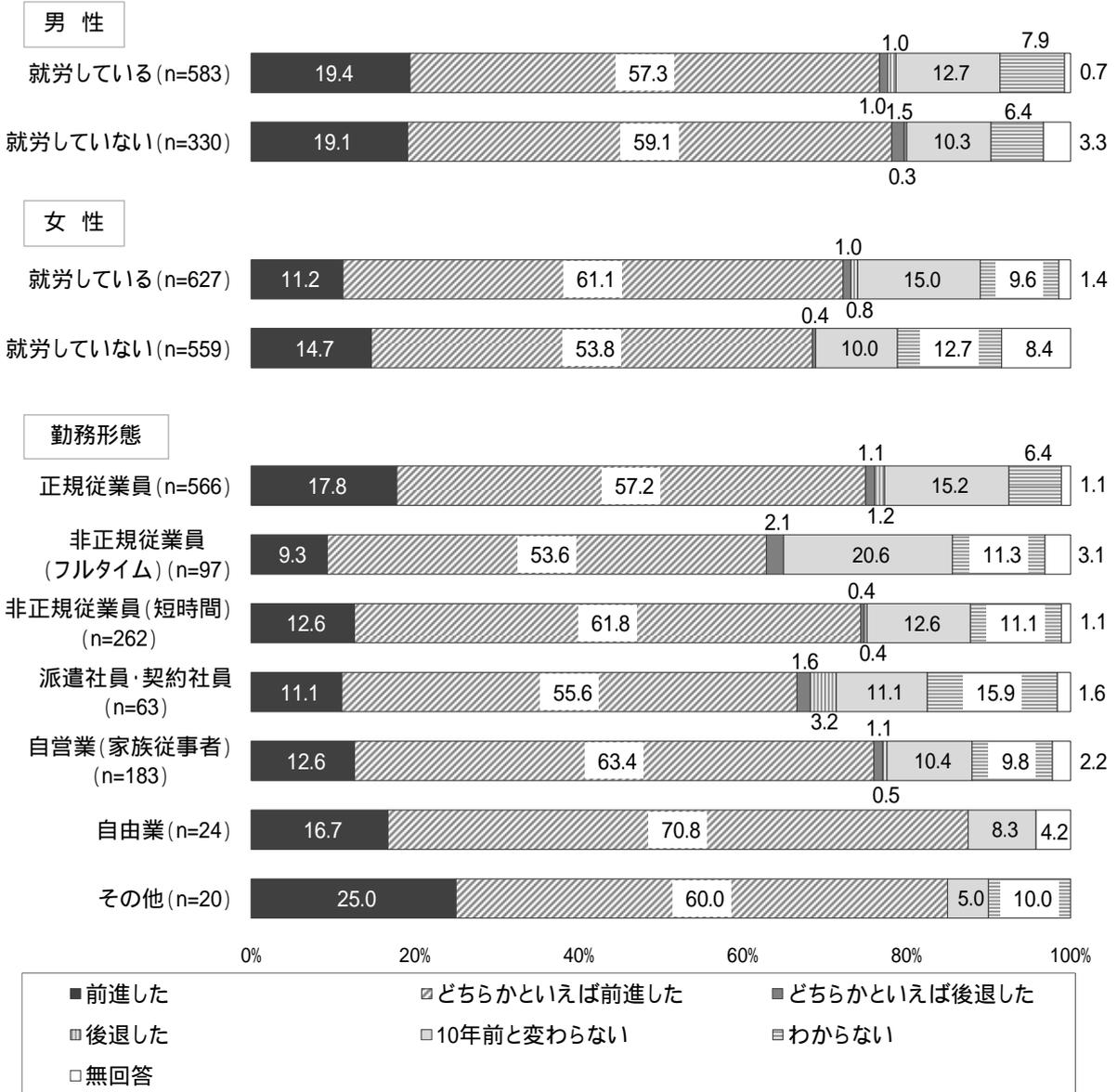
性別年代別でみると、男性と60歳代以下の女性では年代が上がるほど『前進した』の割合が高くなっています。

問3A 10年前との比較(男女の人権の尊重)



勤務形態別でみると、非正規従業員（フルタイム）と派遣社員・契約社員では『前進した』の割合が7割未満となっています。また、非正規従業員（フルタイム）では「10年前と変わらない」の割合が2割を超えています。

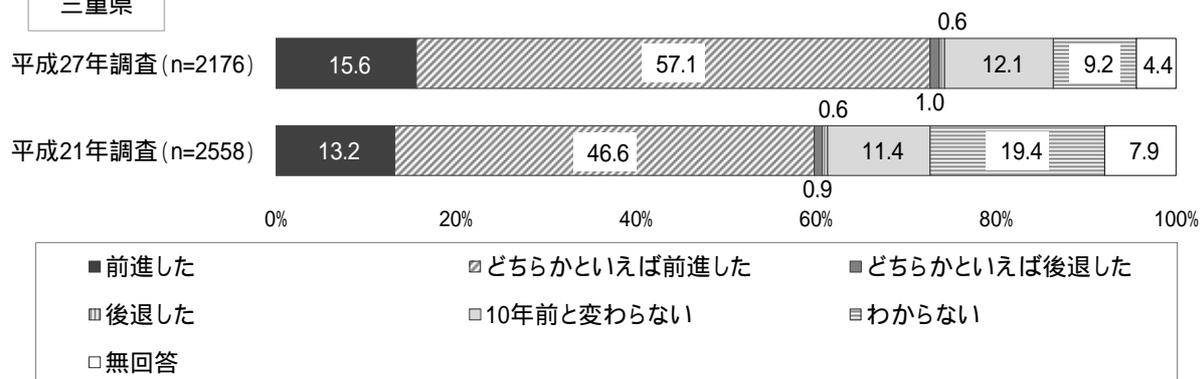
問3A 10年前との比較(男女の人権の尊重)



前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、『前進した』の割合が72.7%と、前回調査よりも12.9ポイント高くなっています。

問3 A 10年前との比較(男女の人権の尊重)

三重県



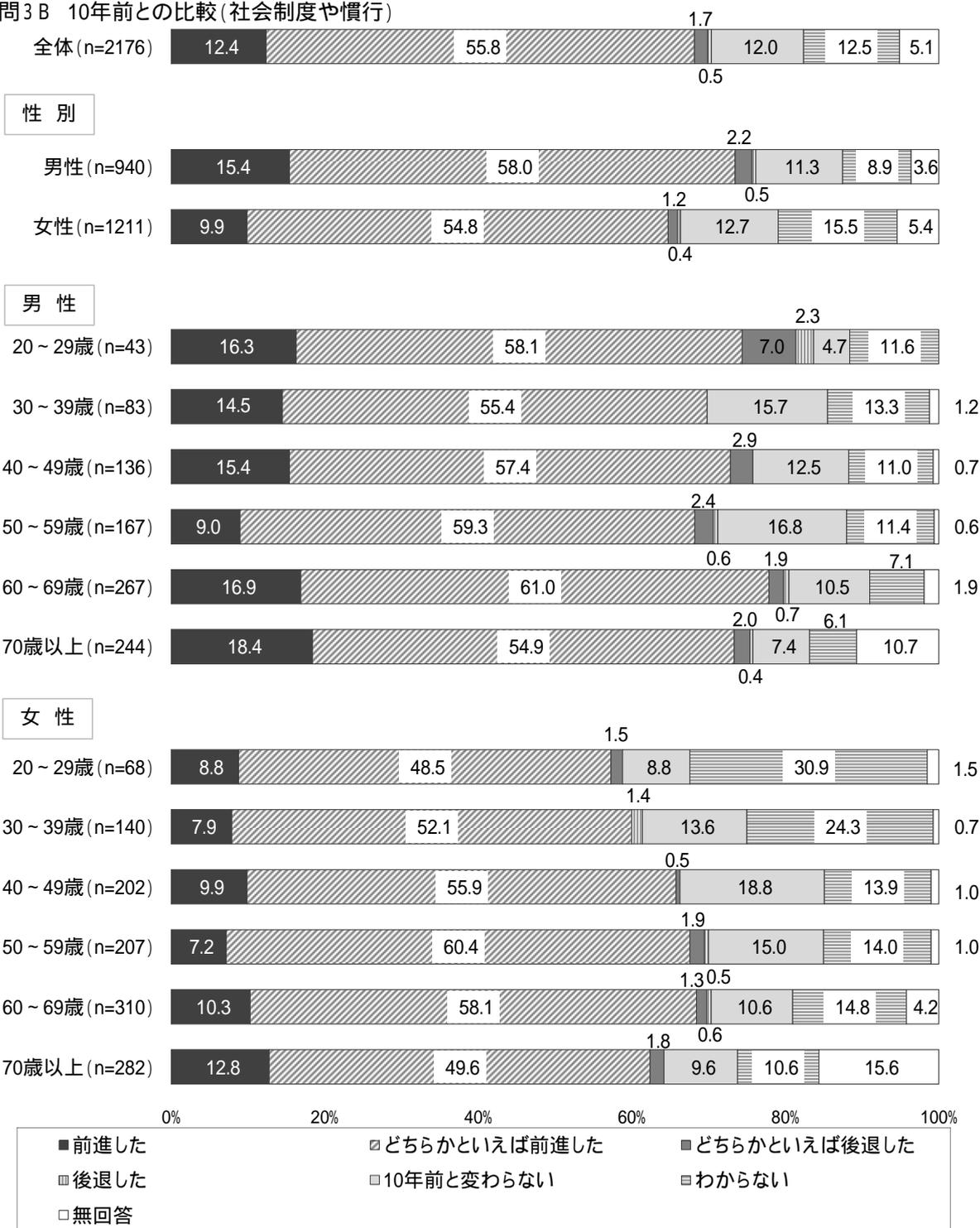
B 男女とも、さまざまな活動ができる社会の制度や慣行となっている

全体では『前進した』の割合が68.2%と最も高く、次いで「10年前と変わらない」の割合が12.0%となっています。

性別でみると、女性では『前進した』の割合が64.7%と、男性よりも8.7ポイント低くなっています。

性別年代別でみると、20歳代の男性では『後退した』の割合が9.3%となっています。また、60歳以下の女性では年代が上がるほど『前進した』の割合が高くなっています。

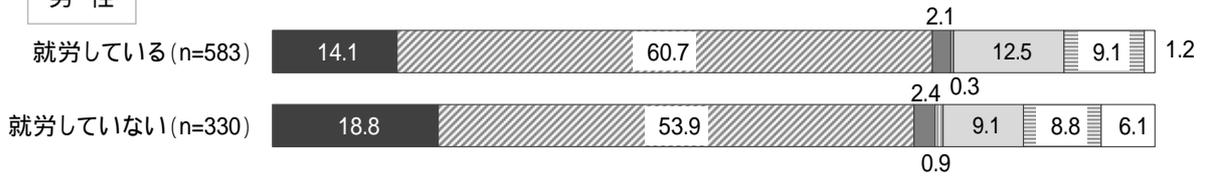
問3 B 10年前との比較(社会制度や慣行)



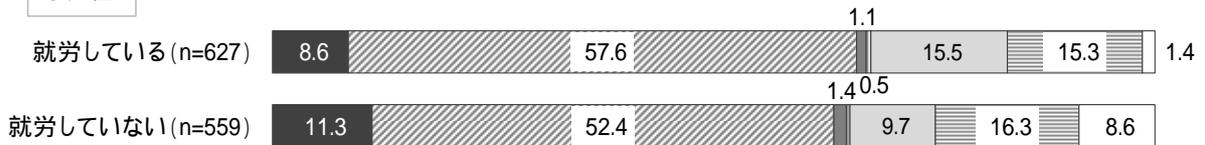
性別就労状況別で見ると、非正規従業員（フルタイム）では『前進した』の割合が6割未満となっています。

問3B 10年前との比較(社会制度や慣行)

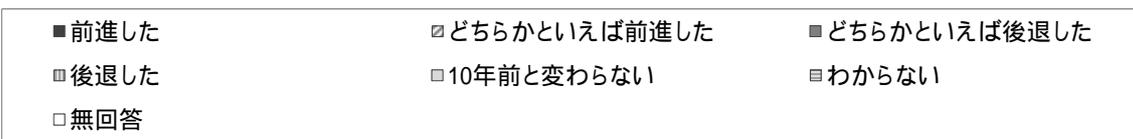
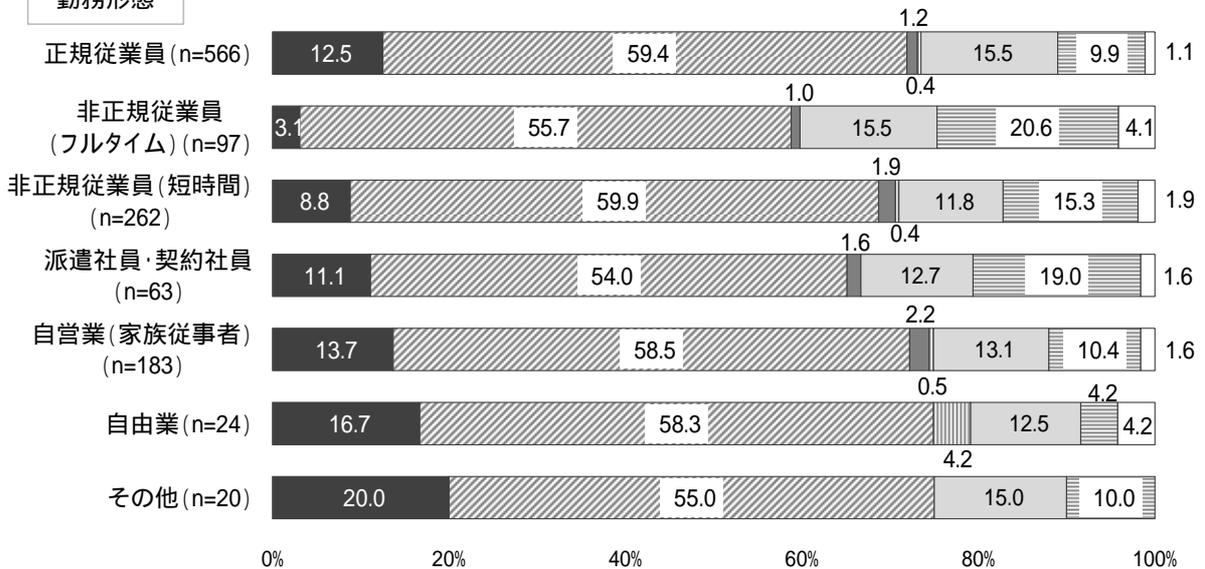
男性



女性

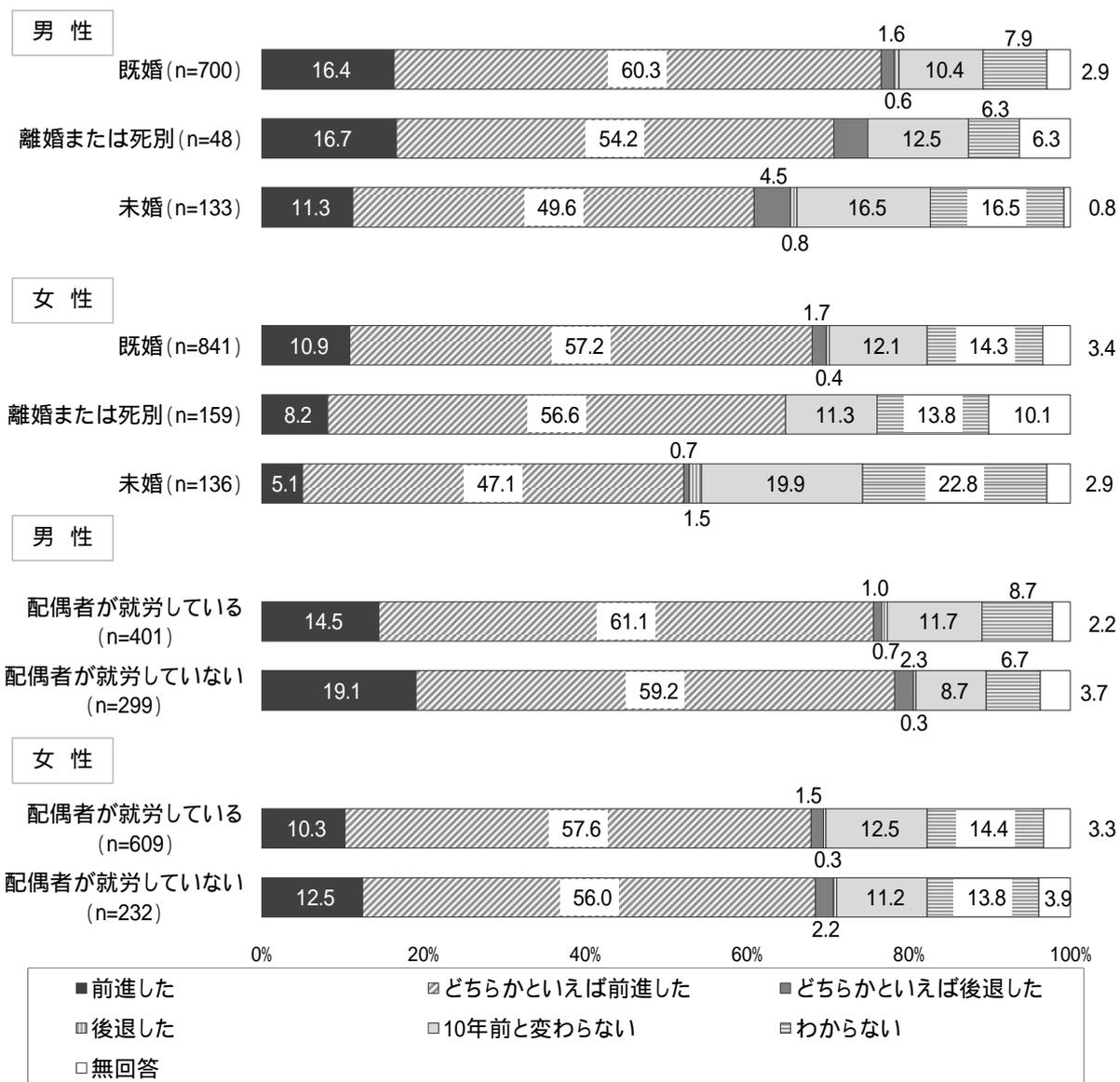


勤務形態



性別婚姻状況別で見ると、未婚の男女ともに、『前進した』の割合が、同性の他の婚姻状況よりも10ポイント以上低くなっています。

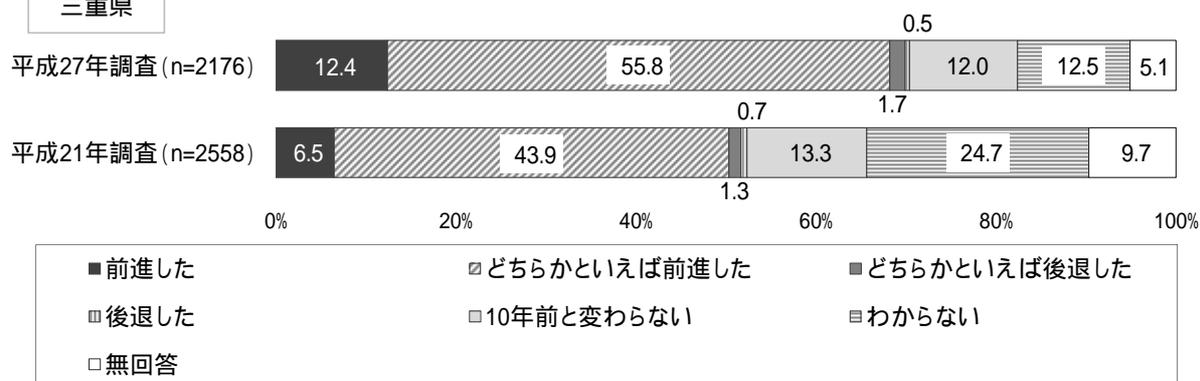
問3 B 10年前との比較(社会制度や慣行)



前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、『前進した』の割合が68.2%と、前回調査よりも17.8ポイント高く、「わからない」の割合が12.2ポイント低くなっています。

問3B 10年前との比較(社会制度や慣行)

三重県



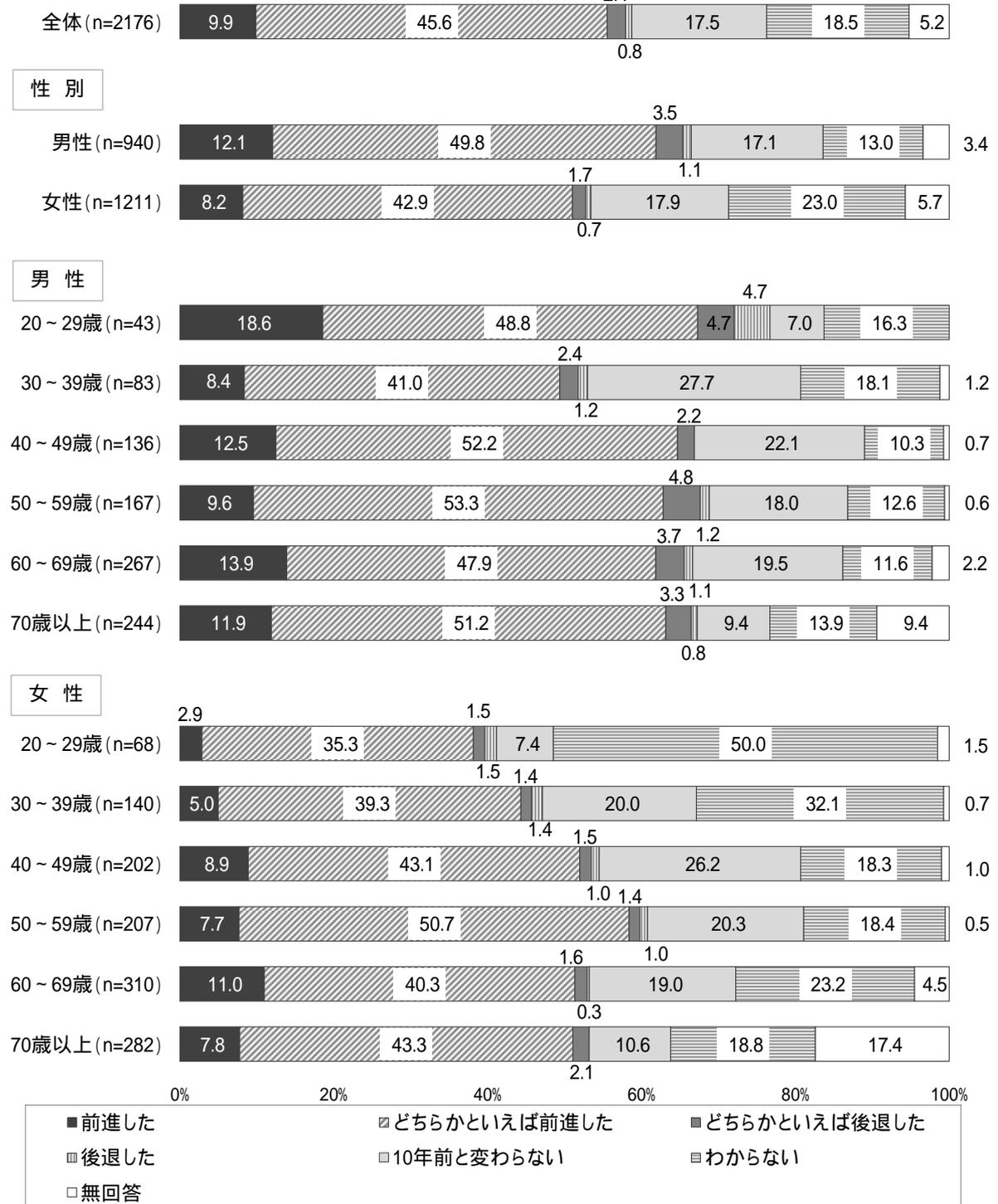
C 男女とも、政策等の立案や決定に関わる機会が確保されている

全体では『前進した』の割合が55.5%と最も高く、次いで「10年前と変わらない」の割合が17.5%となっています。

性別で見ると、女性では『前進した』の割合が51.1%と、男性よりも10.8ポイント低くなっています。

性別年代別で見ると、30歳代の男性では『前進した』の割合が49.4%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上低く、「10年前と変わらない」の割合が27.7%と高くなっています。また、20歳代の女性では『前進した』の割合が38.2%と、同年代の男性よりも29.2ポイント低くなっています。さらに、女性では『前進した』の割合が50歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。

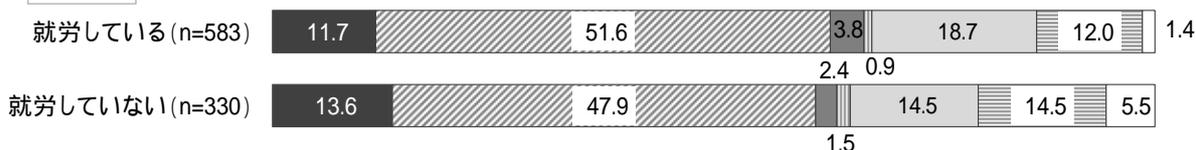
問3C 10年前との比較(政策等の立案や決定に関わる機会)



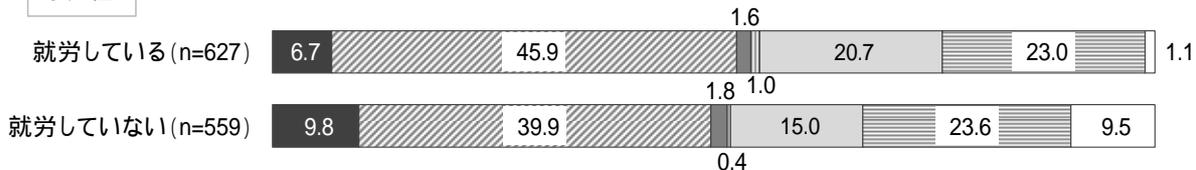
勤務形態別でみると、非正規従業員（フルタイム）と自由業では『前進した』の割合が5割以下となっており、「10年前と変わらない」の割合が3割弱となっています。

問3C 10年前との比較(政策等の立案や決定に関わる機会)

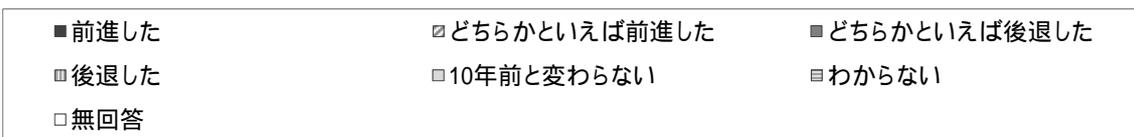
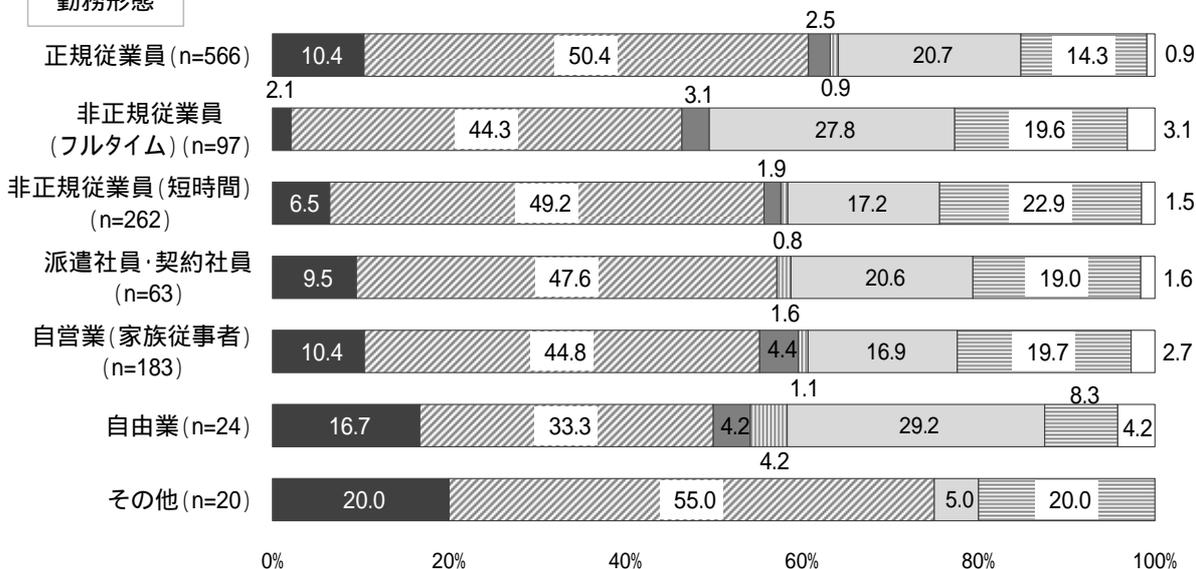
男性



女性

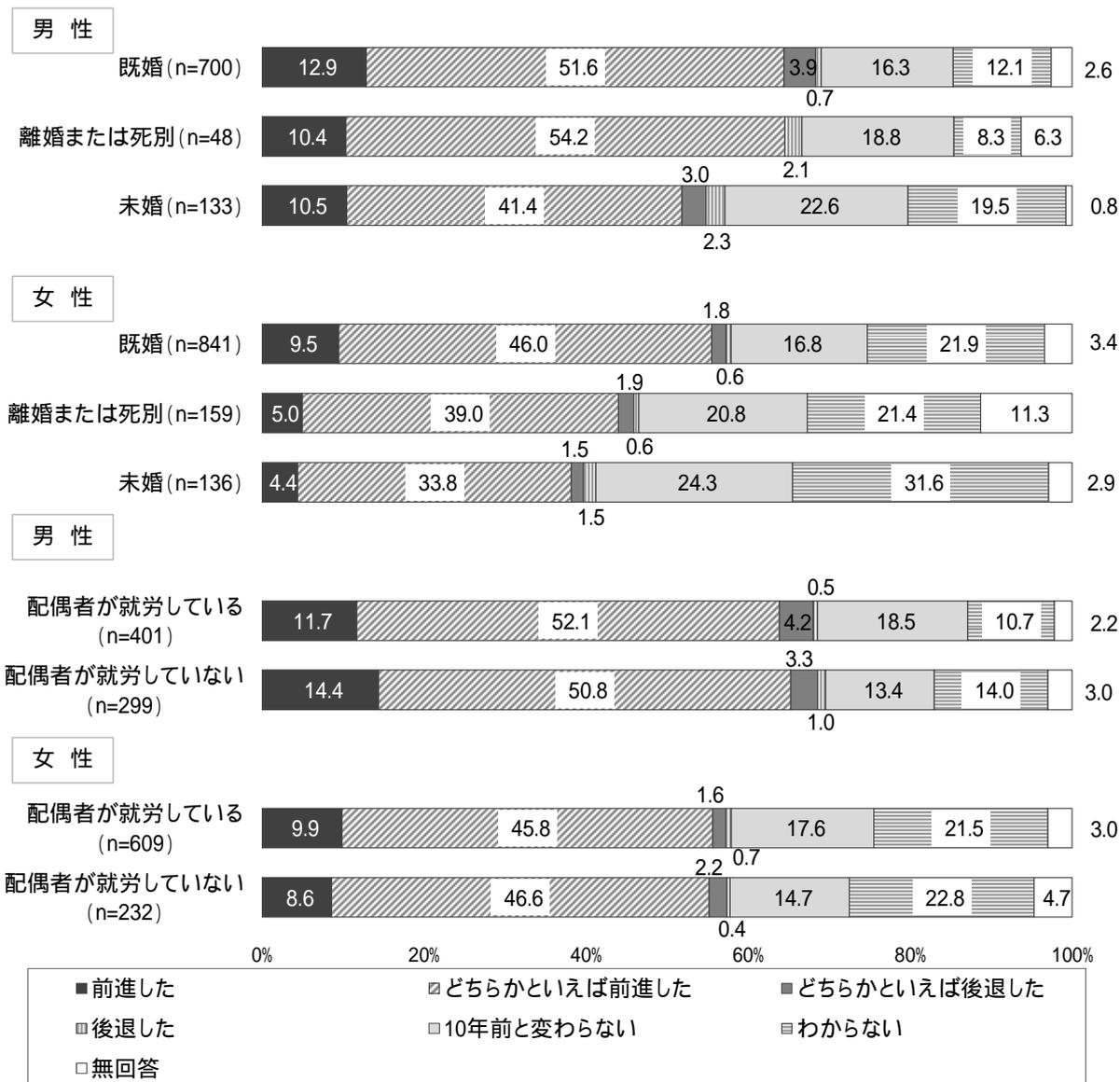


勤務形態



性別婚姻状況別で見ると、未婚の男性では『前進した』の割合が51.9%と、同性の他の婚姻状況よりも10ポイント以上低くなっています。また、既婚の女性では『前進した』の割合が55.5%と、同性の他の婚姻状況よりも10ポイント以上高くなっています。

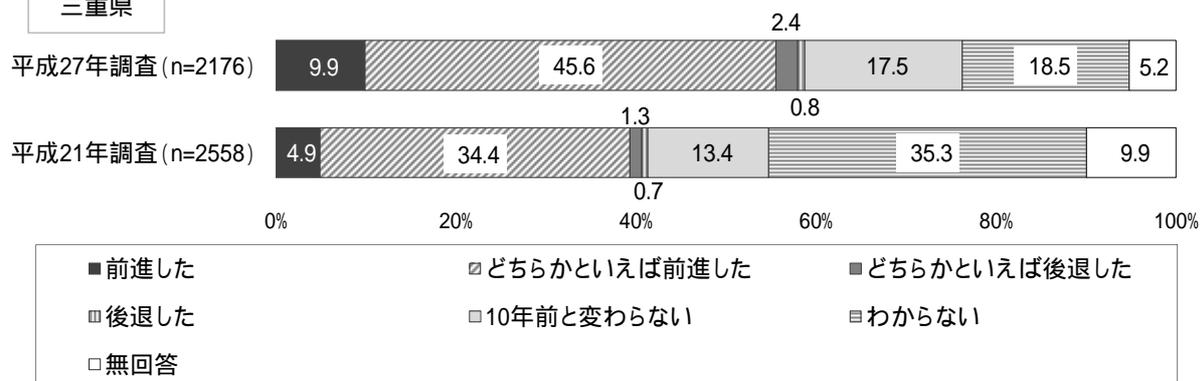
問3C 10年前との比較(政策等の立案や決定に関わる機会)



前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、『前進した』の割合が55.5%と、前回調査よりも16.2ポイント高くなっています。

問3C 10年前との比較(政策等の立案や決定に関わる機会)

三重県

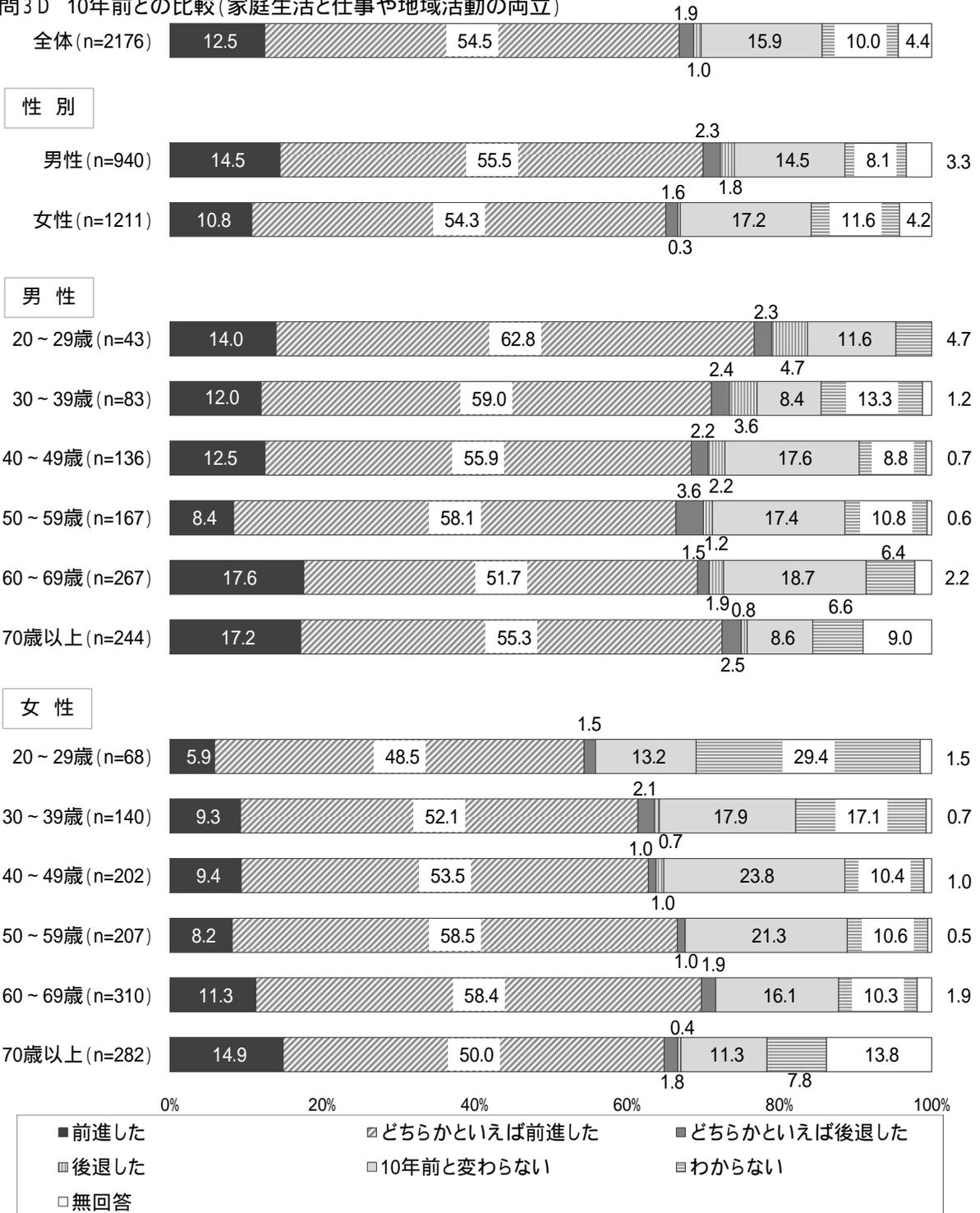


D 男女がともに協力し、家庭生活と仕事や地域活動を両立している

全体では『前進した』の割合が67.0%と最も高く、次いで「10年前と変わらない」の割合が15.9%となっています。

性別年代別でみると、男性では『前進した』の割合が50歳代を境に、それまでは年代が上がるほど低く、それ以降の年代では高くなっています。また、60歳代以下の女性では年代が上がるほど『前進した』の割合が高くなっています。

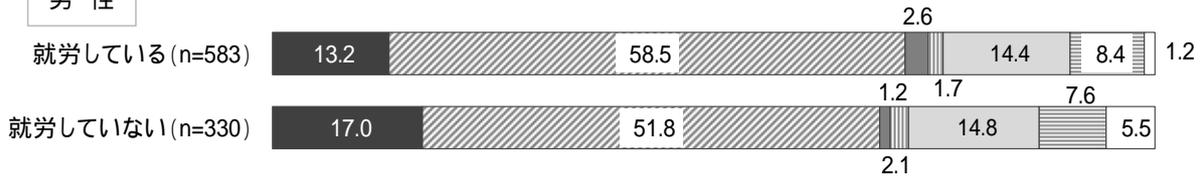
問3D 10年前との比較(家庭生活と仕事や地域活動の両立)



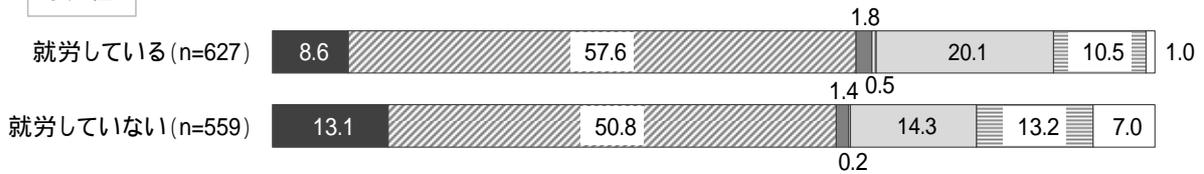
勤務形態別でみると、非正規従業員（フルタイム）では『前進した』の割合が6割未満となっており、「10年前と変わらない」の割合が2割を超えています。

問3D 10年前との比較(家庭生活と仕事や地域活動の両立)

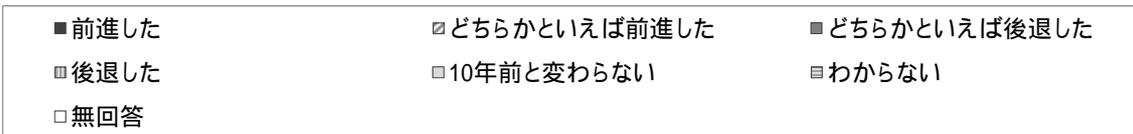
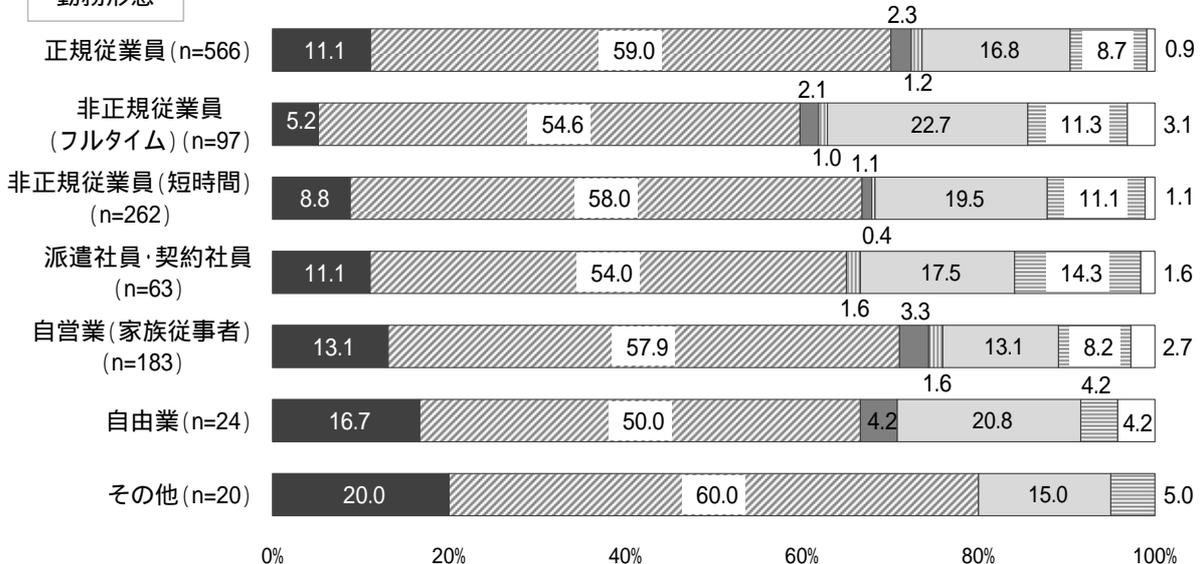
男性



女性

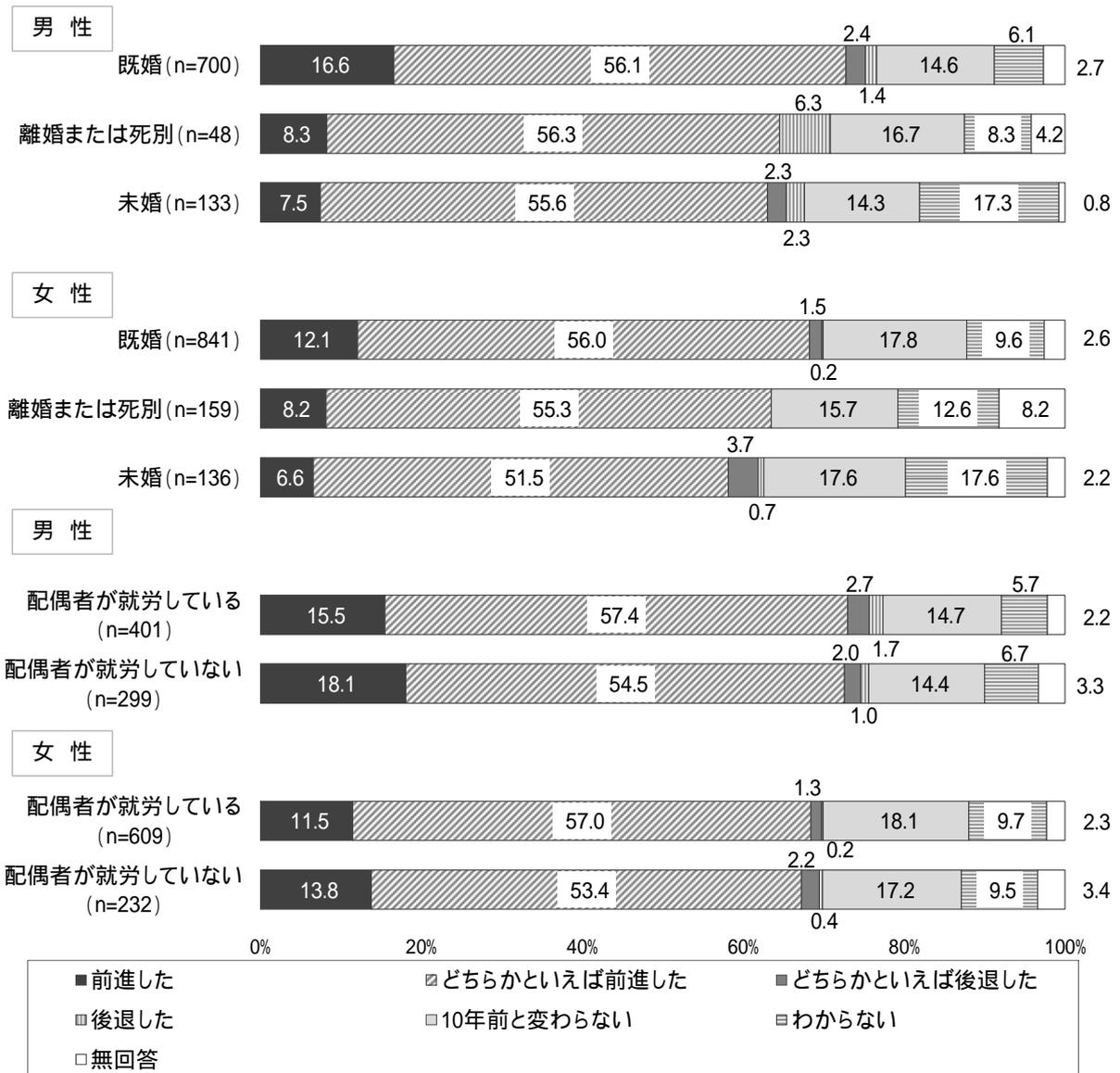


勤務形態



性別婚姻状況別で見ると、既婚の男性では「前進した」の割合が72.7%と、同性の他の婚姻状況よりも8ポイント以上高くなっています。

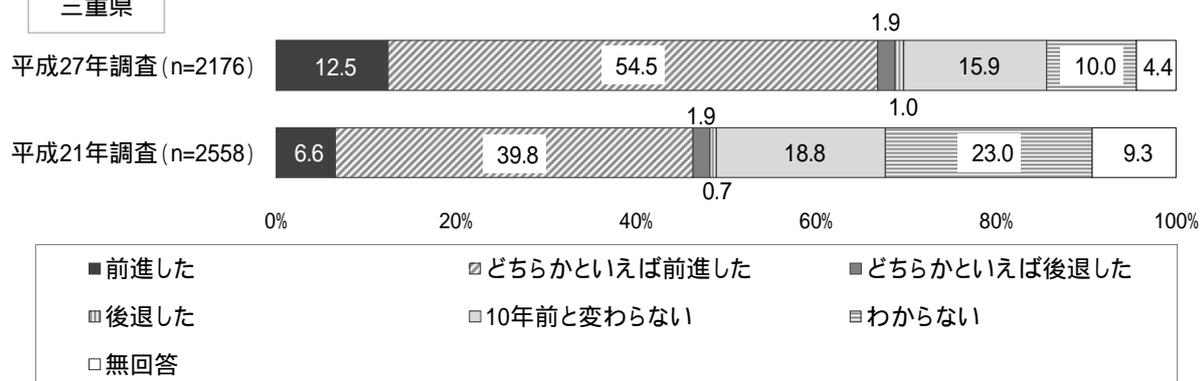
問3D 10年前との比較(家庭生活と仕事や地域活動の両立)



前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、『前進した』の割合が67.0%と、前回調査よりも20.6ポイント高くなっています。

問3D 10年前との比較(家庭生活と仕事や地域活動の両立)

三重県



問4 . 次のような役職に「女性がもっと就いたほうがよい」と思いますか。(は1つまで)

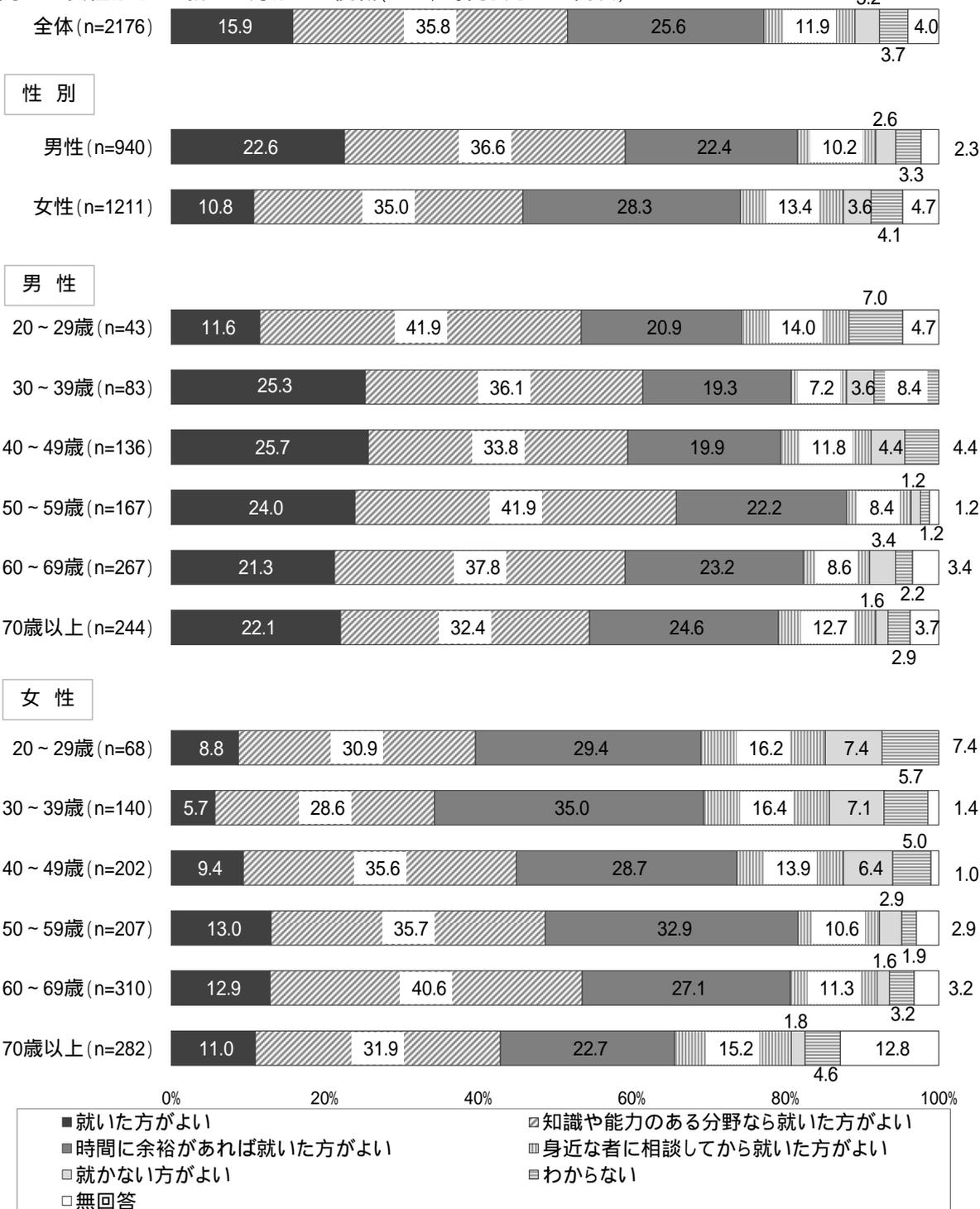
A PTA、町内会などの代表

全体では「知識や能力がある分野なら就いた方がよい」の割合が35.8%と最も高く、次いで「時間に余裕があれば就いた方がよい」の割合が25.6%となっています。

性別で見ると、女性では「就いた方がよい」の割合が10.8%と、男性よりも11.8ポイント低くなっています。

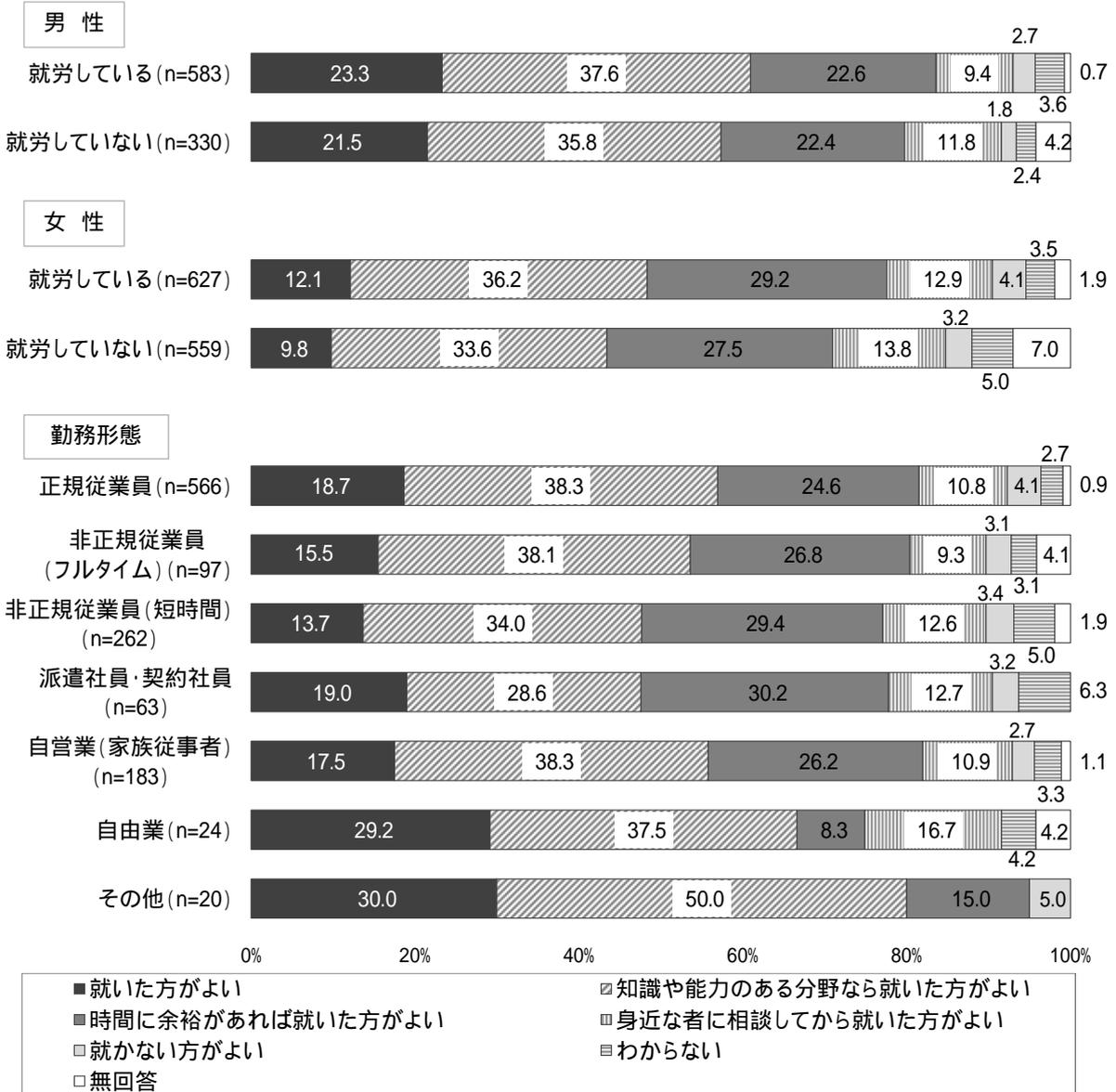
性別年代別で見ると、20歳代の男性では「就いた方がよい」の割合が11.6%と、同性の他の年代よりも10ポイント前後低くなっています。

問4A 女性がもっと就いた方がよい役職(PTA、町内会などの代表)



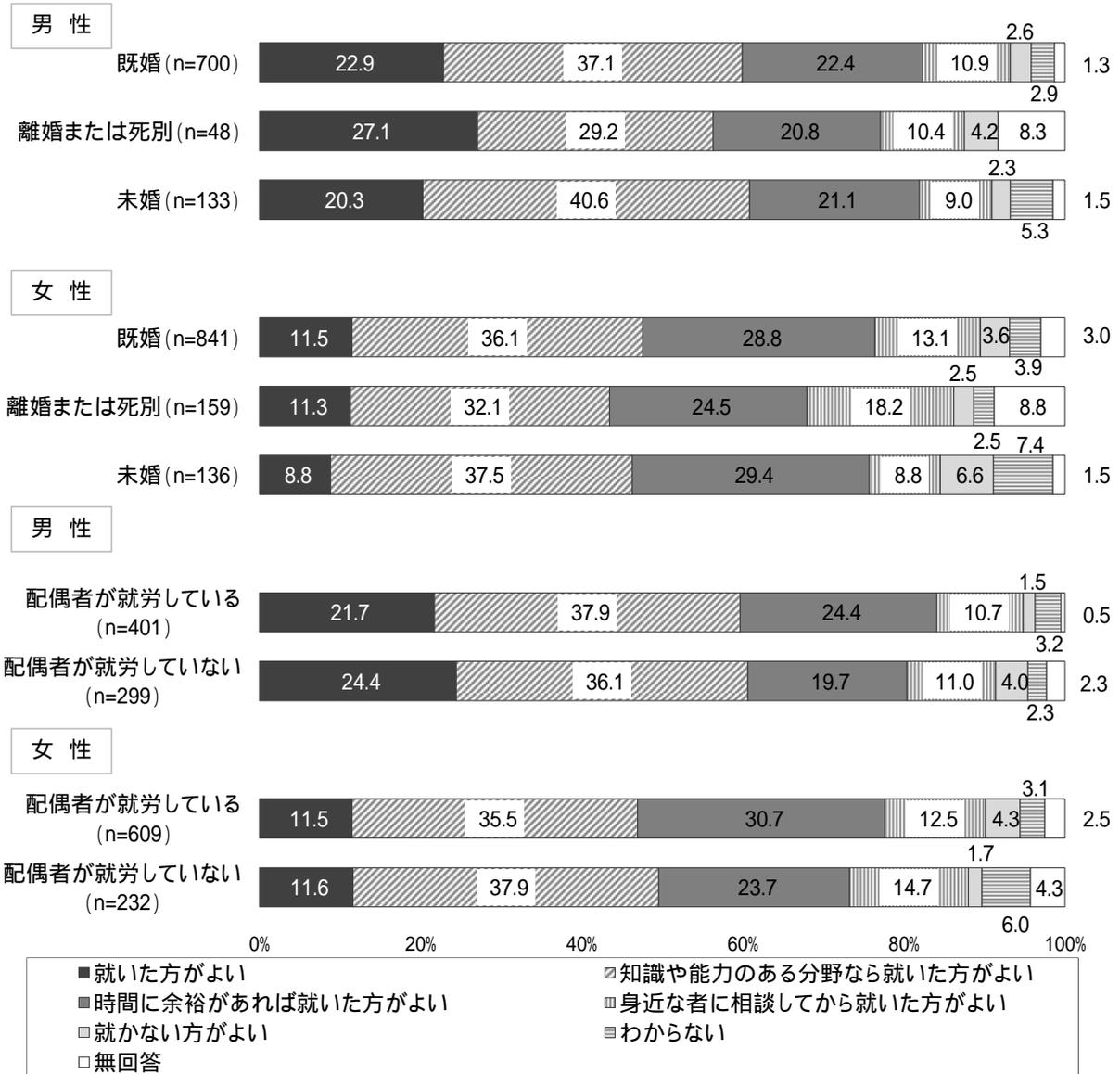
性別就労状況別でみると、自由業では「就いた方がよい」の割合が29.2%となっており、「時間に余裕があれば就いた方がよい」の割合が1割未満となっています。

問4A 女性がもっと就いた方がよい役職(PTA、町内会などの代表)



性別婚姻状況別で見ると、未婚の男性では「知識や能力がある分野なら就いた方がよい」の割合が4割を超えています。また、離婚または死別の女性では「身近なものに相談してから就いた方がよい」の割合が18.2%となっています。

問4A 女性がもっと就いた方がよい役職(PTA、町内会などの代表)

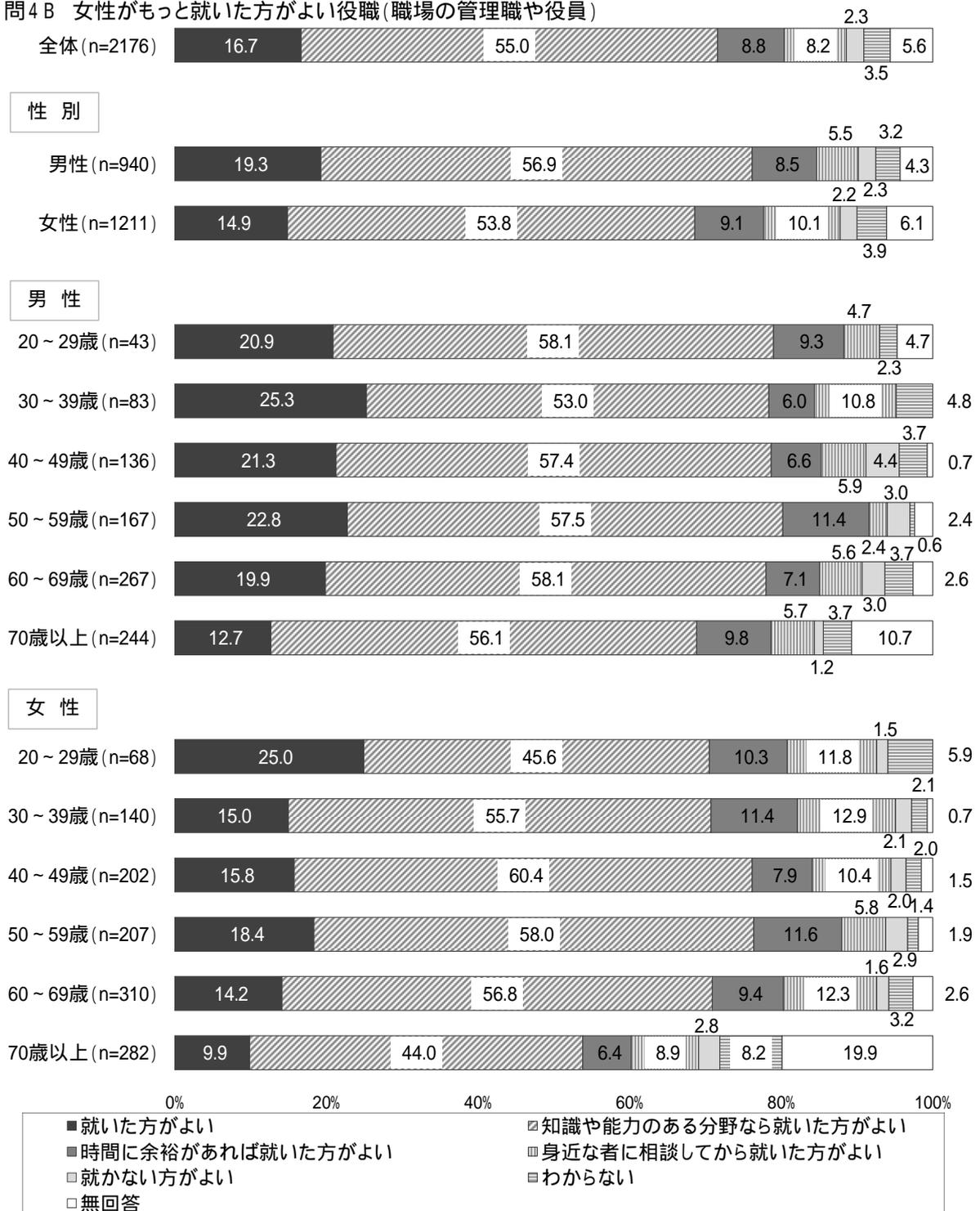


B 職場の管理職や役員

全体では「知識や能力のある分野なら就いた方がよい」の割合が55.0%と最も高く、次いで「就いた方がよい」の割合が16.7%となっています。

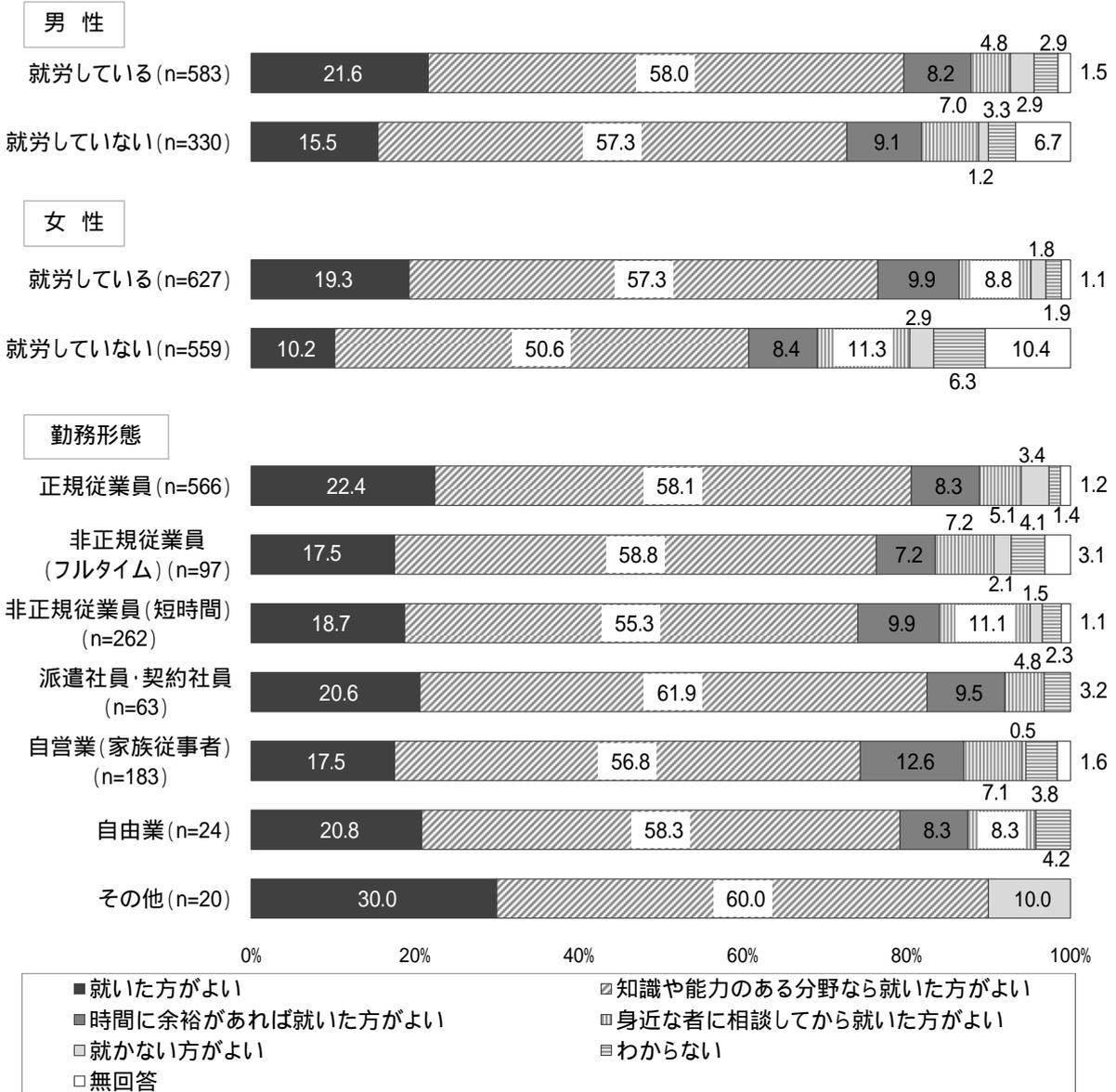
性別年代別でみると、20歳代の女性では「就いた方がよい」の割合が25.0%と、女性ではこの年代だけが2割を超えています。

問4 B 女性がもっと就いた方がよい役職(職場の管理職や役員)



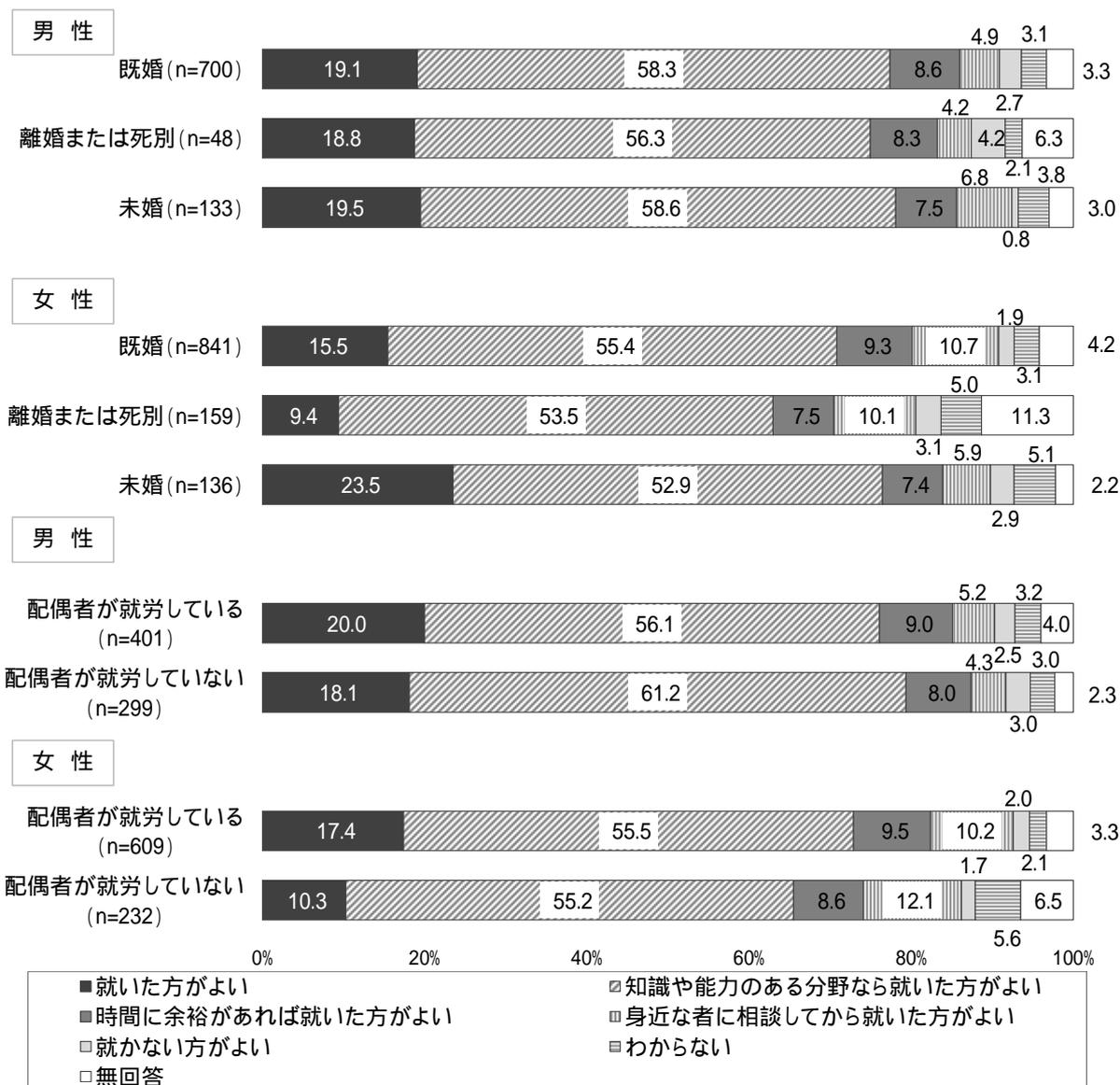
性別就労状況別でみると、就労している女性では「就いた方がよい」の割合が19.3%と、就労していない女性よりも9.1ポイント高くなっています。

問4B 女性がもっと就いた方がよい役職(職場の管理職や役員)



性別婚姻状況別でみると、未婚の女性では「就いた方がよい」の割合が2割を超えており、「身近な者に相談してから就いた方がよい」の割合が1割未満となっています。

問4B 女性がもっと就いた方がよい役職(職場の管理職や役員)

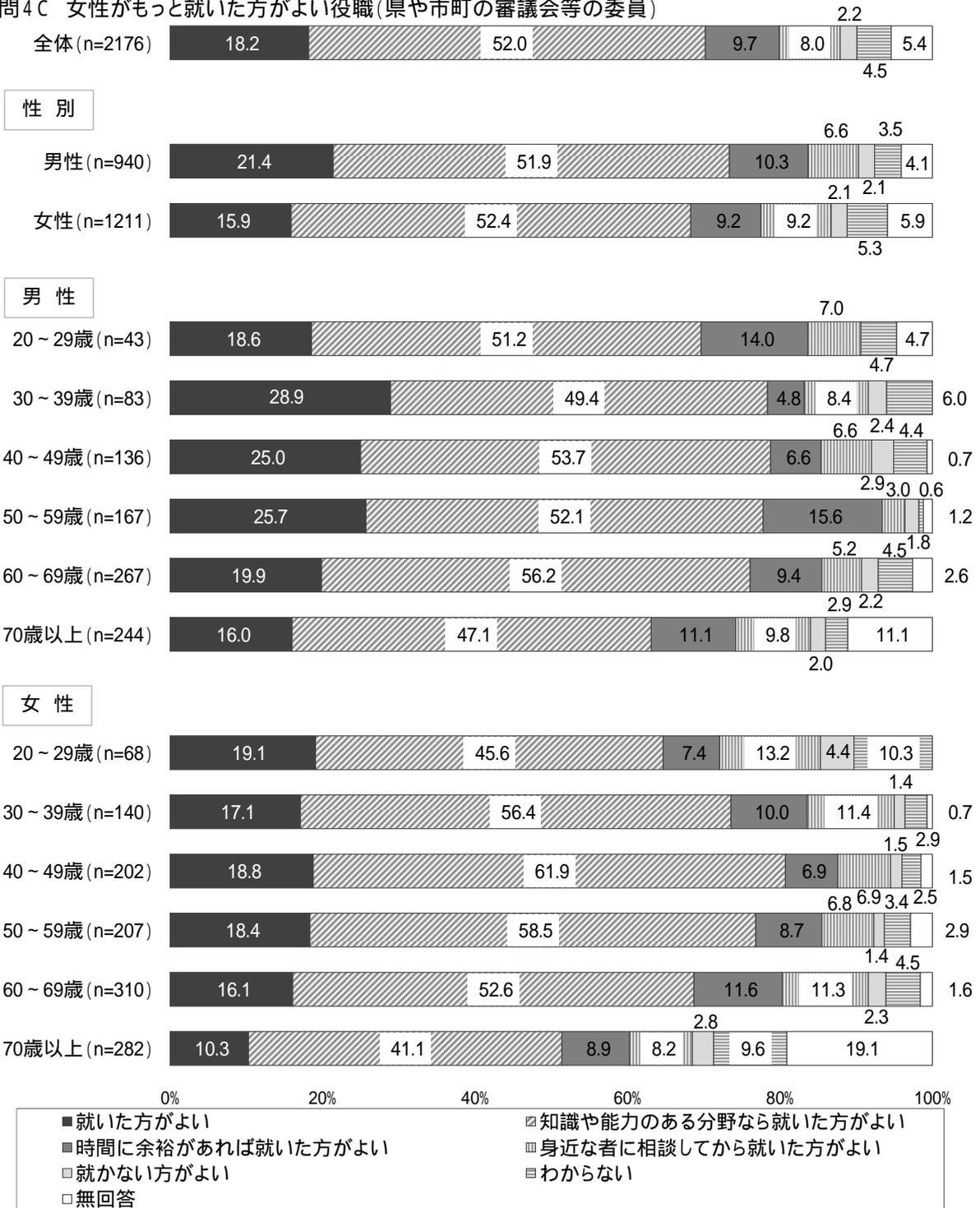


C 県や市町の審議会等の委員

全体では「知識や能力のある分野なら就いた方がよい」の割合が52.0%と最も高く、次いで「就いた方がよい」の割合が18.2%となっています。

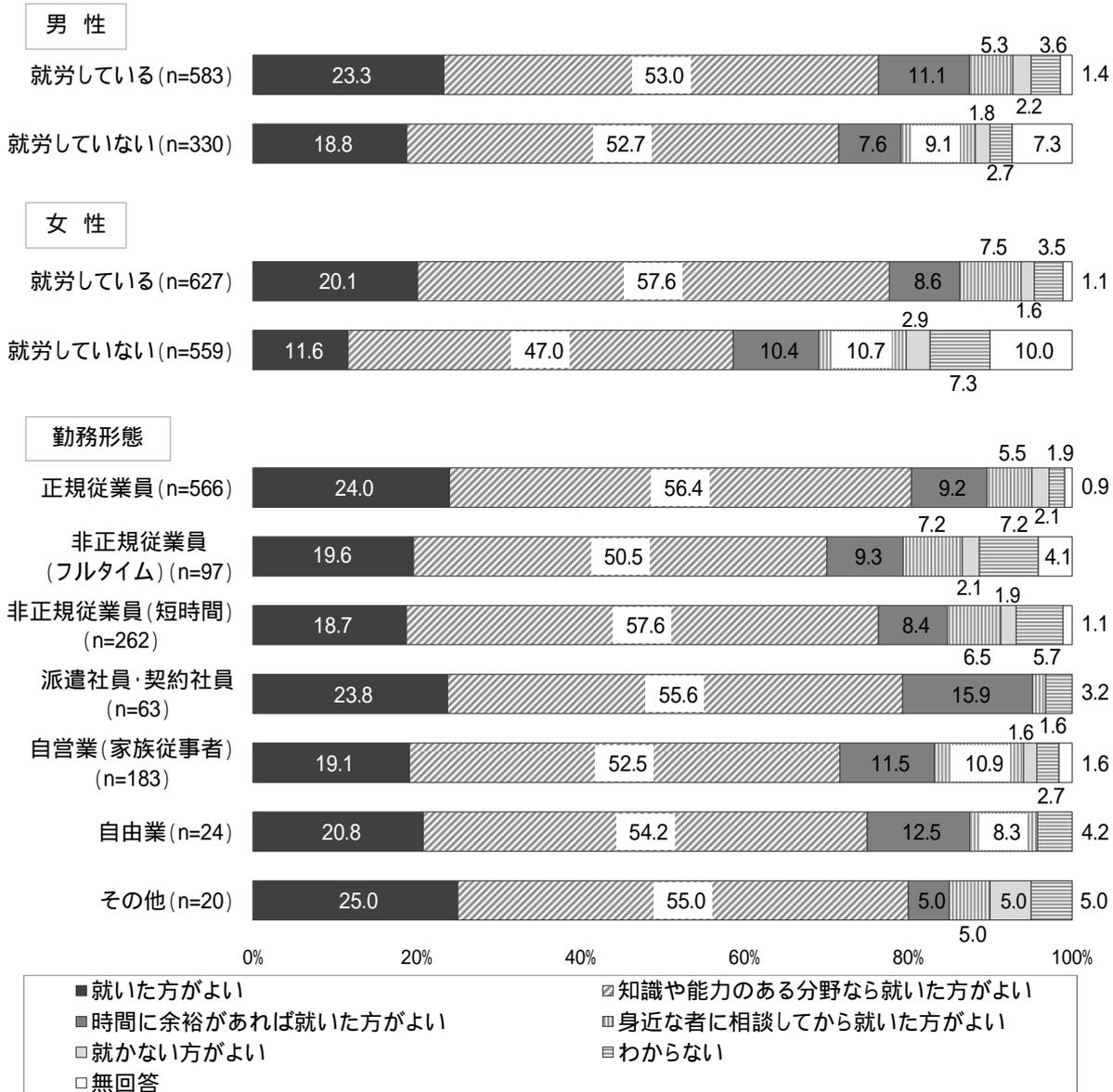
性別年代別でみると、30歳以上の男性では年代が上がるほど「就いた方がよい」の割合が低くなる傾向にあります。また、女性では「知識や能力のある分野なら就いた方がよい」の割合が40歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。

問4C 女性がもっと就いた方がよい役職(県や市町の審議会等の委員)



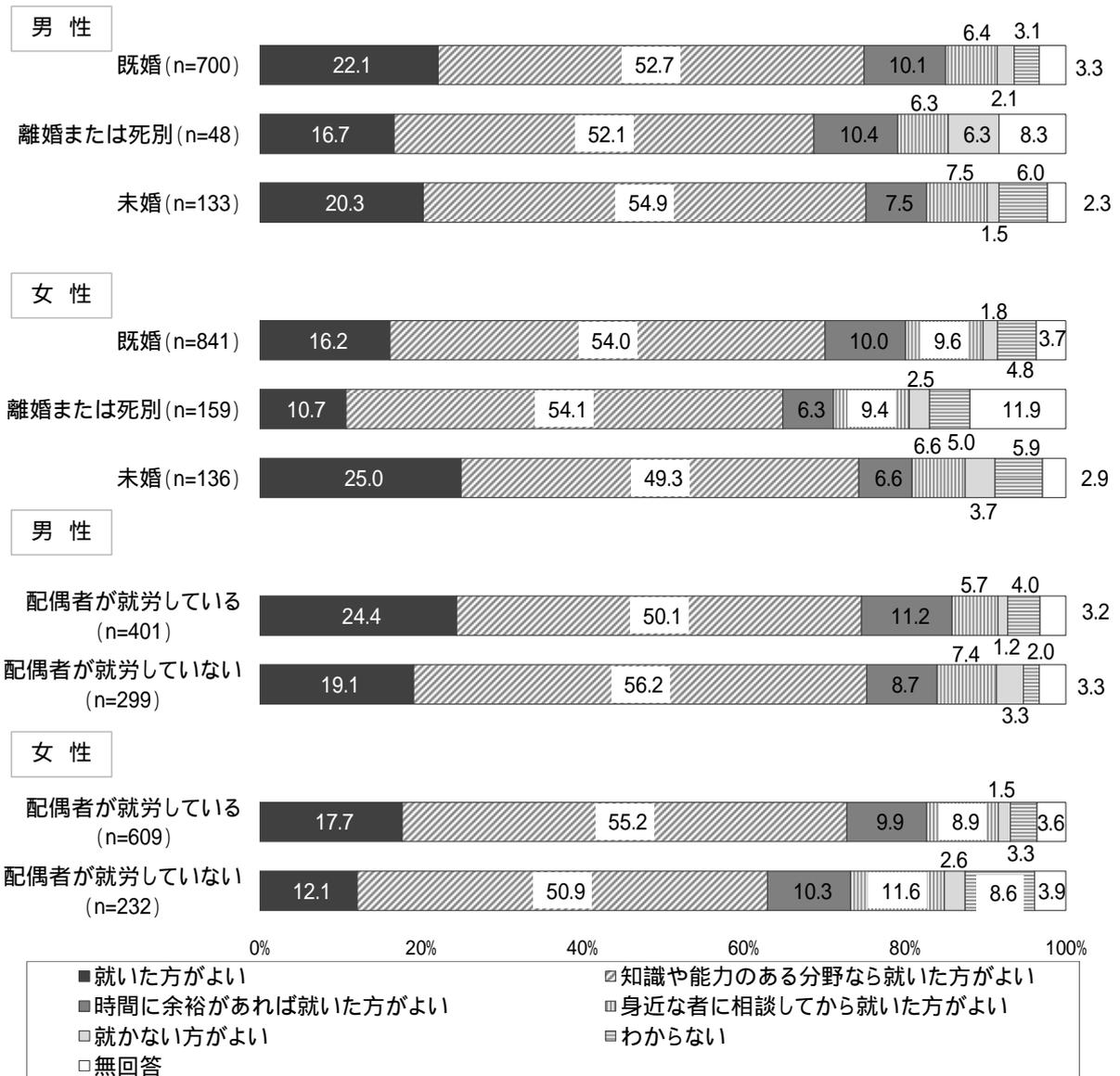
性別就労状況別でみると、就労している女性では「知識や能力のある分野なら就いた方がよい」の割合が57.6%と、就労していない女性よりも10.6ポイント高くなっています。

問4C 女性がもっと就いた方がよい役職(県や市町の審議会等の委員)



性別婚姻状況別でみると、未婚の女性では「就いた方がよい」の割合が2割を超えています。

問4C 女性がもっと就いた方がよい役職(県や市町の審議会等の委員)

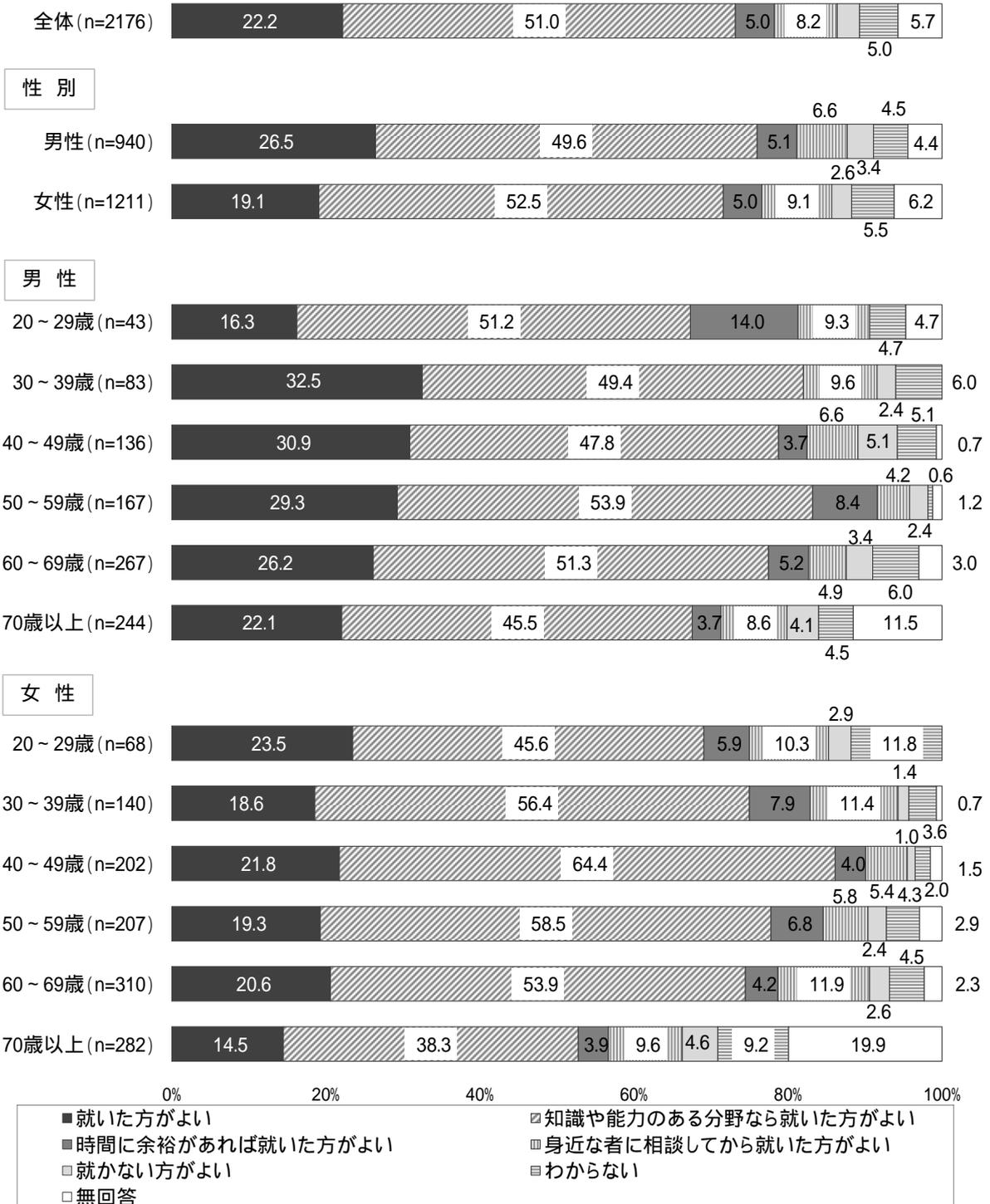


D 地方議会議員、国会議員

全体では「知識や能力のある分野なら就いた方がよい」の割合が51.0%と最も高く、次いで「就いた方がよい」の割合が22.2%となっています。

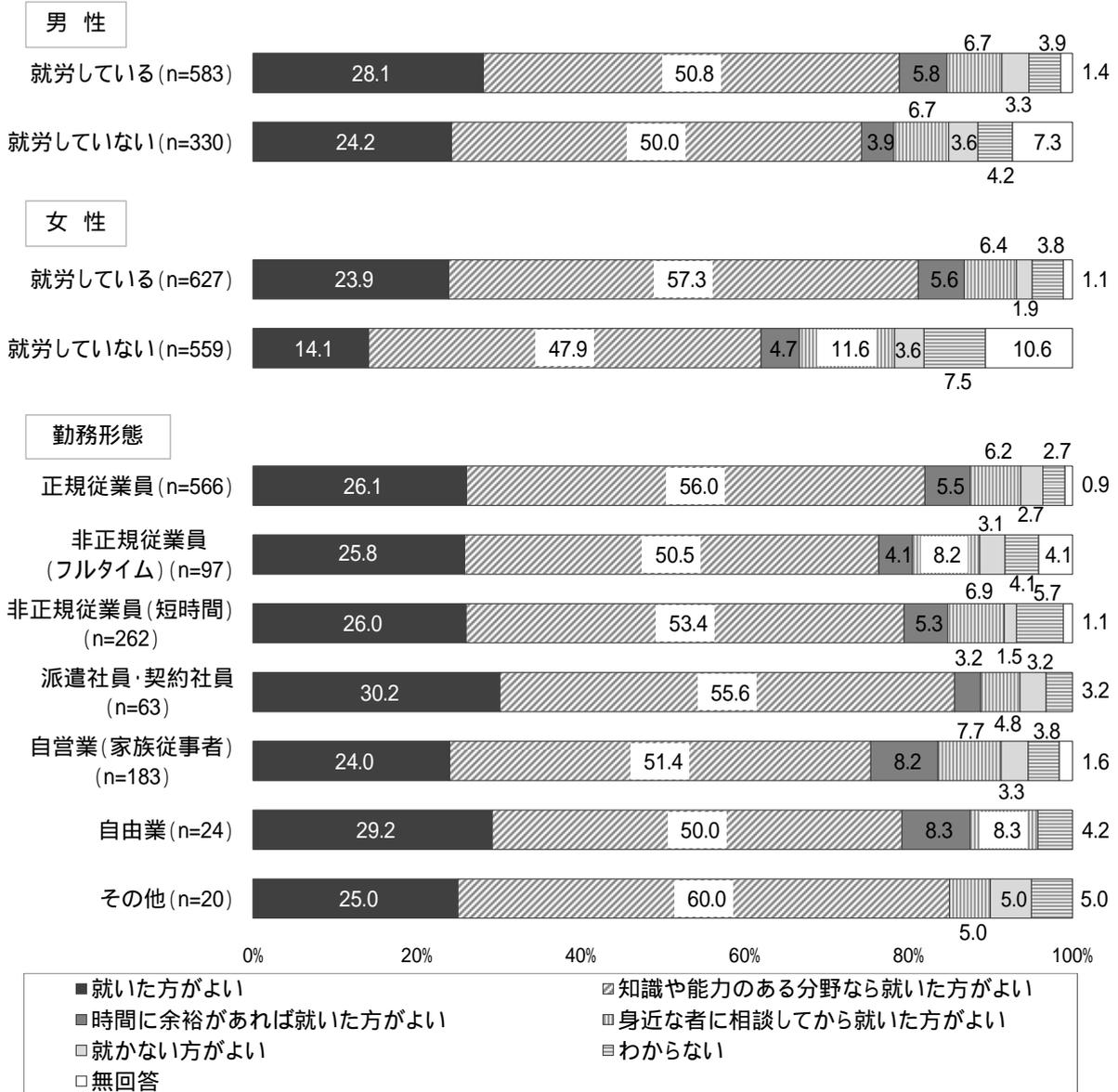
性別年代別でみると、男性では唯一20歳代で「就いた方がよい」の割合が2割未満、「時間に余裕があれば就いた方がよい」の割合が1割台半ばとなっています。また、30歳代以上の男性では年代が下がるほど「就いた方がよい」の割合が高くなっています。さらに、女性では「知識や能力のある分野なら就いた方がよい」の割合が40歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。

問4D 女性がもっと就いた方がよい役職(地方議会議員、国会議員)



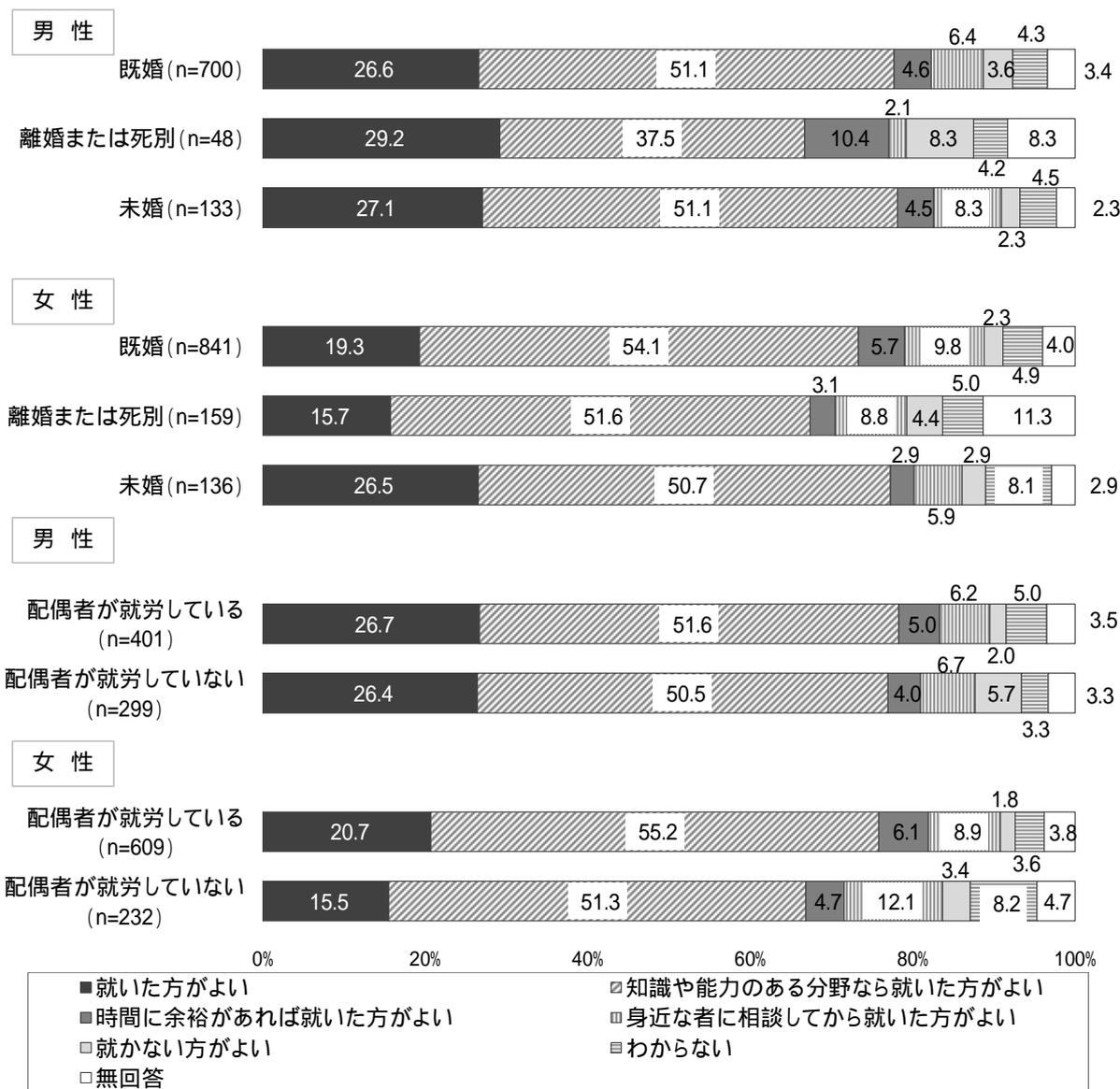
性別就労状況別でみると、就労している女性では「就いた方がよい」の割合が23.9%と、就労していない女性よりも9.8ポイント高くなっています。

問4D 女性がもっと就いた方がよい役職(地方議会議員、国会議員)



性別婚姻状況別でみると、離婚または死別の男性では「知識や能力のある分野なら就いた方がよい」の割合が37.5%と、同性の他の婚姻状況よりも10ポイント以上低くなっています。また、未婚の女性では「就いた方がよい」の割合が26.5%となっています。

問4D 女性がもっと就いた方がよい役職(地方議会議員、国会議員)



問5 .あなたが女性の場合はあなたが、あなたが男性の場合は妻・母親など身近な女性が、もし次のような役職に立候補することを依頼された場合、どうしますか。(A～Dのそれぞれについて、は1つまで)

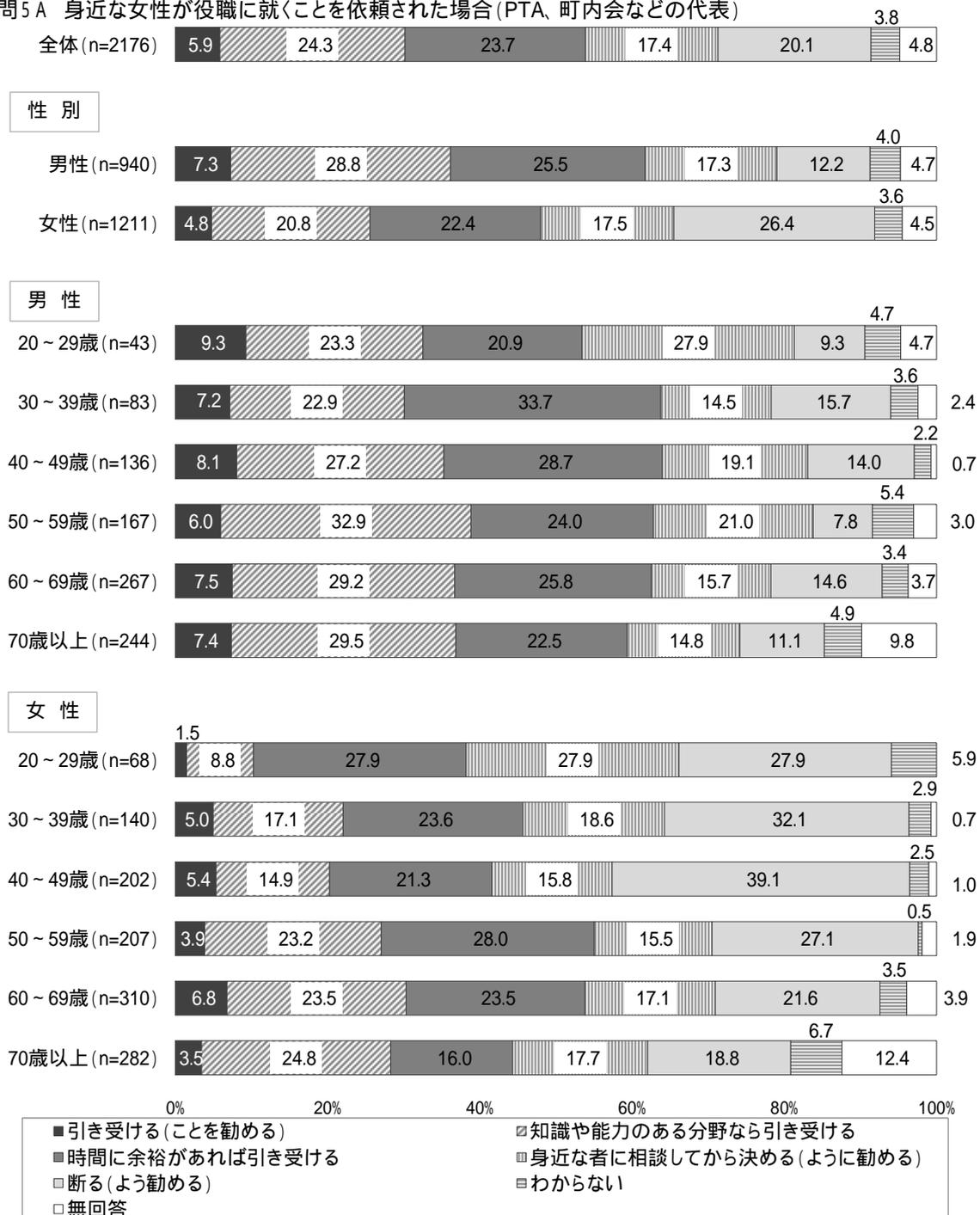
A PTA、町内会などの代表

全体では「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が24.3%と最も高く、次いで「時間に余裕があれば引き受ける」の割合が23.7%となっています。

性別で見ると、女性では「断る(よう勧める)」の割合が26.4%と、男性よりも14.2ポイント高くなっています。

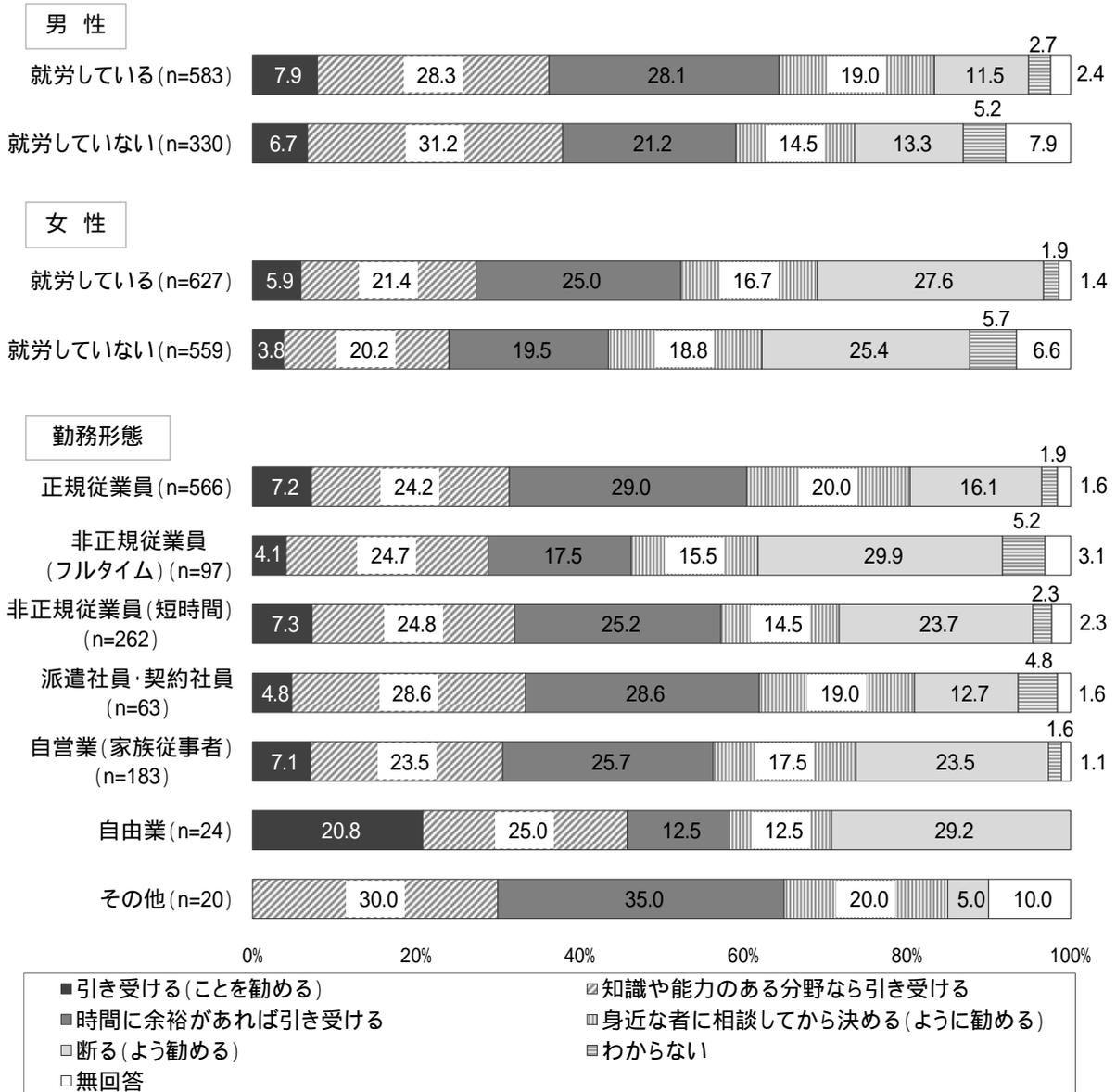
性別年代別で見ると、30歳代～40歳代の女性では「断る(よう勧める)」の割合が3割を超えています。

問5 A 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(PTA、町内会などの代表)



勤務形態別でみると、自由業では「引き受ける(ことを勧める)」の割合が20.8%と、他の勤務形態よりも10ポイント以上高くなっています。また、非正規従業員(フルタイム)と自由業では「断る(よう勧める)」の割合が3割弱となっています。

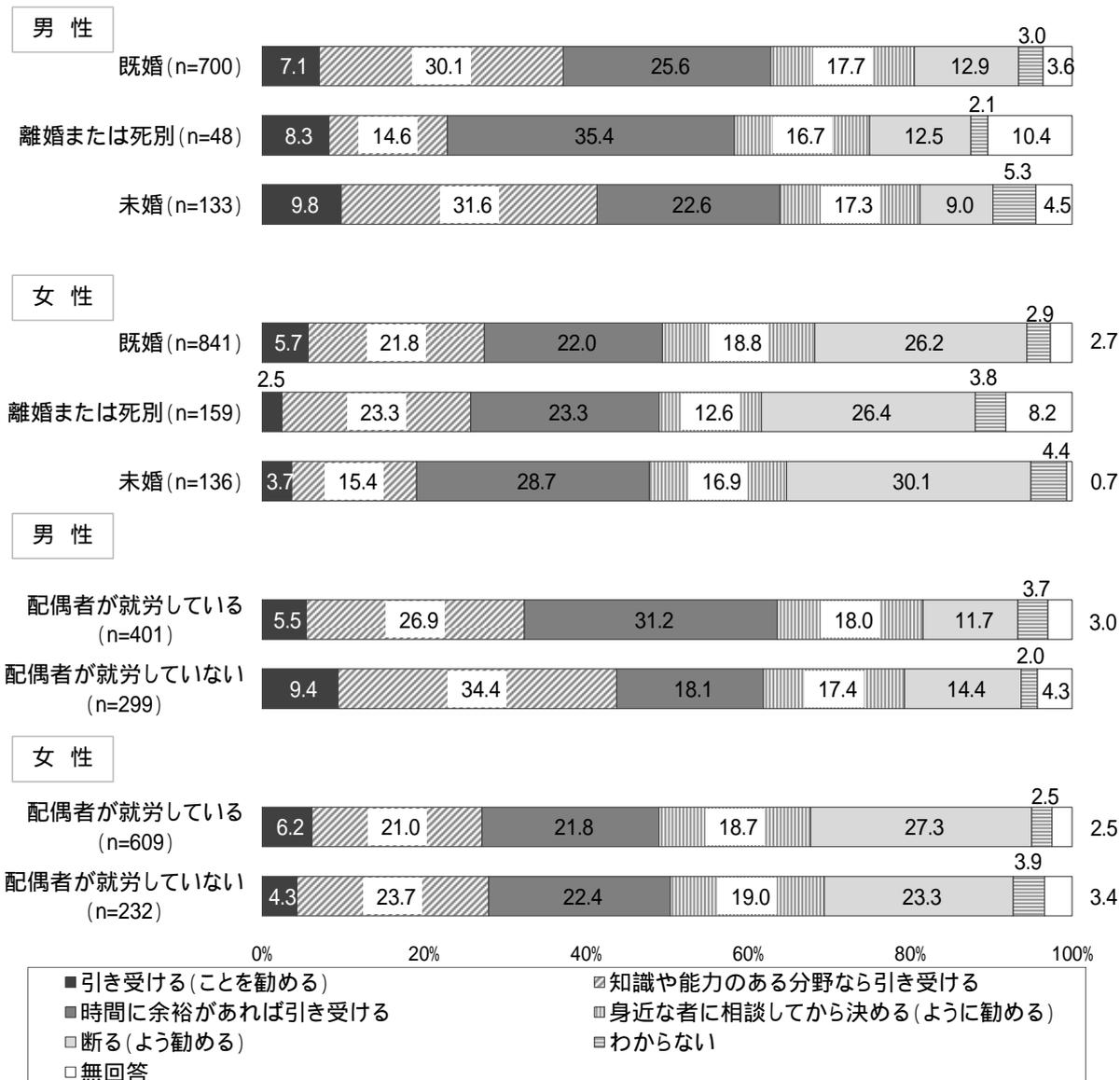
問5A 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(PTA、町内会などの代表)



性別婚姻状況別でみると、離婚または死別の男性では「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が14.6%と、同性の他の婚姻状況よりも10ポイント以上低く、「時間に余裕があれば引き受ける」の割合が35.4%となっています。

性別配偶者の就労状況別でみると、配偶者が就労している男性では「時間に余裕があれば引き受ける」の割合が31.2%と、配偶者が就労していない男性よりも13.1ポイント高くなっています。

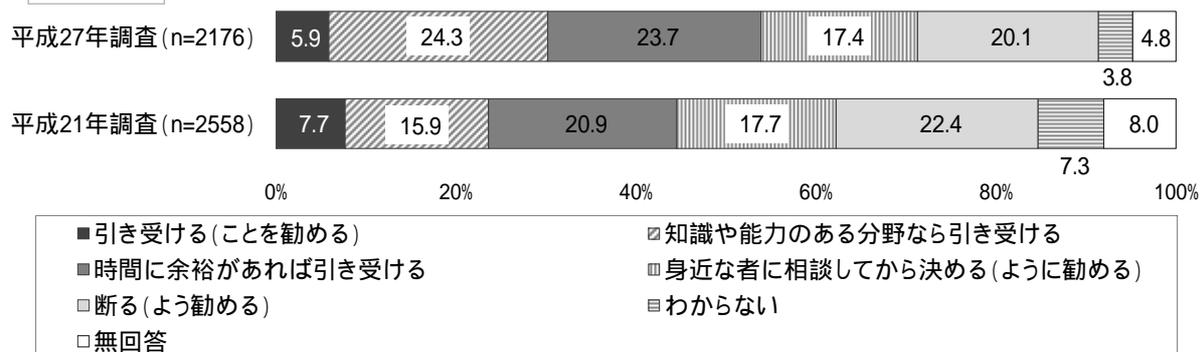
問5 A 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(PTA、町内会などの代表)



前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が24.3%と、前回調査よりも8.4ポイント高くなっています。

問5 A 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合（PTA、町内会などの代表）

三重県



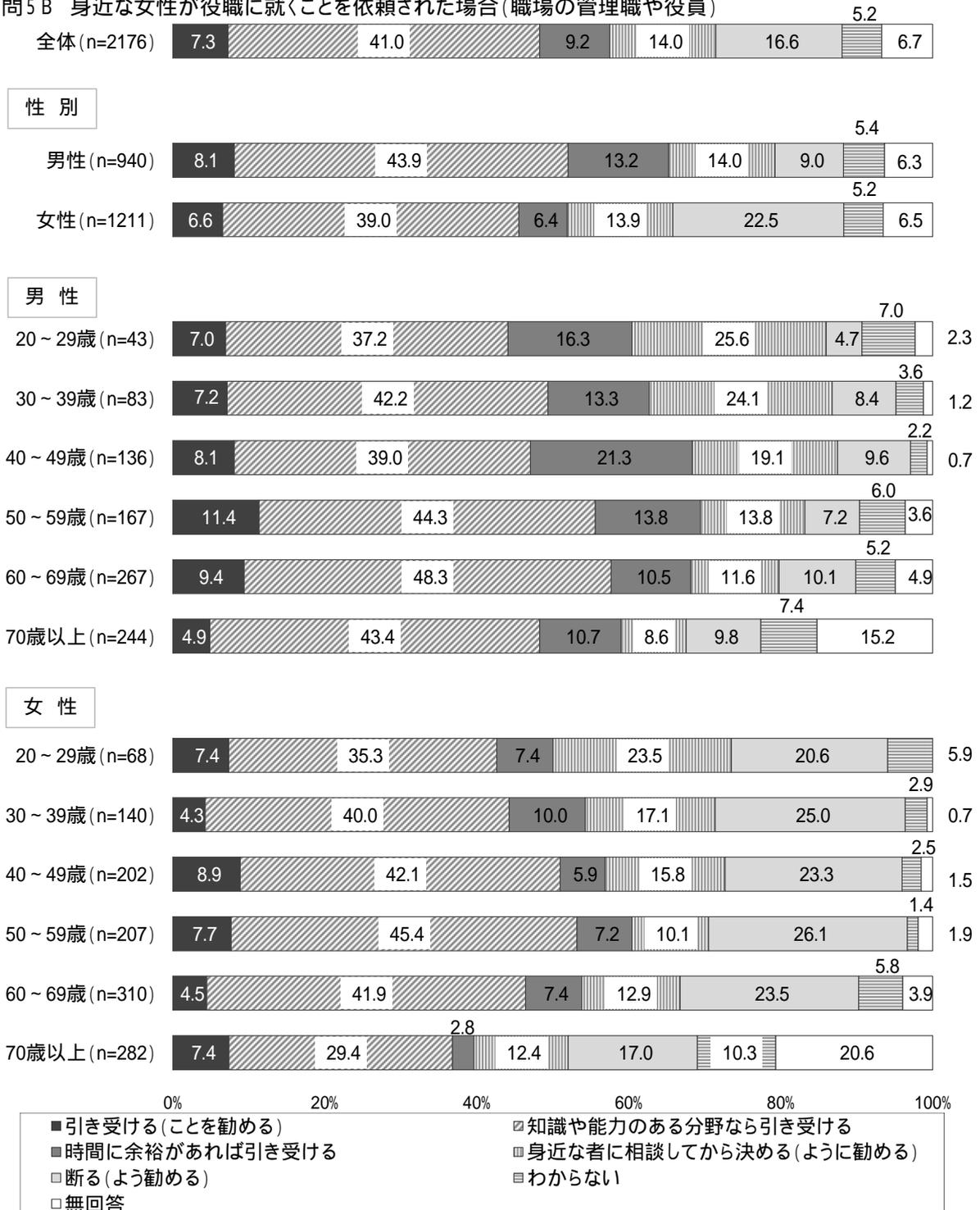
B 職場の管理職や役員

全体では「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が41.0%と最も高く、次いで「断る(よう勧める)」の割合が16.6%となっています。

性別でみると、女性では「断る(よう勧める)」の割合が22.5%と、男性よりも13.5ポイント高くなっています。

性別年代別でみると、40歳代の男性では「時間に余裕があれば引き受ける」の割合が2割を超えています。また、男性では年代が上がるほど「身近な者に相談してから決める(ように勧める)」の割合が低くなっています。さらに、20歳代の女性では「身近な者に相談してから決める(ように勧める)」の割合が2割を超えています。

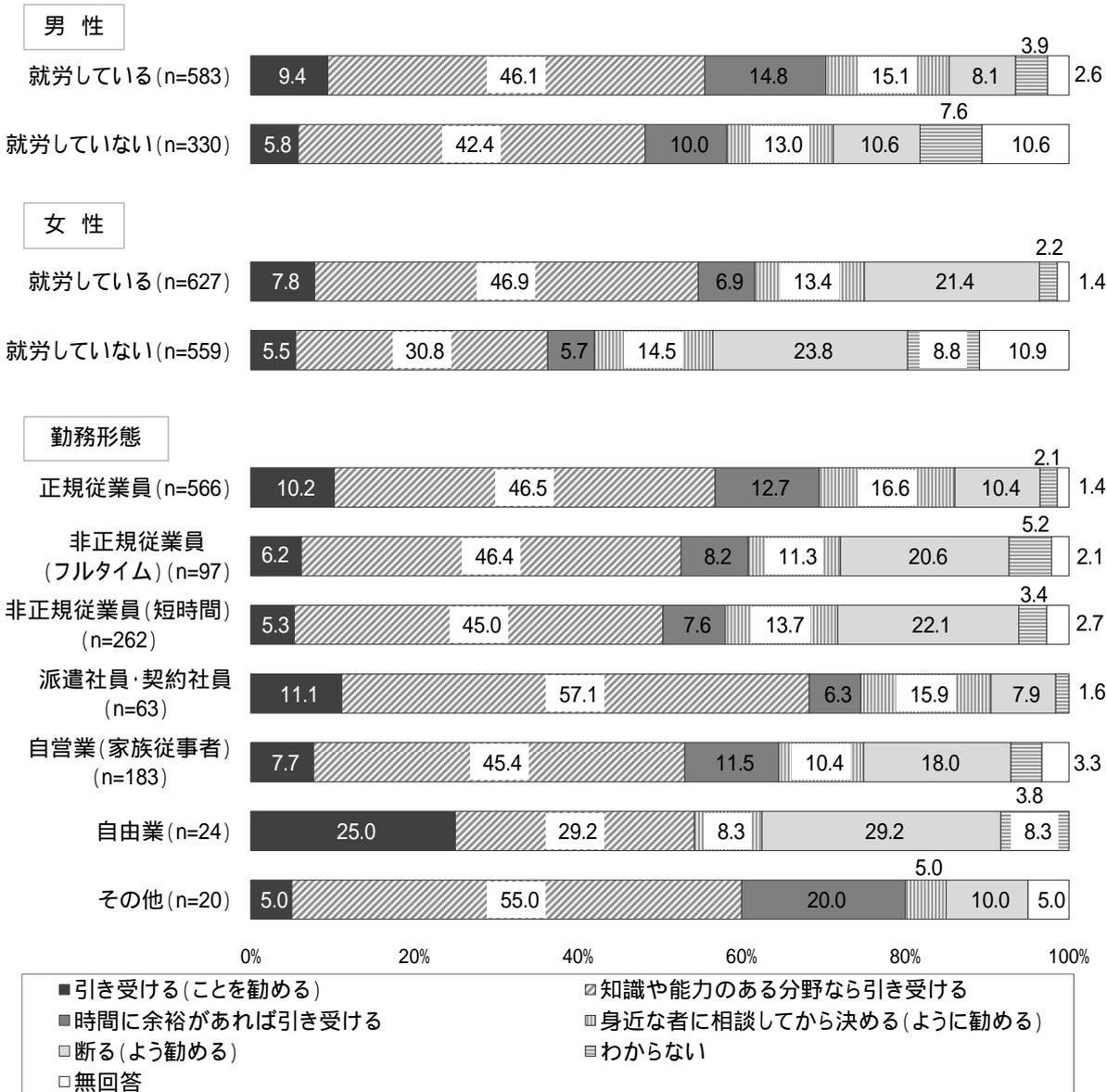
問5 B 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(職場の管理職や役員)



性別就労状況別でみると、就労している女性では「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が46.9%と、就労していない女性よりも16.1ポイント高くなっています。

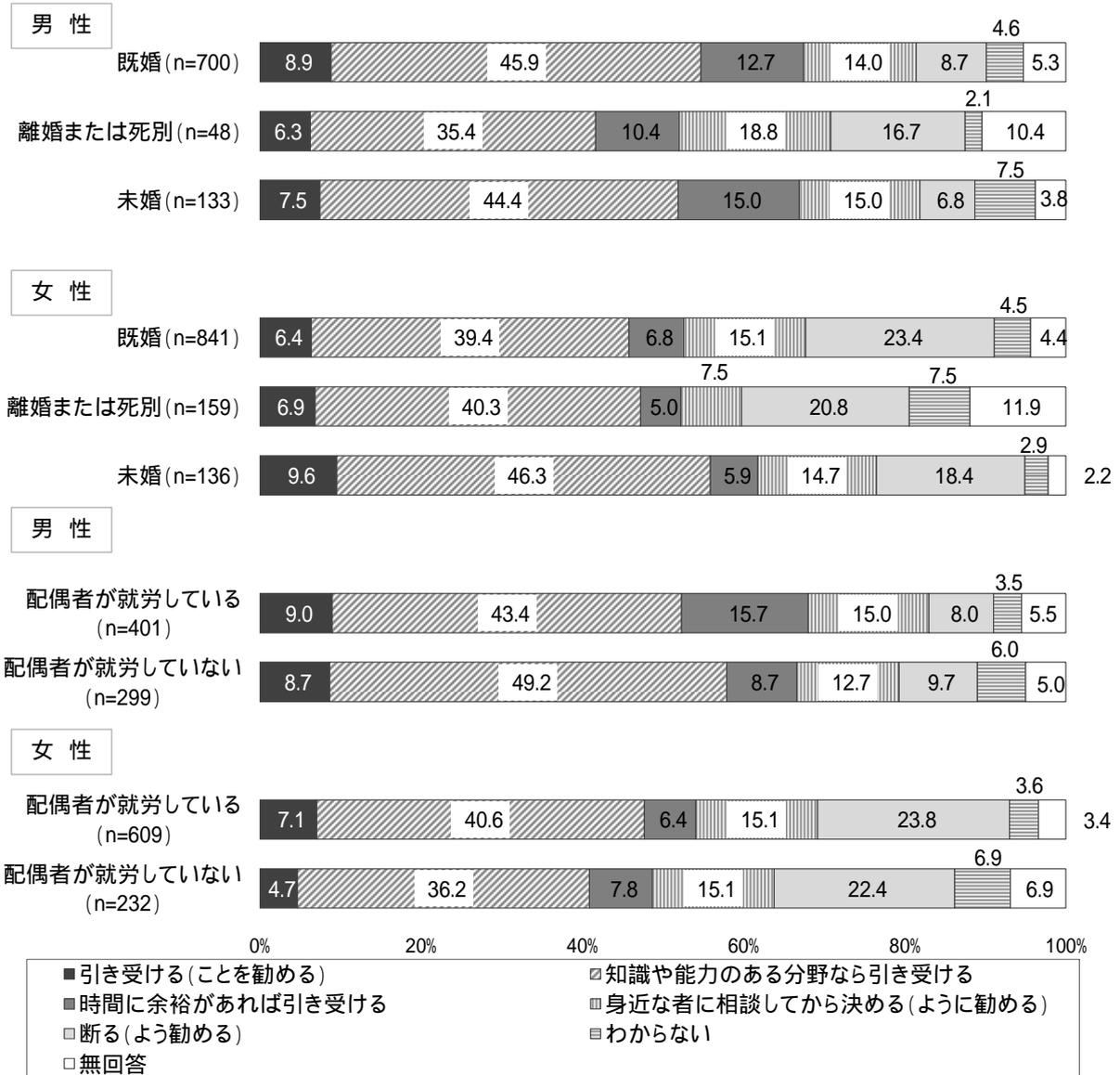
勤務形態別でみると、自由業では「引き受ける（ことを勧める）」の割合が25.0%と、他の勤務形態よりも10ポイント以上高くなっている一方、「断る（よう勧める）」の割合も29.2%となっています。また、派遣社員・契約社員では「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が57.1%となっています。

問5B 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(職場の管理職や役員)



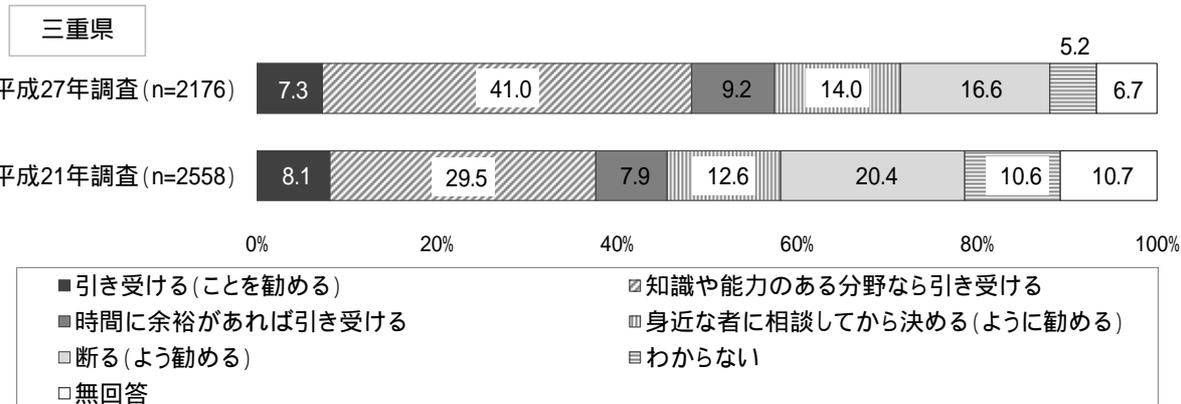
性別婚姻状況別でみると、離婚または死別の男性では「断る(よう勧める)」の割合が16.7%となっています。また、未婚の女性では「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が46.3%となっています。

問5B 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(職場の管理職や役員)



前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が41.0%と、前回調査よりも11.5ポイント高くなっています。

問5B 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合（職場の管理職や役員）



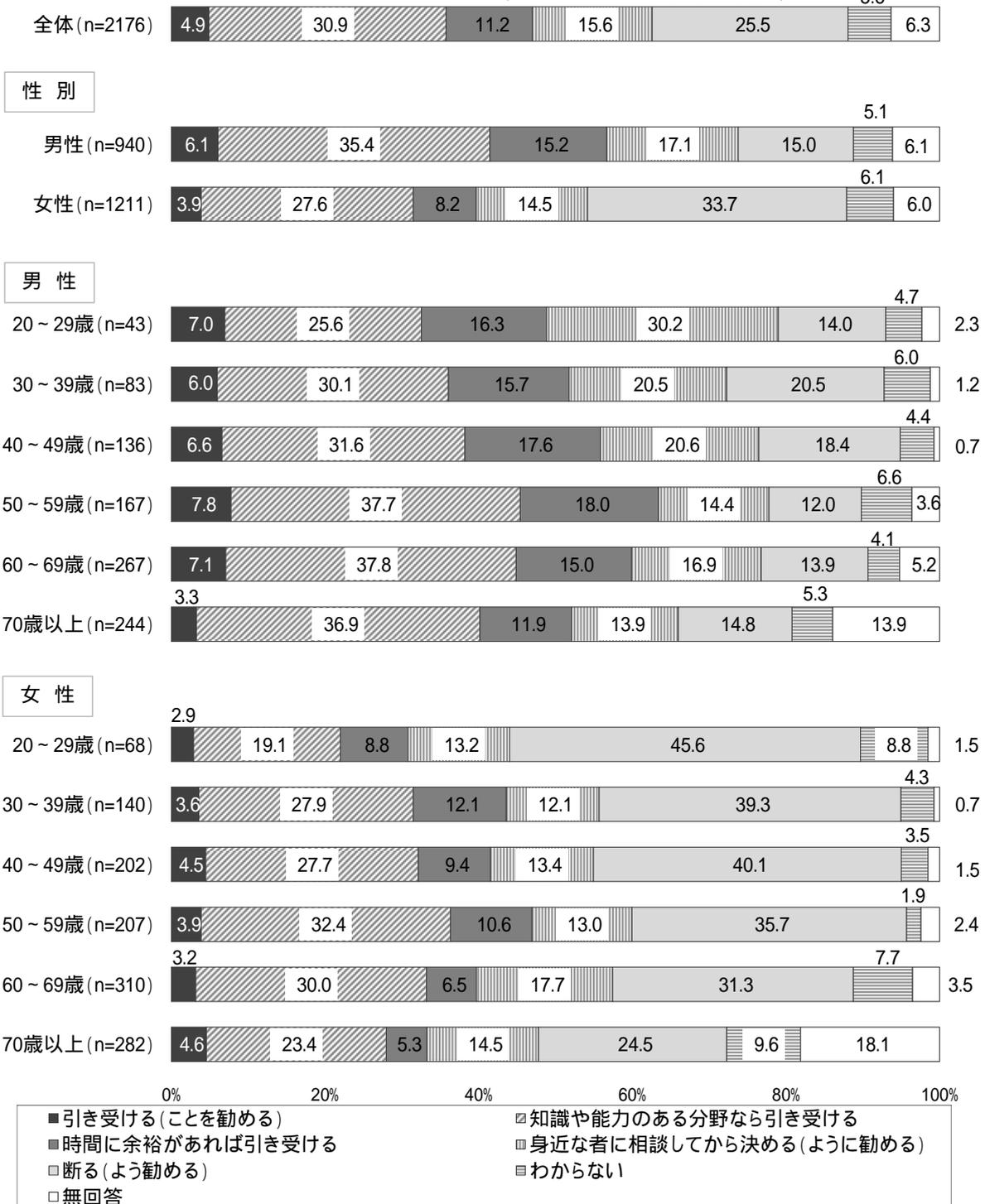
C 県や市町の審議会等の委員

全体では「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が30.9%と最も高く、次いで「断る(よう勧める)」の割合が25.5%となっています。

性別でみると、女性では「断る(よう勧める)」の割合が33.7%と、男性よりも18.7ポイント高くなっています。

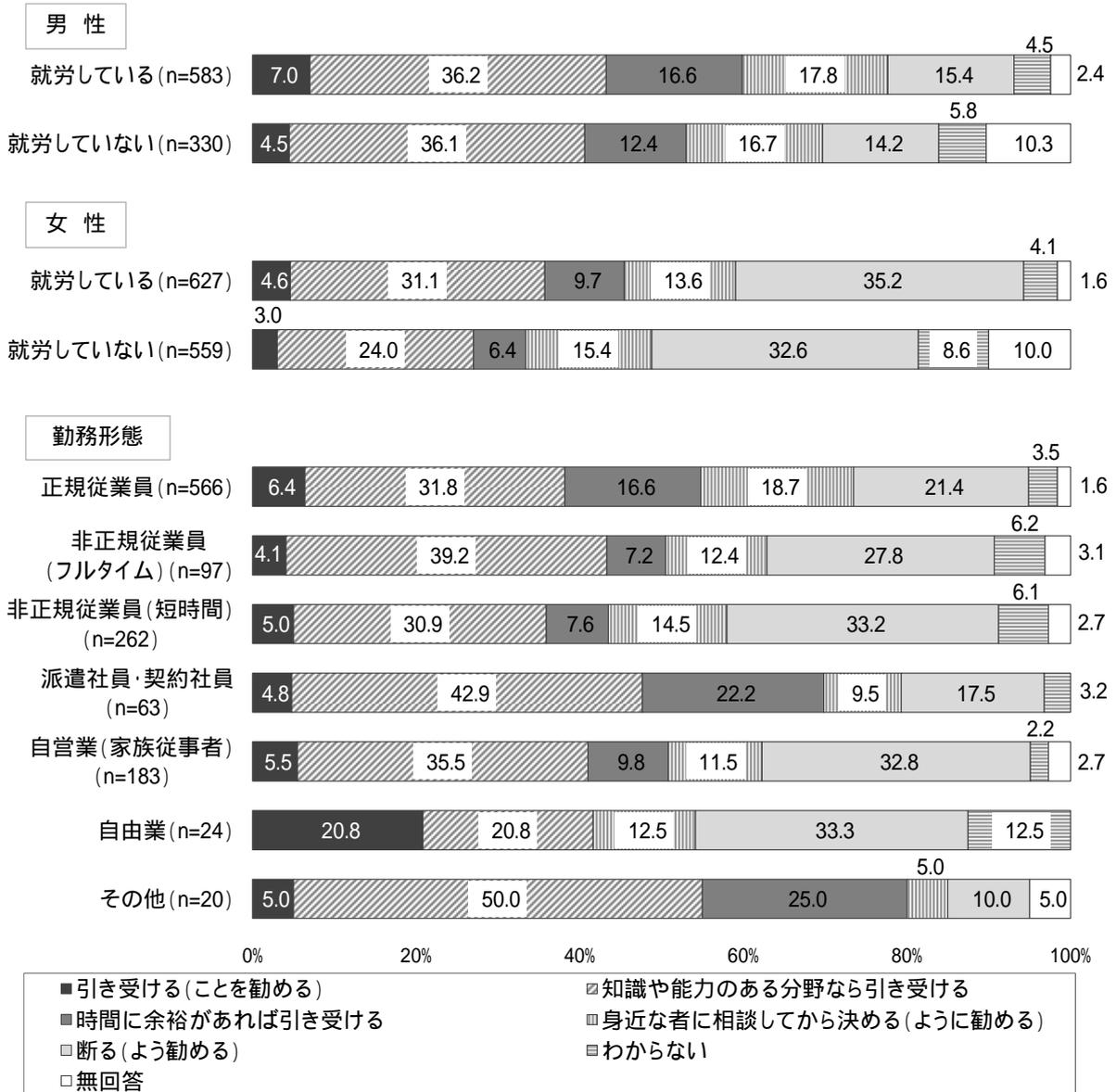
性別年代別でみると、男性では20歳代を除く全ての世代で「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が最も高く、20歳代の男性では「身近な者に相談してから決める(ように勧める)」の割合が最も高くなっています。また、60歳代以下の男性では年代が上がるほど「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が高くなっています。さらに、20歳代の女性では「断る(よう勧める)」の割合が45.6%と、同性の中で最も高くなっており、年代が上がるほどその割合が低くなる傾向にあります。

問5C 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(県や市町の審議会等の委員)

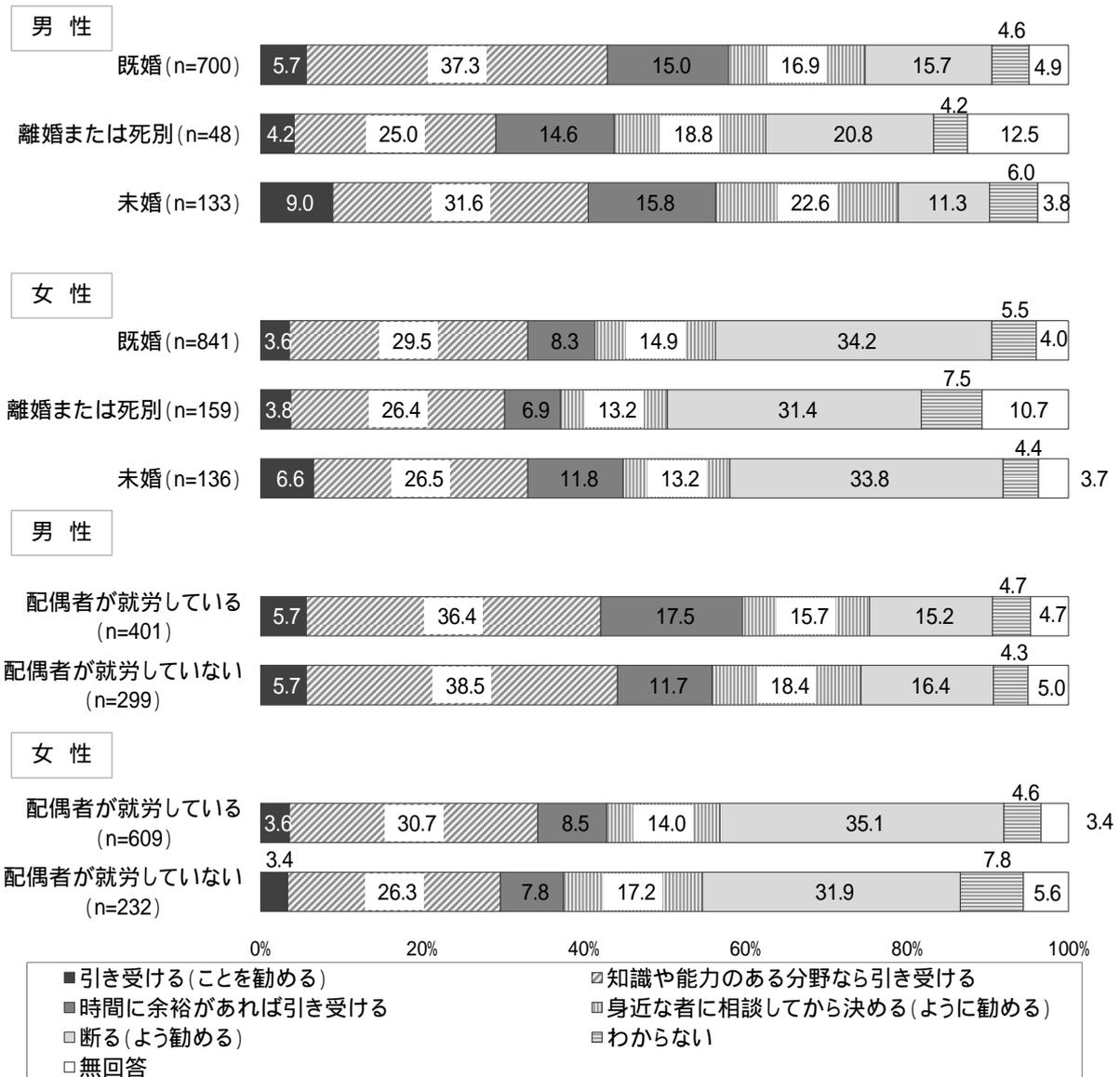


勤務形態別でみると、自由業では「引き受ける（ことを勧める）」の割合が20.8%と、他の勤務形態よりも10ポイント以上高くなっています。また、派遣社員・契約社員では「断る」の割合が1割台となっています。

問5C 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(県や市町の審議会等の委員)



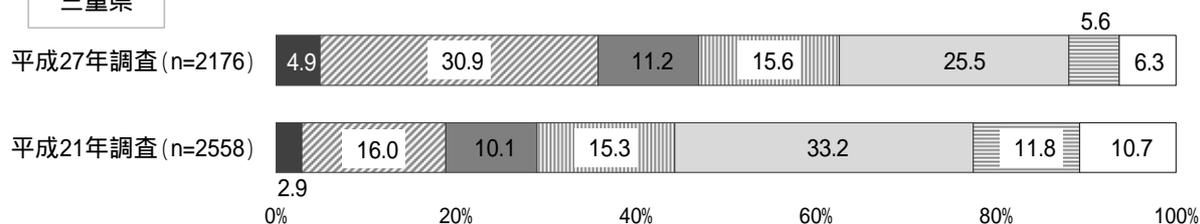
問5C 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(県や市町の審議会等の委員)



前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が30.9%と、前回調査よりも14.9ポイント高くなっています。また、「断る(よう勧める)」の割合が25.5%と、前回調査よりも7.7ポイント低くなっています。

問5C 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(県や市町の審議会等の委員)

三重県



- 引き受ける(ことを勧める)
- 時間に余裕があれば引き受ける
- 断る(よう勧める)
- 無回答
- ▣ 知識や能力のある分野なら引き受ける
- ▣ 身近な者に相談してから決める(ように勧める)
- ▣ わからない

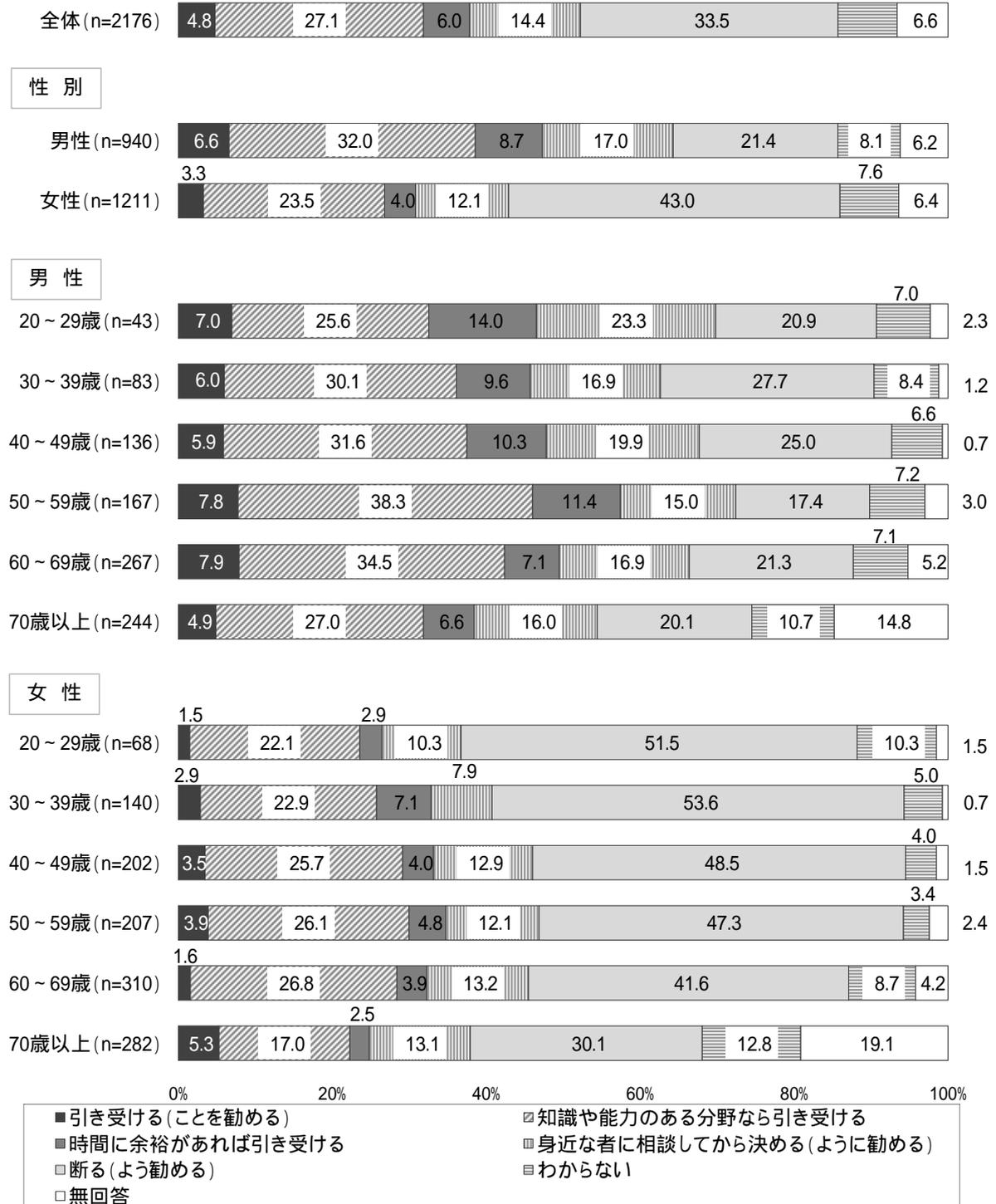
D 地方議会議員、国会議員

全体では「断る(よう勧める)」の割合が33.5%と最も高く、次いで「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が27.1%となっています。

性別で見ると、女性では「断る(よう勧める)」の割合が43.0%と、男性よりも21.6ポイント高くなっています。

性別年代別で見ると、男性では「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が50歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。また、20歳代～30歳代の女性では「断る(よう勧める)」の割合が半数以上を占めています。

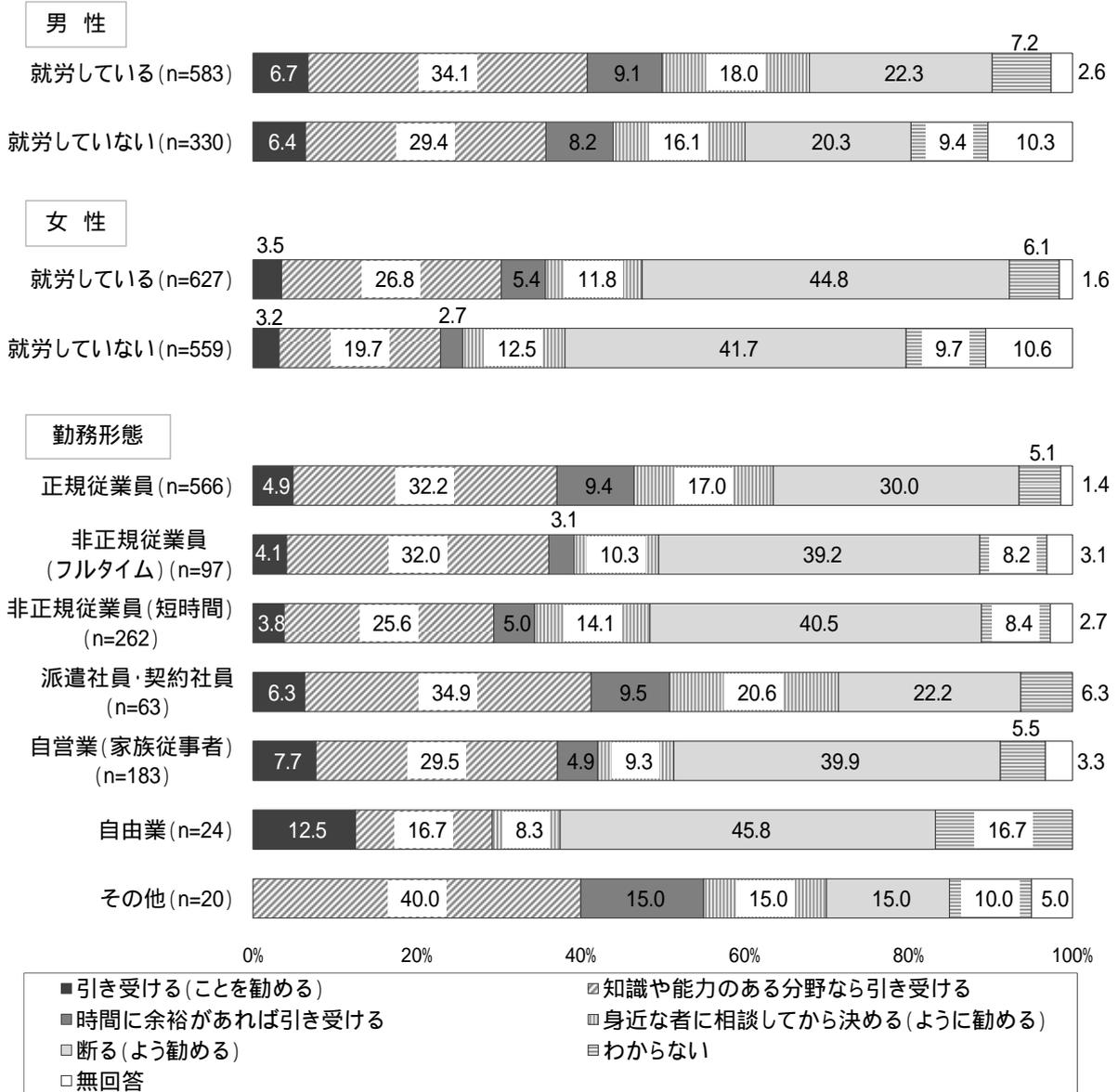
問5D 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(地方議会議員、国会議員)



性別就労状況別でみると、「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合は、就労している男性では34.1%、就労している女性では26.8%となっています。

勤務形態別でみると、派遣社員・契約社員では「身近な者に相談してから決める(ように勧める)」の割合が2割を超えています。

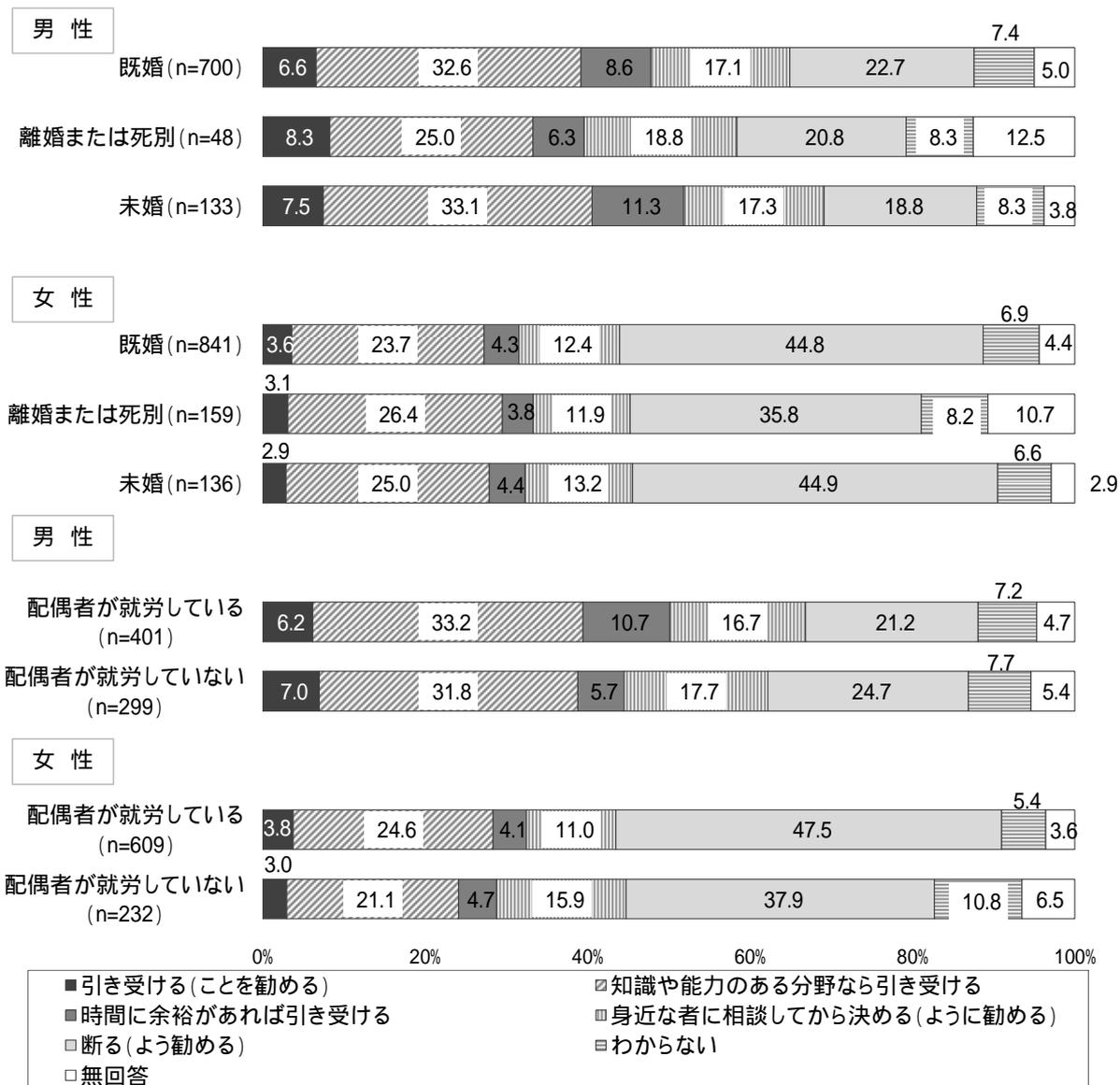
問5D 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(地方議会議員、国会議員)



性別婚姻状況別で見ると、離婚または死別の女性では「断る(よう勧める)」の割合が35.8%と、同性の他の婚姻状況よりも10ポイント程度低くなっています。

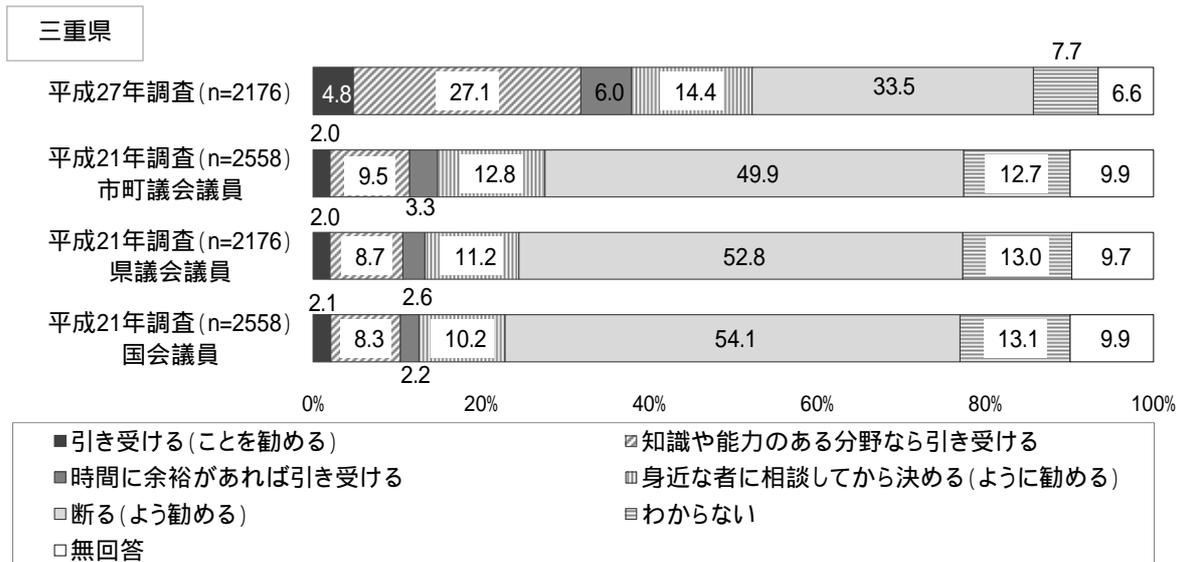
性別配偶者の就労状況別で見ると、配偶者が就労している女性では「断る(よう勧める)」の割合が47.5%と、配偶者が就労していない女性よりも9.6ポイント高くなっています。

問5D 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合(地方議会議員、国会議員)



前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、「断る（よう勧める）」の割合が33.5%と、前回調査よりも15ポイント以上低くなっています。また、「知識や能力のある分野なら引き受ける」の割合が27.1%と、前回調査よりも15ポイント以上高くなっています。

問5D 身近な女性が役職に就くことを依頼された場合（地方議会議員、国会議員）

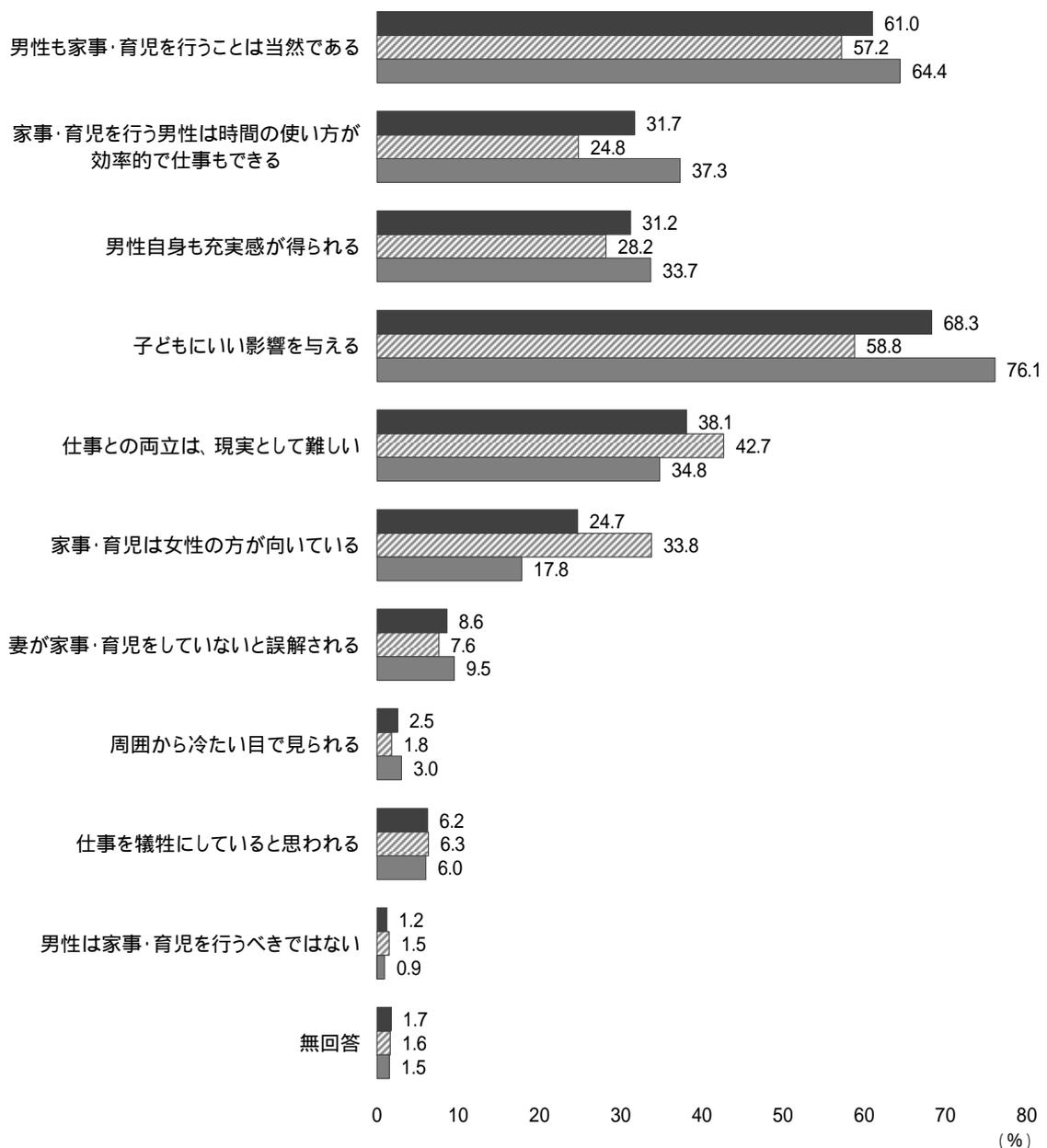


問6 . 男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。
(はいくつでも)

全体では「子どもにいい影響を与える」の割合が68.3%と最も高く、次いで「男性も家事・育児を行うことは当然である」の割合が61.0%となっています。

性別で見ると、男性では「家事・育児は女性の方が向いている」の割合が33.8%と、女性よりも16.0ポイント高くなっています。一方、女性では「子どもにいい影響を与える」の割合が76.1%と、男性よりも17.3ポイント高くなっています。また、女性では「家事・育児を行う男性は時間の使い方が効率的で仕事もできる」の割合が37.3%と、男性よりも12.5ポイント高くなっています。

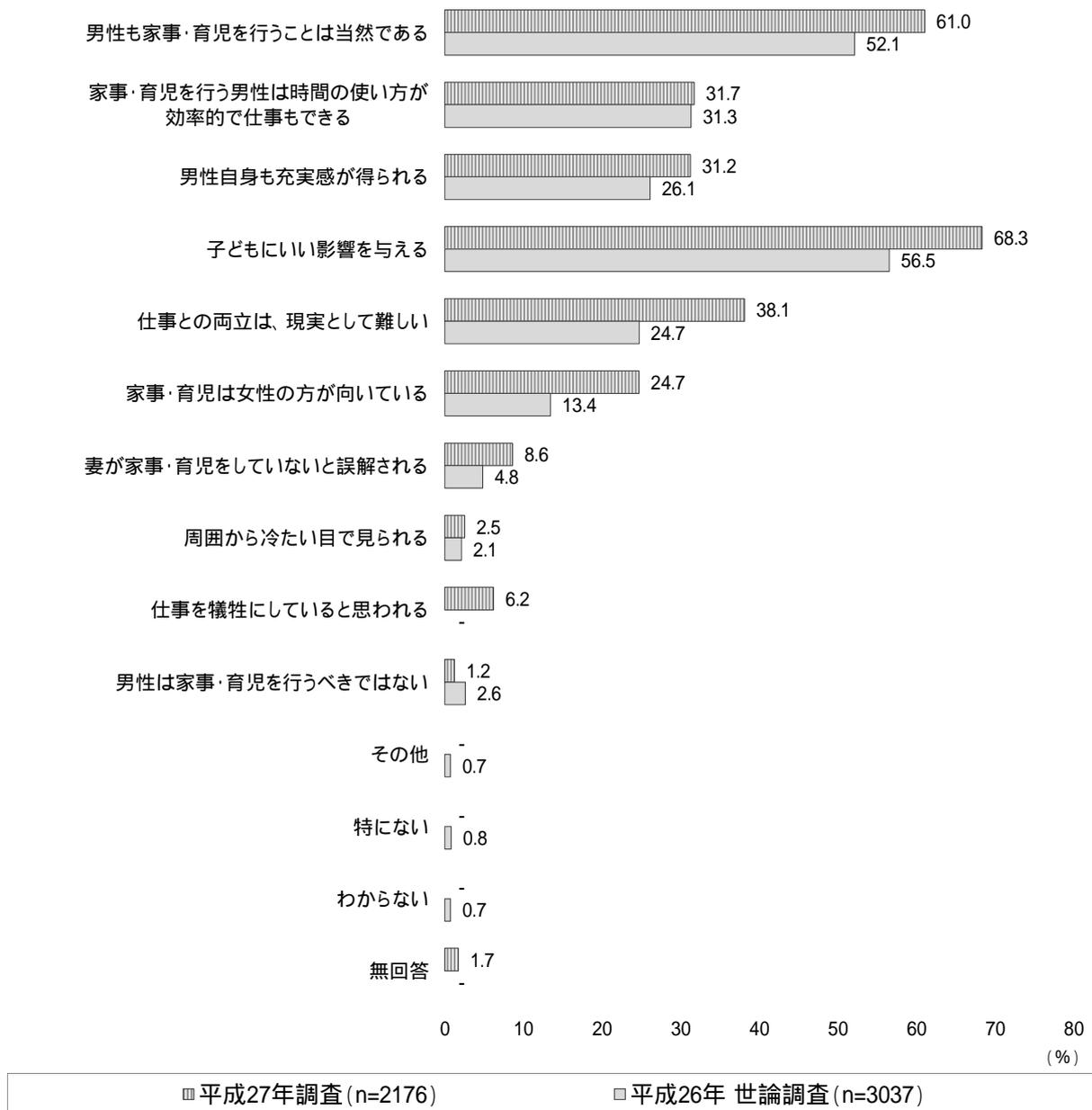
問6 男性が家事・育児を行うことについて



■全体 (n=2176) ▨男性 (n=940) ■女性 (n=1211)

国（平成26年実施 世論調査）と比較すると、「仕事との両立は、現実として難しい」、「子どもにいい影響を与える」、「家事・育児は女性の方が向いている」、「男性も家事・育児を行うことは当然である」の順に県との割合の差が大きくなっています。

問6 男性が家事・育児を行うことについて



国（世論調査）では、無回答を含まない「-」については、選択肢の設定がない

性別で見ると、男性では「家事・育児は女性の方が向いている」の割合が、女性よりも10ポイント以上高くなっています。一方、女性では、「子どもにいい影響を与える」と「家事・育児を行う男性は時間の使い方が効率的で仕事もできる」の割合が、男性よりも10ポイント以上高くなっています。

性別年代別で見ると、男性では年代が下がるにつれ、「男性も家事育児を行うことは当然である」の割合が高くなっています。また、20歳代の男性では「男性自身も充実感が得られる」の割合が46.5%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。

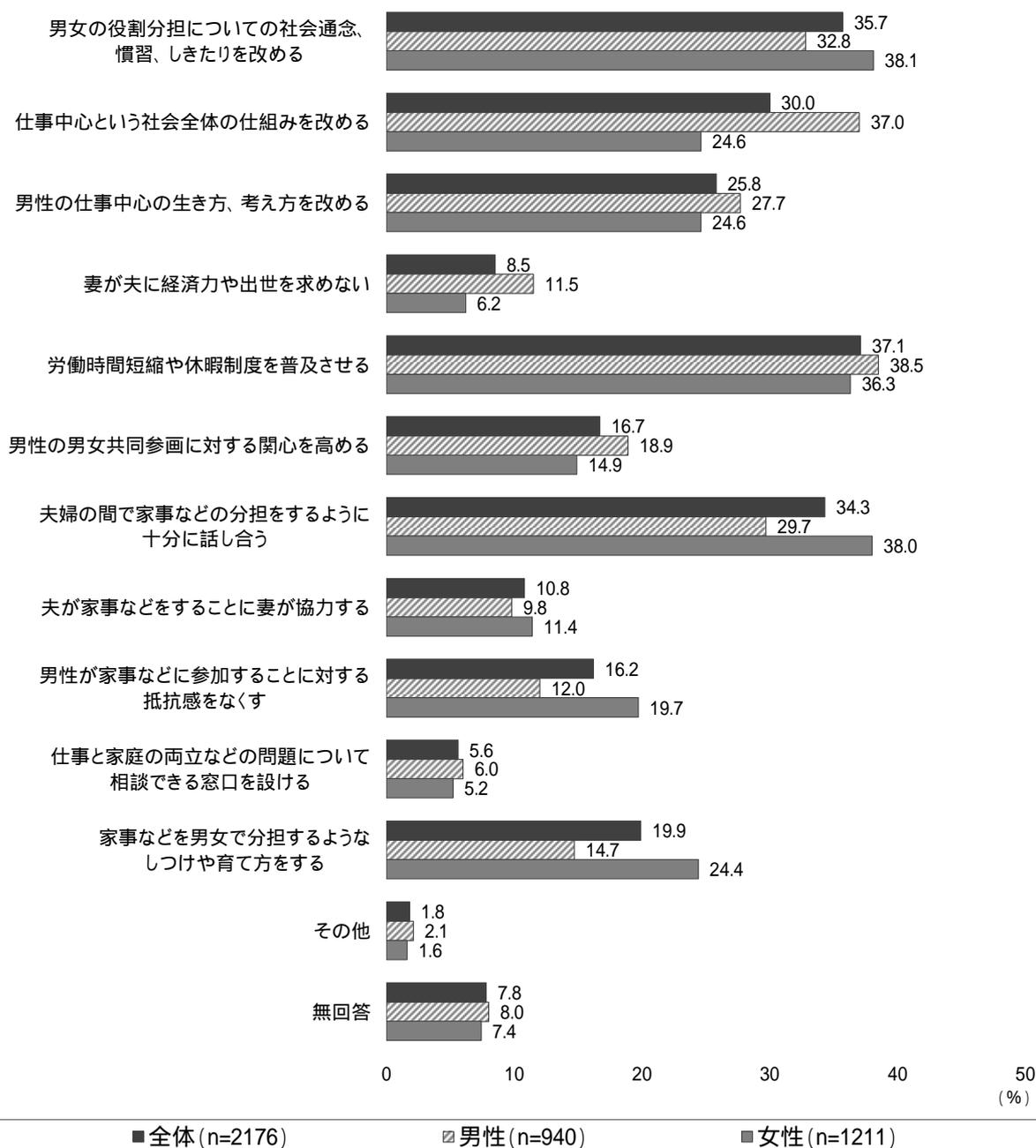
		問6 男性が家事・育児を行うことについて(%)										
		は男性も当然で家事・育児を行うこと	できる家事・育児が効率的で仕事も時間	男性自身も充実感が得られる	子どもにいい影響を与える	難仕事との両立は、現実として	向かい・育児は女性の方が	と誤解される妻が家事・育児をしていない	周囲から冷たい目で見られる	仕事を犠牲にしていると	で男性は家事・育児を行うべき	無回答
全体 (n=2176)		61.0	31.7	31.2	68.3	38.1	24.7	8.6	2.5	6.2	1.2	1.7
男性 (n=940)		57.2	24.8	28.2	58.8	42.7	33.8	7.6	1.8	6.3	1.5	1.6
女性 (n=1211)		64.4	37.3	33.7	76.1	34.8	17.8	9.5	3.0	6.0	0.9	1.5
男性	20～29歳 (n=43)	74.4	18.6	46.5	60.5	39.5	18.6	7.0	2.3	4.7	0.0	2.3
	30～39歳 (n=83)	73.5	19.3	32.5	71.1	38.6	25.3	7.2	3.6	6.0	0.0	1.2
	40～49歳 (n=136)	68.4	19.9	32.4	72.8	41.2	22.8	6.6	0.7	8.1	1.5	0.0
	50～59歳 (n=167)	56.9	23.4	23.4	56.3	45.5	28.7	10.2	3.0	10.2	1.2	1.2
	60～69歳 (n=267)	50.9	27.0	28.5	57.3	46.4	38.2	6.0	1.1	6.7	1.5	1.5
	70歳以上 (n=244)	49.6	29.1	24.2	50.0	39.3	44.3	8.2	1.6	2.5	2.5	2.9
女性	20～29歳 (n=68)	66.2	32.4	39.7	75.0	36.8	11.8	13.2	2.9	2.9	0.0	0.0
	30～39歳 (n=140)	69.3	34.3	27.1	85.0	34.3	13.6	12.1	3.6	5.7	1.4	0.7
	40～49歳 (n=202)	70.3	42.1	37.1	84.7	34.2	13.9	12.9	4.0	6.9	0.5	0.5
	50～59歳 (n=207)	69.1	42.5	34.8	79.2	37.7	12.6	11.6	3.9	6.8	0.5	0.5
	60～69歳 (n=310)	68.1	33.5	33.9	73.5	35.8	18.7	6.1	2.3	6.8	0.6	1.3
70歳以上 (n=282)	50.4	36.9	32.3	66.0	32.3	27.3	7.1	2.1	5.0	1.8	3.9	
男性	就労している (n=583)	60.0	25.0	29.8	62.1	43.9	30.9	6.5	1.4	6.7	1.2	0.5
	就労していない (n=330)	52.7	25.5	26.7	53.0	42.4	38.8	9.4	2.1	5.2	1.8	2.7
女性	就労している (n=627)	70.2	39.9	36.7	80.4	34.1	14.8	10.4	3.2	6.7	1.0	0.5
	就労していない (n=559)	59.0	34.3	30.8	71.9	36.0	20.9	8.6	2.7	5.5	0.7	2.3
就業状況	正規従業員 (n=566)	67.3	29.9	33.4	68.9	40.1	20.3	8.7	1.6	7.6	1.1	0.5
	非正規従業員 (フルタイム) (n=97)	61.9	35.1	33.0	76.3	25.8	17.5	10.3	4.1	7.2	1.0	2.1
	非正規従業員 (短時間) (n=262)	63.4	36.3	32.1	77.5	38.9	19.8	9.5	2.7	5.7	1.1	0.4
	派遣社員・契約社員 (n=63)	77.8	36.5	31.7	71.4	39.7	19.0	6.3	3.2	4.8	0.0	0.0
	自営業 (家族従事者) (n=183)	60.1	30.6	35.5	67.8	39.9	32.8	5.5	2.7	6.0	2.2	0.5
	自由業 (n=24)	58.3	37.5	29.2	70.8	41.7	37.5	12.5	0.0	8.3	0.0	0.0
	その他 (n=20)	60.0	45.0	25.0	75.0	30.0	45.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0
男性	既婚 (n=700)	56.1	25.7	27.7	57.7	43.9	35.0	7.3	1.7	6.1	1.4	0.7
	離婚または死別 (n=48)	60.4	20.8	20.8	64.6	35.4	33.3	10.4	0.0	6.3	2.1	0.0
	未婚 (n=133)	66.9	24.1	35.3	66.2	38.3	24.8	6.8	2.3	6.8	0.8	3.0
女性	既婚 (n=841)	66.5	38.6	34.0	77.8	35.3	18.1	10.0	2.6	6.5	0.6	1.1
	離婚または死別 (n=159)	57.2	36.5	30.2	72.3	33.3	18.2	5.0	4.4	5.0	3.1	2.5
	未婚 (n=136)	66.2	31.6	38.2	77.2	34.6	16.9	11.8	3.7	4.4	0.7	0.0
男性	配偶者が就労している (n=401)	59.9	24.9	27.2	59.4	42.4	30.9	8.2	1.7	7.0	1.2	0.2
	配偶者が就労していない (n=299)	51.2	26.8	28.4	55.5	45.8	40.5	6.0	1.7	5.0	1.7	1.3
女性	配偶者が就労している (n=609)	67.2	39.1	34.5	77.2	35.1	17.2	11.0	2.3	7.1	0.7	0.8
	配偶者が就労していない (n=232)	64.7	37.5	32.8	79.3	35.8	20.3	7.3	3.4	5.2	0.4	1.7
同居している小学生以下の子ども	いる (n=344)	66.3	30.5	28.5	75.0	35.5	22.7	9.0	1.7	5.5	1.5	0.6
	いない (n=1713)	60.1	31.6	32.0	66.5	38.6	25.0	8.6	2.6	6.5	1.2	1.6
家族構成	単身世帯 (n=166)	57.8	28.3	28.3	66.3	35.5	28.3	7.8	1.2	6.0	1.8	3.6
	1世代世帯 (n=627)	57.7	30.9	31.1	65.7	40.2	30.5	7.8	1.9	5.1	1.3	1.3
	2世代世帯 (n=1072)	64.6	34.1	32.5	70.7	38.9	21.5	9.0	2.8	6.9	0.8	1.2
	3世代世帯 (n=253)	60.5	27.3	29.2	68.8	33.6	20.6	9.1	3.2	5.1	1.6	1.6
	その他 (n=32)	46.9	28.1	18.8	53.1	28.1	34.4	15.6	6.3	12.5	3.1	3.1

問7. 今後、男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(は3つまで)

全体では「労働時間短縮や休暇制度を普及させる」の割合が37.1%と最も高く、次いで「男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改める」の割合が35.7%となっています。

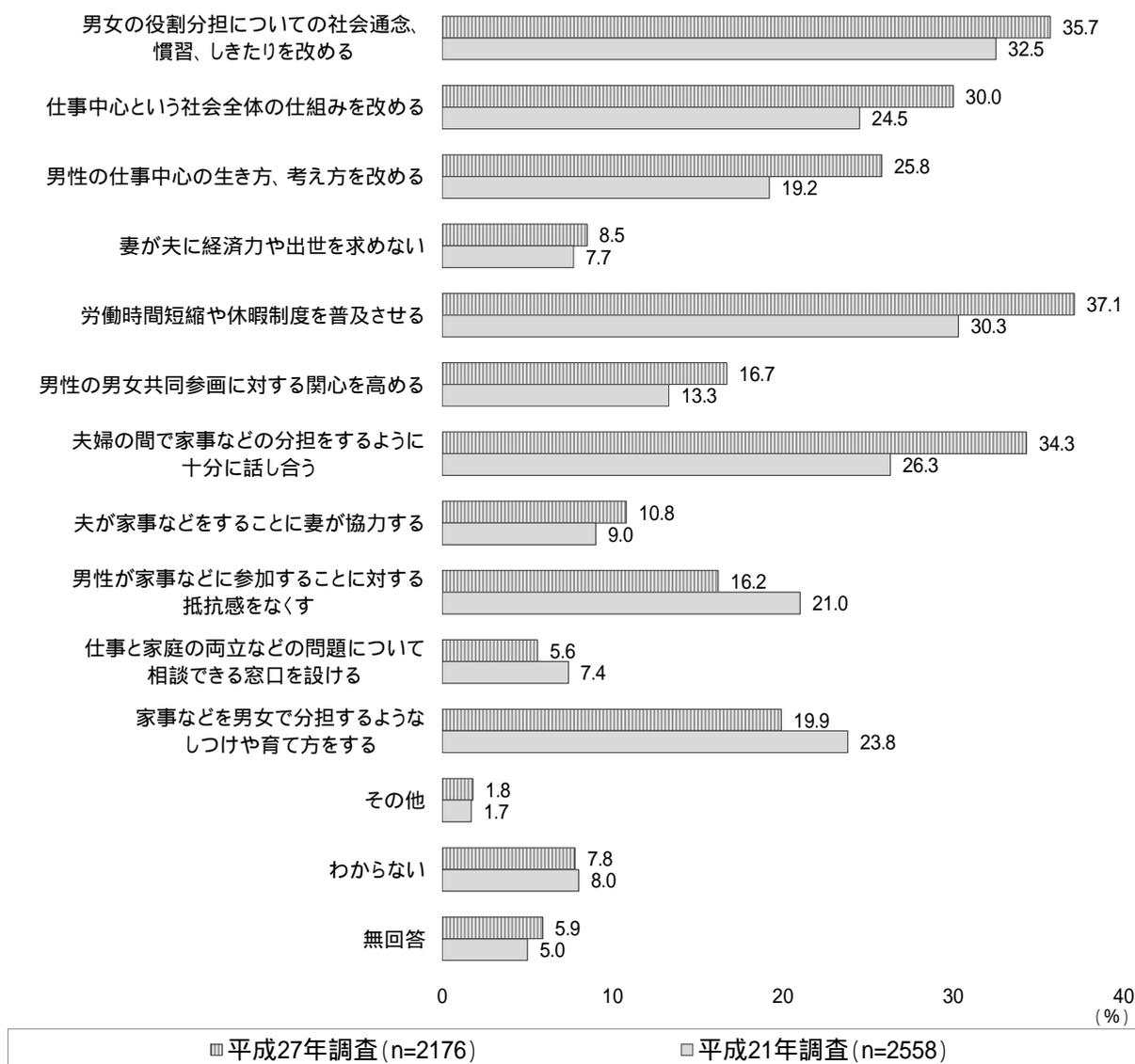
性別で見ると、男性では「仕事中心という社会全体の仕組みを改める」の割合が37.0%と、女性よりも12.4ポイント高くなっています。一方、女性では「家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をする」の割合が24.4%と、男性よりも9.7ポイント高くなっています。さらに、「夫婦の間で家事などを分担するように十分話し合う」の割合が38.0%と、男性よりも8.3ポイント高くなっています。

問7 男女がともに家事や子育てなどに参画していくために必要なこと



前回の県調査（平成21年実施）と比較すると、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う」の割合が34.3%と、前回調査よりも8.0ポイント高くなっています。

問7 男女がともに家事や子育てなどに参画していくために必要なこと



性別年代別でみると、男性では年代が下がるほど「労働時間短縮や休暇制度を普及させる」の割合が高くなる傾向にあり、特に20歳代の男性では半数以上を占めています。また、20歳代と60歳代以上の女性では「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う」の割合が4割を超えています。

勤務形態別でみると、正規従業員では「仕事中心という社会全体の仕組みを改める」と「労働時間短縮や休暇制度を普及させる」の割合が4割を超えています。

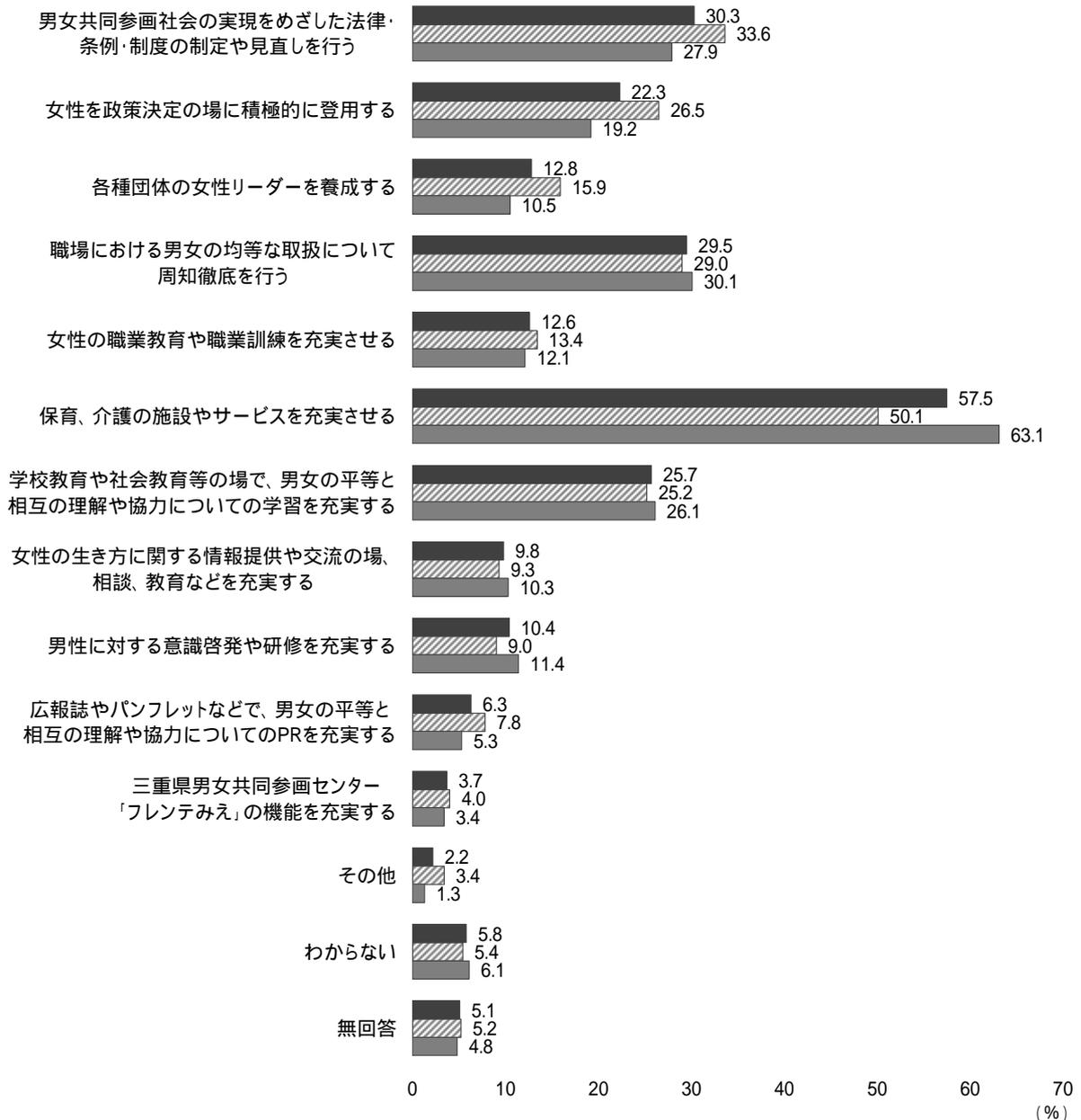
		問7 男女がともに家事や子育てなどに参画していくために必要なこと(%)												
		慣習、男女の役割分担を改める	仕事中心という社会全体の仕組みを改める	改める男性の仕事中心の生き方、考え方を	妻が夫に経済力や出世を求めない	労働時間短縮や休暇制度を普及させる	高めの男女共同参画に対する関心を	夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う	夫が家事などをするに妻が協力する	男性が家事などに参加することに反対する抵抗感をなくす	仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける	家事などを男女で分担するようなしつけや育て方を	その他	無回答
全体 (n=2176)		35.7	30.0	25.8	8.5	37.1	16.7	34.3	10.8	16.2	5.6	19.9	1.8	7.8
男性 (n=940)		32.8	37.0	27.7	11.5	38.5	18.9	29.7	9.8	12.0	6.0	14.7	2.1	8.0
女性 (n=1211)		38.1	24.6	24.6	6.2	36.3	14.9	38.0	11.4	19.7	5.2	24.4	1.6	7.4
男性	20～29歳 (n=43)	37.2	46.5	27.9	18.6	51.2	4.7	20.9	2.3	16.3	7.0	7.0	2.3	9.3
	30～39歳 (n=83)	25.3	43.4	24.1	19.3	47.0	13.3	26.5	4.8	10.8	2.4	9.6	2.4	10.8
	40～49歳 (n=136)	33.1	50.0	36.0	10.3	44.9	10.3	24.3	6.6	8.1	4.4	14.0	3.7	3.7
	50～59歳 (n=167)	32.9	46.1	26.9	7.2	46.1	15.6	24.6	6.6	9.6	4.8	15.0	4.8	7.8
	60～69歳 (n=267)	33.0	33.0	27.7	11.2	34.8	24.0	29.6	13.1	16.1	7.1	15.7	0.7	7.5
70歳以上 (n=244)		34.0	24.2	24.6	11.5	28.7	25.0	38.9	13.1	11.1	7.4	16.8	0.8	9.8
女性	20～29歳 (n=68)	33.8	33.8	23.5	4.4	39.7	11.8	45.6	11.8	29.4	11.8	7.4	1.5	2.9
	30～39歳 (n=140)	29.3	32.1	30.0	5.0	44.3	9.3	24.3	17.9	16.4	2.9	15.7	1.4	10.0
	40～49歳 (n=202)	42.6	30.7	29.2	5.9	35.1	11.4	28.2	7.9	18.3	2.0	26.7	2.5	8.4
	50～59歳 (n=207)	40.6	25.6	26.1	4.3	43.0	13.5	35.3	11.6	24.6	4.3	29.5	1.4	5.8
	60～69歳 (n=310)	42.3	20.3	21.9	7.7	36.1	18.4	46.1	10.0	18.4	3.9	23.9	1.3	6.1
70歳以上 (n=282)		34.0	18.4	20.9	7.1	27.7	18.1	42.9	11.7	17.7	9.2	27.3	1.4	9.2
男性	就労している (n=583)	32.2	41.3	30.2	11.7	42.0	16.1	28.3	7.7	11.5	3.9	14.4	2.9	6.5
	就労していない (n=330)	34.2	31.5	23.9	11.5	33.9	24.2	33.0	13.3	12.4	8.8	14.8	0.9	8.8
女性	就労している (n=627)	41.0	25.5	27.0	4.9	37.6	14.8	34.0	11.5	20.6	4.1	25.8	2.1	6.7
	就労していない (n=559)	35.2	24.2	22.4	7.3	35.8	15.4	42.6	11.3	18.8	5.9	23.1	1.1	7.7
就業状況	正規従業員 (n=566)	33.7	41.9	31.8	9.7	46.5	12.9	27.2	9.2	12.5	3.0	15.7	2.7	6.2
	非正規従業員 (フルタイム) (n=97)	34.0	22.7	35.1	4.1	30.9	21.6	29.9	5.2	28.9	2.1	28.9	1.0	9.3
	非正規従業員 (短時間) (n=262)	38.5	26.7	27.1	5.3	38.2	16.8	34.7	11.1	19.1	5.0	23.3	1.9	5.3
	派遣社員・契約社員 (n=63)	41.3	23.8	33.3	6.3	30.2	25.4	34.9	9.5	14.3	9.5	20.6	1.6	9.5
	自営業 (家族従事者) (n=183)	44.3	25.1	17.5	8.2	30.1	15.3	36.6	12.0	16.4	4.4	24.0	1.1	7.7
	自由業 (n=24)	41.7	25.0	25.0	20.8	41.7	8.3	25.0	4.2	20.8	8.3	20.8	12.5	8.3
	その他 (n=20)	30.0	35.0	5.0	10.0	35.0	20.0	50.0	10.0	15.0	5.0	20.0	15.0	5.0
男性	既婚 (n=700)	33.4	37.3	29.0	10.7	36.6	20.9	31.7	10.3	12.0	5.7	15.1	1.9	6.4
	離婚または死別 (n=48)	29.2	37.5	18.8	18.8	47.9	8.3	29.2	10.4	14.6	10.4	10.4	2.1	8.3
	未婚 (n=133)	32.3	36.8	27.1	13.5	48.1	14.3	23.3	9.0	12.0	6.8	13.5	3.8	9.8
女性	既婚 (n=841)	40.0	24.3	25.0	5.8	38.3	15.8	38.4	11.4	19.5	3.6	25.0	1.3	7.3
	離婚または死別 (n=159)	33.3	23.9	23.9	8.2	31.4	13.8	40.9	10.1	20.8	7.5	22.6	2.5	8.2
	未婚 (n=136)	38.2	29.4	28.7	8.1	34.6	12.5	34.6	13.2	23.5	7.4	19.1	1.5	4.4
男性	配偶者が就労している (n=401)	34.2	40.9	30.4	9.7	38.2	17.2	31.2	8.7	10.7	5.7	16.0	2.5	6.2
	配偶者が就労していない (n=299)	32.4	32.4	27.1	12.0	34.4	25.8	32.4	12.4	13.7	5.7	14.0	1.0	6.7
女性	配偶者が就労している (n=609)	41.2	25.0	26.4	5.4	37.8	15.6	35.0	11.2	20.2	2.6	25.9	1.1	6.9
	配偶者が就労していない (n=232)	36.6	22.4	21.1	6.9	39.7	16.4	47.4	12.1	17.7	6.0	22.4	1.7	8.2
同居している小学生以下の子ども	いる (n=344)	31.7	40.1	27.3	6.7	42.2	11.0	26.5	9.3	13.4	4.4	19.8	3.8	6.7
	いない (n=1713)	36.5	28.0	25.6	8.8	36.4	17.9	35.9	11.3	17.2	5.6	20.0	1.4	7.6
家族構成	単身世帯 (n=166)	36.1	28.3	22.9	10.8	31.3	13.3	31.3	9.6	21.7	7.2	18.7	2.4	10.8
	1世代世帯 (n=627)	39.2	25.7	23.4	8.0	35.6	21.1	37.6	11.5	14.8	6.2	19.5	0.6	7.3
	2世代世帯 (n=1072)	33.9	32.9	27.6	8.3	39.5	14.6	34.1	10.6	16.2	4.8	20.2	2.1	7.6
	3世代世帯 (n=253)	37.2	30.0	27.3	9.5	39.1	18.2	29.2	10.7	19.0	4.3	21.7	2.4	5.5
	その他 (n=32)	21.9	25.0	31.3	12.5	12.5	15.6	28.1	6.3	3.1	15.6	15.6	9.4	9.4

問8 .男女共同参画を推進していくために、今後、県はどのようなことに力をいれていけばよいと思いますか。(は3つまで)

全体では「保育、介護の施設やサービスを充実させる」の割合が57.5%と最も高く、次いで「男女共同参画社会の実現をめざした法律・条例・制度の制や見直しを行う」の割合が30.3%となっています。

性別で見ると、男性では「女性を政策決定の場に積極的に登用する」の割合が26.5%と、女性よりも7.3ポイント高くなっています。一方、女性では「保育、介護の施設やサービスを充実させる」の割合が63.1%と、男性よりも13.0ポイント高くなっています。

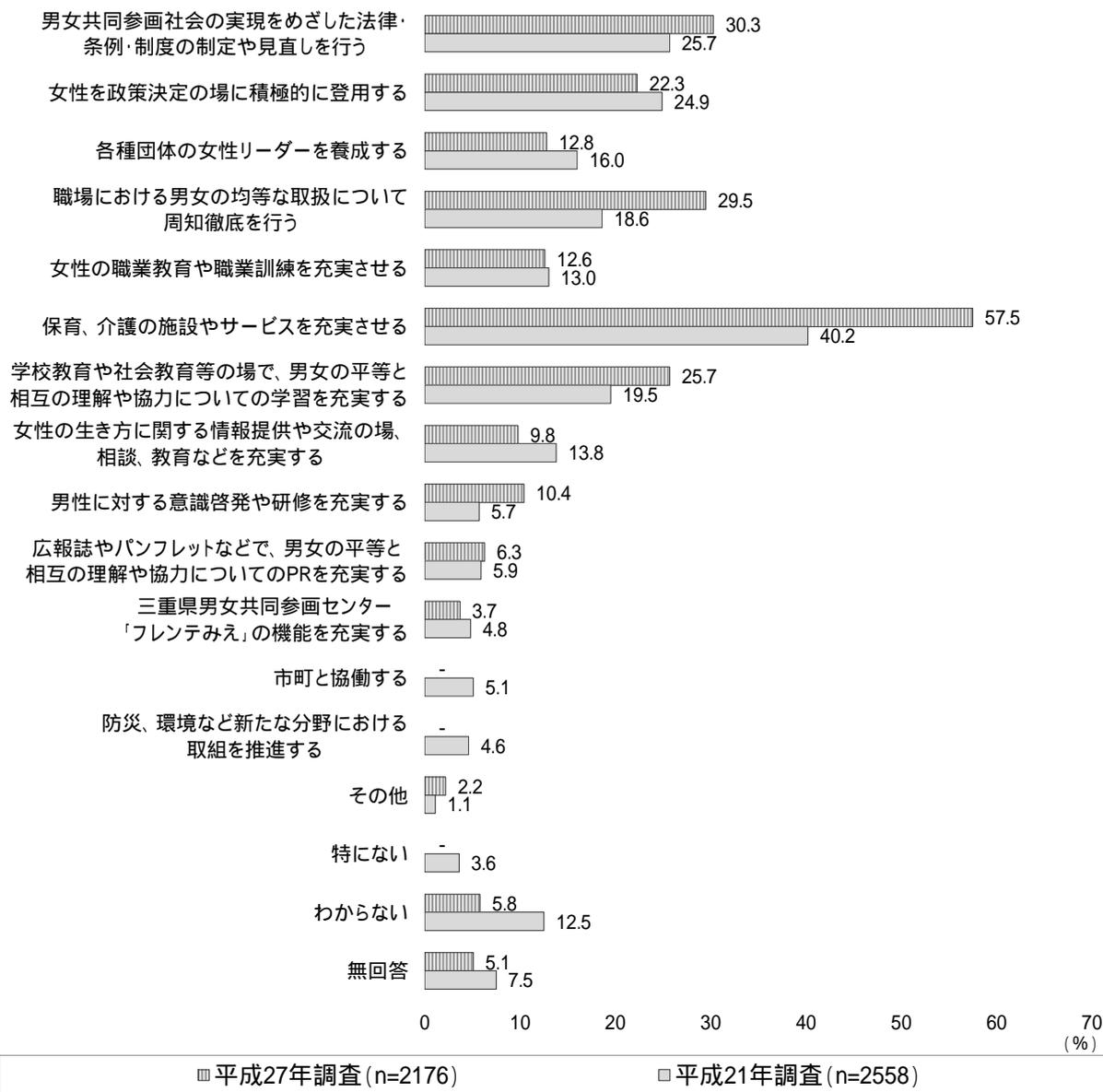
問8 男女共同参画を推進していくために、県に力を入れてほしいこと



■ 全体 (n=2176) ▨ 男性 (n=940) ■ 女性 (n=1211)

前回の県調査(平成21年実施)と比較すると、「保育、介護の施設やサービスを充実させる」の割合が57.5%と、前回調査よりも17.3ポイント高くなっています。また、「職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う」の割合が29.5%と、前回調査よりも10.9ポイント高くなっています。

問8 男女共同参画を推進していくために、県に力を入れてほしいこと



国(世論調査)では、無回答を含まない「-」については、選択肢の設定がない

性別年代別でみると、40歳代～60歳代の男性では「保育、介護の施設やサービスを充実させる」の割合が半数以上を占めています。一方、女性では若年層は「男女共同参画社会の実現をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う」の割合が高い傾向にあり、特に20歳代の女性ではその割合が38.2%となっています。また、女性では若年層は「女性の職業教育や職業訓練を充実させる」の割合が高くなる傾向にあり、特に20歳代の女性ではその割合が25.0%となっています。さらに、女性では「学校教育や社会教育等の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が50歳代を境に、それまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。

	問8 男女共同参画を推進していくために、県に力を入れてほしいこと(%)																					
	見直しを行う	男女共同参画社会の実現をめざす	登用する	女性を政策決定の場に積極的に	各種団体の女性リーダーを	職場における男女の均等な取組	女性の職業教育や職業訓練を充	実させる	充実させる	保育・介護の施設やサービスを	学校教育や社会教育等の場で、男女の平等と相互の理解や協力を	充実する	女性との生活に関する情報提供や交流の場、相談、教育などを	充実する	男性に対する意識啓発や研修を	男女の平等と相互の理解や協力を	広報紙やパンフレットなどで、PRを充実する	充実する	三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」の機能を	その他	わからない	無回答
全体 (n=2176)	30.3	22.3	12.8	29.5	12.6	57.5	25.7	9.8	10.4	6.3	3.7	2.2	5.8	5.1								
男性 (n=940)	33.6	26.5	15.9	29.0	13.4	50.1	25.2	9.3	9.0	7.8	4.0	3.4	5.4	5.2								
女性 (n=1211)	27.9	19.2	10.5	30.1	12.1	63.1	26.1	10.3	11.4	5.3	3.4	1.3	6.1	4.8								
男性	20～29歳 (n=43)	39.5	20.9	9.3	20.9	14.0	48.8	27.9	4.7	11.6	0.0	2.3	11.6	11.6								
	30～39歳 (n=83)	28.9	26.5	15.7	30.1	16.9	45.8	19.3	16.9	6.0	7.2	2.4	4.8	9.6	1.2							
	40～49歳 (n=136)	36.8	25.7	12.5	33.1	16.2	50.7	18.4	7.4	7.4	2.2	0.0	6.6	7.4	2.2							
	50～59歳 (n=167)	34.1	34.7	13.8	26.9	9.0	55.1	25.7	7.2	9.6	4.8	3.0	4.2	4.2	4.2							
	60～69歳 (n=267)	34.1	25.1	16.5	33.3	12.7	53.9	27.3	8.2	10.5	10.1	3.7	2.2	4.5	3.4							
	70歳以上 (n=244)	31.6	23.8	19.7	24.6	14.3	43.9	27.9	11.1	8.6	11.9	8.6	2.0	3.7	9.8							
女性	20～29歳 (n=68)	38.2	17.6	8.8	30.9	25.0	64.7	14.7	5.9	7.4	2.9	1.5	0.0	8.8	2.9							
	30～39歳 (n=140)	31.4	15.7	10.7	30.0	15.7	67.1	21.4	6.4	14.3	2.9	1.4	1.4	5.7	4.3							
	40～49歳 (n=202)	29.2	17.8	11.4	26.7	11.9	61.4	25.2	9.4	14.9	2.5	0.5	3.5	4.0	3.5							
	50～59歳 (n=207)	30.4	18.8	14.0	33.3	12.6	68.6	29.5	10.1	15.0	2.4	1.9	1.4	3.4	3.4							
	60～69歳 (n=310)	25.5	22.3	9.0	32.3	10.6	61.6	29.0	11.6	9.4	6.5	3.9	0.6	6.1	4.8							
	70歳以上 (n=282)	23.8	18.8	9.2	27.7	8.5	59.6	26.2	12.1	8.2	9.9	7.4	0.7	9.2	7.4							
男性	就労している (n=583)	32.9	29.0	13.7	31.0	14.4	49.6	24.7	9.4	8.7	5.8	2.6	4.1	5.5	3.9							
	就労していない (n=330)	35.2	23.3	19.7	25.8	11.8	51.2	27.3	9.1	9.7	10.0	7.0	2.4	5.2	6.4							
女性	就労している (n=627)	29.8	18.7	11.3	30.0	13.7	64.0	27.8	9.9	11.6	3.0	2.6	2.1	5.1	3.7							
	就労していない (n=559)	26.1	20.0	9.5	30.9	10.2	62.8	24.9	10.2	11.4	8.1	4.3	0.5	6.8	5.5							
就業状況	正規従業員 (n=566)	32.9	26.5	12.7	30.0	15.2	56.7	23.3	8.7	10.2	4.1	1.6	3.4	5.8	3.7							
	非正規従業員 (フルタイム) (n=97)	34.0	21.6	16.5	34.0	18.6	49.5	29.9	9.3	11.3	8.2	3.1	2.1	7.2	4.1							
	非正規従業員 (短時間) (n=262)	30.9	17.2	8.4	33.2	10.3	59.5	28.2	10.7	11.8	3.8	2.7	2.3	4.2	3.4							
	派遣社員・契約社員 (n=63)	34.9	27.0	11.1	27.0	15.9	60.3	20.6	11.1	15.9	6.3	7.9	1.6	4.8	4.8							
	自営業 (家族従事者) (n=183)	25.1	24.6	13.1	25.7	13.1	58.5	28.4	12.0	6.0	3.8	2.7	2.2	5.5	4.4							
	自由業 (n=24)	33.3	25.0	16.7	41.7	12.5	50.0	37.5	4.2	0.0	4.2	4.2	8.3	0.0	8.3							
	その他 (n=20)	15.0	20.0	30.0	25.0	20.0	55.0	35.0	10.0	25.0	0.0	5.0	15.0	5.0	0.0							
男性	既婚 (n=700)	34.1	26.1	16.9	30.0	11.9	49.1	24.7	10.1	8.3	8.4	4.3	3.7	4.7	4.7							
	離婚または死別 (n=48)	18.8	25.0	8.3	20.8	22.9	56.3	27.1	4.2	14.6	10.4	4.2	4.2	2.1	6.3							
女性	既婚 (n=841)	26.8	19.9	10.8	32.5	11.5	63.6	27.9	10.9	12.0	5.5	3.1	1.1	5.2	4.4							
	離婚または死別 (n=159)	27.0	17.0	10.1	24.5	10.1	66.7	27.7	9.4	9.4	6.3	3.1	3.1	7.5	5.7							
男性	配偶者が就労している (n=401)	34.2	26.9	16.7	31.4	10.2	49.1	22.4	11.7	6.2	7.7	3.0	4.5	5.5	3.7							
	配偶者が就労していない (n=299)	34.1	25.1	17.1	28.1	14.0	49.2	27.8	8.0	11.0	9.4	6.0	2.7	3.7	6.0							
女性	配偶者が就労している (n=609)	28.7	19.7	10.5	31.9	12.2	65.4	26.9	9.0	12.3	4.3	2.8	1.3	4.6	4.3							
	配偶者が就労していない (n=232)	21.6	20.3	11.6	34.1	9.9	59.1	30.6	15.9	11.2	8.6	3.9	0.4	6.9	4.7							
同居している小学生以下の子ども	いる (n=344)	33.4	16.6	12.8	27.9	11.3	54.9	20.6	9.0	11.0	3.5	1.5	5.5	6.7	4.4							
	いない (n=1713)	29.8	23.6	12.6	30.1	12.4	58.2	26.6	10.0	10.4	6.8	4.2	1.6	5.5	4.9							
家族構成	単身世帯 (n=166)	30.1	20.5	10.8	25.3	12.7	55.4	26.5	7.8	7.8	5.4	3.6	3.0	7.2	8.4							
	1世代世帯 (n=627)	29.0	24.7	13.4	30.1	13.9	57.6	26.5	11.2	9.4	8.0	5.4	0.8	5.3	5.1							
	2世代世帯 (n=1072)	32.0	21.7	13.6	29.6	12.0	57.5	24.5	9.6	10.7	6.3	3.0	2.9	5.5	4.5							
	3世代世帯 (n=253)	27.7	21.7	10.7	32.8	12.6	59.7	28.5	8.3	13.4	3.2	1.6	1.6	6.3	3.6							
	その他 (n=32)	21.9	12.5	3.1	28.1	6.3	56.3	31.3	9.4	9.4	6.3	9.4	9.4	12.5	6.3							